

「北区教育ビジョン 2015」策定に関する  
アンケート調査報告書

平成 26 年 2 月  
北区教育委員会



# 目 次

第 1 部 調査の概要 .....	1
1 調査の概要 .....	3
2 調査票の設問項目 .....	4
第 2 部 調査の結果 .....	7
1 保護者及び保護者の子どもについて .....	9
2 子どもの教育の担い手について .....	14
3 就学前教育について .....	19
4 学校教育について .....	22
5 家庭教育・地域教育力について .....	47
6 教育全般について .....	56
7 教育行政について .....	62
8 生涯学習について .....	77
9 自由意見について .....	85
資料編 .....	93
「北区教育ビジョン 2015」策定に関する保護者アンケート調査票 .....	95



# 第 1 部 調査の概要



# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

本調査は、北区在住で0歳から中学校3年生までのお子さんがある保護者の方を対象として、北区の教育についてどのように感じているかをおうかがいし、「北区教育ビジョン2015」策定にあたっての基礎資料とすることを目的としています。

## (2) 調査の対象

住民基本台帳から無作為抽出した0歳から中学3年生までの子どもを持つ保護者2,000人

## (3) 調査の方法

調査票を対象者に郵送で配布し、郵送で回収する無記名郵送方式  
(ハガキによるお礼を兼ねた督促状：1回送付)

## (4) 調査期間

平成25年11月1日～11月22日

## (5) 配布・回収状況

調査票の種類	配布対象数	転居等で配布不能	有効配布数(A)	回収数	白票・無効票	有効回収数(B)	有効回収率(B)/(A)
保護者	2,000	18	1,982	1,156	0	1,156	58.3%

## (6) 報告書の表記

- ① 表、グラフに使われる「n」は、各設問に対する回答者数となります。比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示します。
- ② 集計した数値(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が1つだけの場合、選択肢の数値(%)をすべて合計しても、100.0%にならない場合があります。
- ③ 回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100.0%を超えます。
- ④ 表、グラフの中で、アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、一部省略して表現している場合があります。

※ 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。

## 2 調査票の設問項目

調査項目		頁
<b>1</b>	<b>保護者及び保護者の子どもについて</b>	
	(1) 子どもとの関係	9
	(2) 子どもの学年	10
	(3) 通園・通学先の種類	11
	(4) きょうだいの人数	12
	(5) 居住地区	13
<b>2</b>	<b>子どもの教育の担い手について</b>	
	(1) 子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせる担い手	14
	(2) 子どものしつけの担い手	15
	(3) 正しい食生活を身に付けさせる担い手	16
	(4) 他人を思いやるなどの豊かな心を身に付けさせる担い手	17
	(5) 忍耐力、我慢すること、あきらめない心を身に付けさせる担い手	18
<b>3</b>	<b>就学前教育について</b>	
	(1) 家庭で子どもに身に付けさせるべきこと	19
	(2) 保育園で子どもに身に付けさせるべきこと	20
	(3) 幼稚園で子どもに身に付けさせるべきこと	21
<b>4</b>	<b>学校教育について</b>	
	(1) 北区の公立学校が力を入れるべきこと	22
	(2) 北区の公立学校が保護者への情報提供や地域の声を受け止める努力	26
	(3) 北区の公立学校の教育に求めるもの	27
	(4) 北区の公立学校の取り組みの認知度・満足度	28
	(5) 子どもが「生きる力」を身につけるために学校教育で育てるべきこと	37
	(6) 学校の評価	38
	(7) 教員の評価	41
	(8) 子どもの学校図書館の利用内容	44
	(9) 小学校卒業後の進路	45
	(10) 北区の公立学校以外への進学を考えている理由	46
<b>5</b>	<b>家庭教育・地域教育力について</b>	
	(1) 家庭で子どもをきちんとしつけているか	47
	(2) 子どもを注意してくれる地域の大人は多いか	48
	(3) 社会のルールやマナーを守る子どもが多いか	49
	(4) 子どもが参加できる地域の活動は十分か	50
	(5) 自分の子どもの学力の程度	51
	(6) 家庭での子どもとの関わり	52
	(7) 子どもを学習塾に通わせている目的	53
	(8) 子どもを学習塾に通わせない理由	54
	(9) 学校の授業以外の1日の勉強時間	55

調査項目		頁
<b>6 教育全般について</b>		
(1) 子どもたちの学力格差に対する認識		56
(2) 学力格差が特に広がっていると思う段階		57
(3) 周りの人の役に立とうとする子どもは多いか		58
(4) 子どもたちの体力は低下しているか		59
(5) 学校の体育や部活動以外で体力向上や健康づくりをよくやっているか		60
(6) 保護者は地域の学校運営にもっと参画・連携するべきか		61
<b>7 教育行政について</b>		
(1) 北区教育委員会の取り組みの認知度・満足度		62
(2) 「学校ファミリー」で実施している教育施策に対する考え		70
(3) 学校施設の整備で優先的に行うべきこと		72
(4) 放課後子どもプランに求める特に重要な機能		73
(5) 北区の子どもの教育に関する情報提供は十分か		74
(6) 「教育先進都市」のイメージ		75
(7) 今後、北区の教育行政に期待すること		76
<b>8 生涯学習について</b>		
(1) 自分ができることを地域や学校で活かしたいか		77
(2) 生涯学習活動への参加状況		78
(3) 文化センターの講座・活動への参加状況		79
(4) 区立図書館の講座・活動への参加状況		80
(5) 飛鳥山博物館の講座・活動への参加状況		81
(6) 生涯学習のために力を入れて欲しいこと		82
(7) グループや団体の自主的な活動を盛んにするために必要な区の支援		83
(8) ボランティア活動に参加できる頻度		84
<b>9 自由意見について</b>		



## 第2部 調査の結果



# 1 保護者及び保護者の子どもについて

## (1) 子どもとの関係

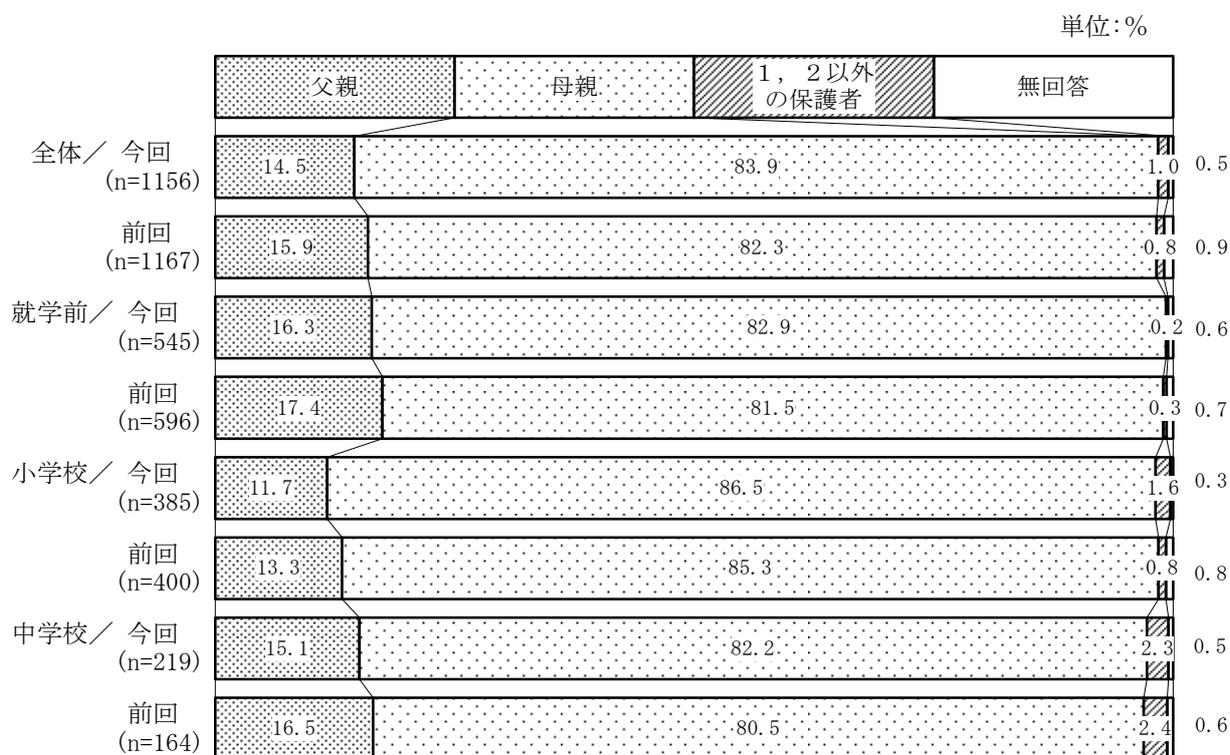
問1 封筒の宛名のお子さんとあなたの関係を教えてください。(〇は1つだけ)

全体では、「父親」が14.5%、「母親」が83.9%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校、中学校とも「母親」が8割以上となっています。

前回調査と比較すると、どの項目も概ね同じような割合となっています。

図 子どもとの関係

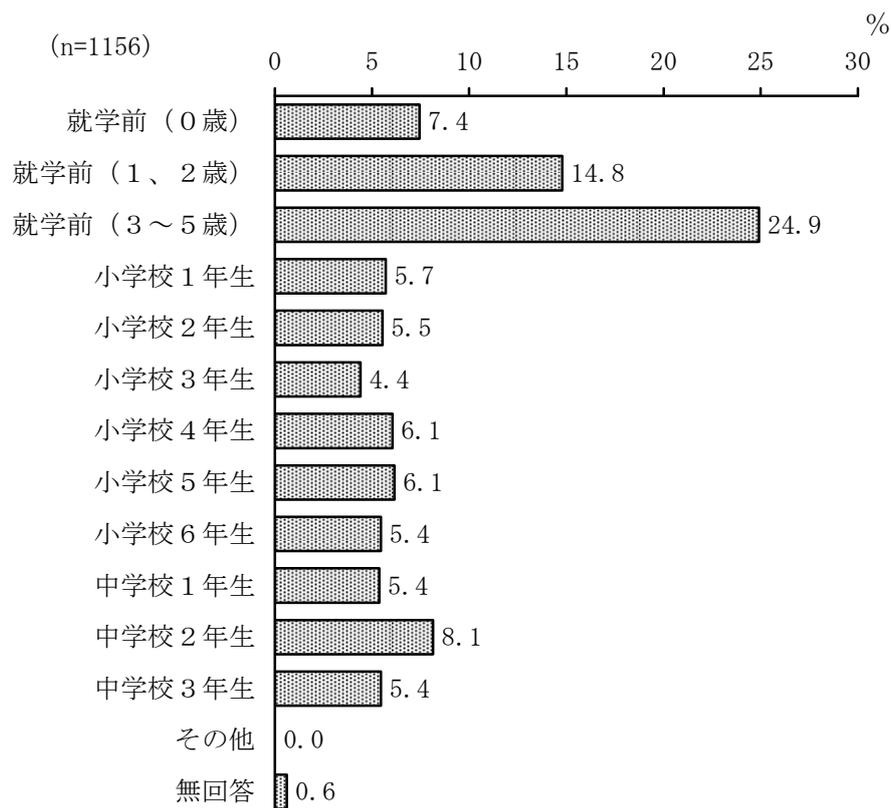


## (2) 子どもの学年

問2 封筒の宛名のお子さんの状況を教えてください。(○は1つだけ)

「就学前(3～5歳)」が24.9%と最も高く、次いで「就学前(1、2歳)」が14.8%、「中学校2年生」が8.1%となっています。

図 子どもの学年



### (3) 通園・通学先の種類

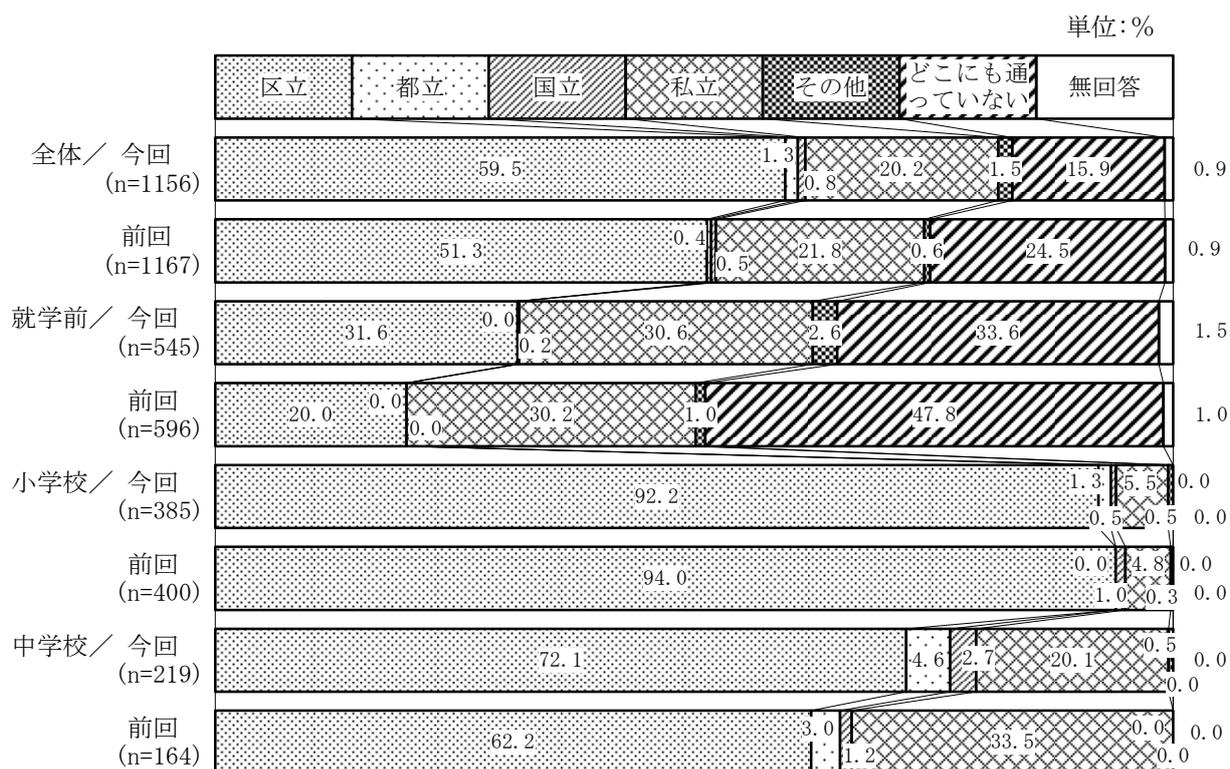
問3 封筒の宛名のお子さん通っている学校・幼稚園・保育園について教えてください。  
(○は1つだけ)

全体では、「区立」が59.5%と最も高く、次いで「私立」が20.2%、「どこにも通っていない」が15.9%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前では「どこにも通っていない」が33.6%と最も高く、次いで「区立」が31.6%、「私立」が30.6%となっています。小学校では「区立」が92.2%を占めています。中学校では「区立」が72.1%と最も高く、次いで「私立」が20.1%となっています。

前回調査と比較すると、全体では「どこにも通っていない」がやや低くなっています。就学前では「区立」が高く、「どこにも通っていない」が低くなっています。中学校では「区立」がやや高く、「私立」が低くなっています。

図 通園・通学先の種類



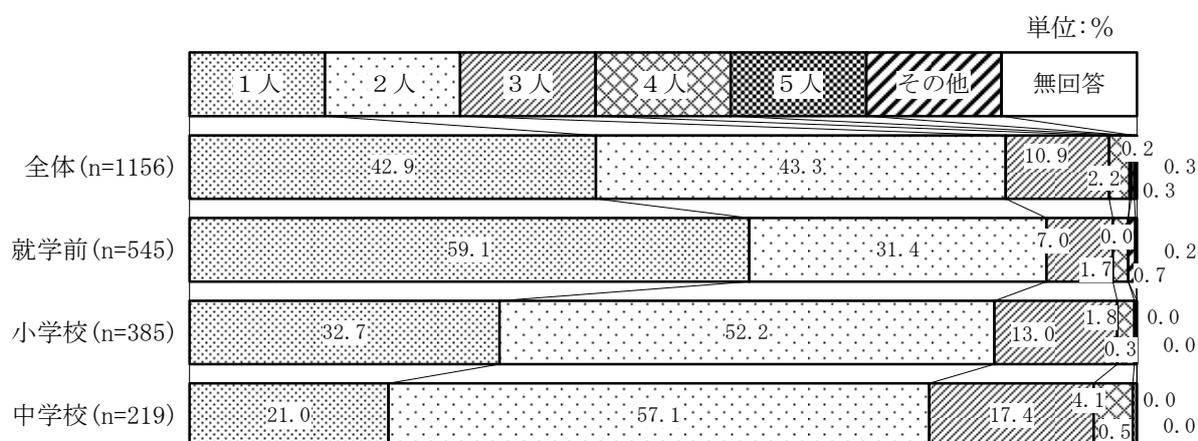
#### (4) きょうだいの人数

問4 封筒の宛名のお子さんのきょうだいの人数（宛名のお子さんを含めた人数）を教えてください。（○は1つだけ）

全体では、「2人」が43.3%と最も高く、次いで「1人」が42.9%、「3人」が10.9%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学先が上がるにつれて「1人」の割合は低くなり、逆に「2人」「3人」の割合が高くなっています。

図 きょうだいの人数



(5) 居住地区

問5 お住まいの地区を教えてください。(該当する地区の番号に1つだけ○をつけてください)

全体では、「浮間地区」が6.8%、「赤羽西地区」が19.1%、「赤羽東地区」が16.1%、「王子西地区」が9.4%、「王子東地区」が19.9%、「滝野川西地区」が19.4%、「滝野川東地区」が8.7%となっています。

図 居住地区

単位：%

	浮間地区	赤羽西地区	赤羽東地区	王子西地区	王子東地区	滝野川西地区	滝野川東地区	無回答	
全体(n=1156)	6.8	19.1	16.1	9.4	19.9	19.4	8.7		0.5
就学前(n=545)	6.1	17.2	17.2	11.0	21.5	18.7	8.3		0.0
小学校(n=385)	7.8	21.8	14.8	7.8	17.9	20.0	9.1		0.8
中学校(n=219)	7.3	19.2	16.0	8.7	19.2	20.5	8.7		0.5

## 2 子どもの教育の担い手について

### (1) 子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせる担い手

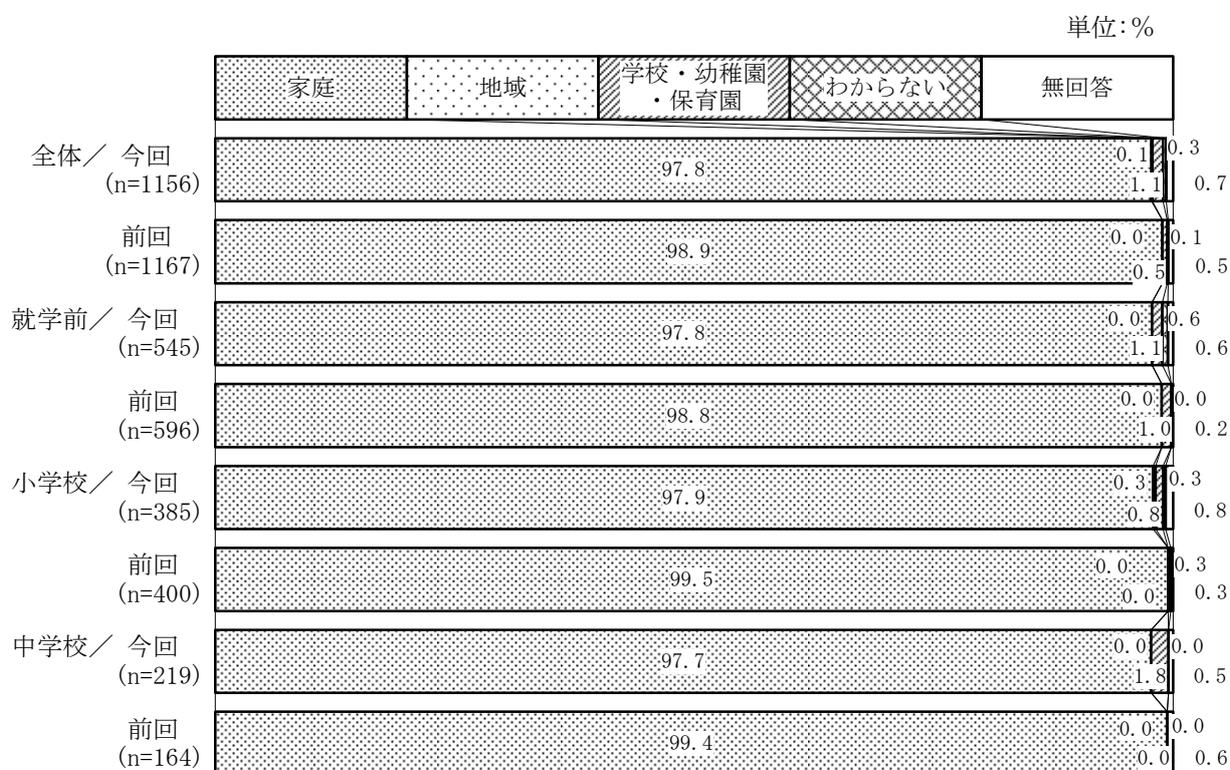
問6 子どもに基本的な生活習慣（早寝早起きなど）は、どこで身に付けるべきだと思いますか。（○は1つだけ）

全体では、「家庭」が97.8%を占めています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校、中学校とも「家庭」が9割以上となっています。

前回調査と比較すると、どの項目も概ね同じような割合となっています。

図 子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせる担い手



## (2) 子どものしつけの担い手

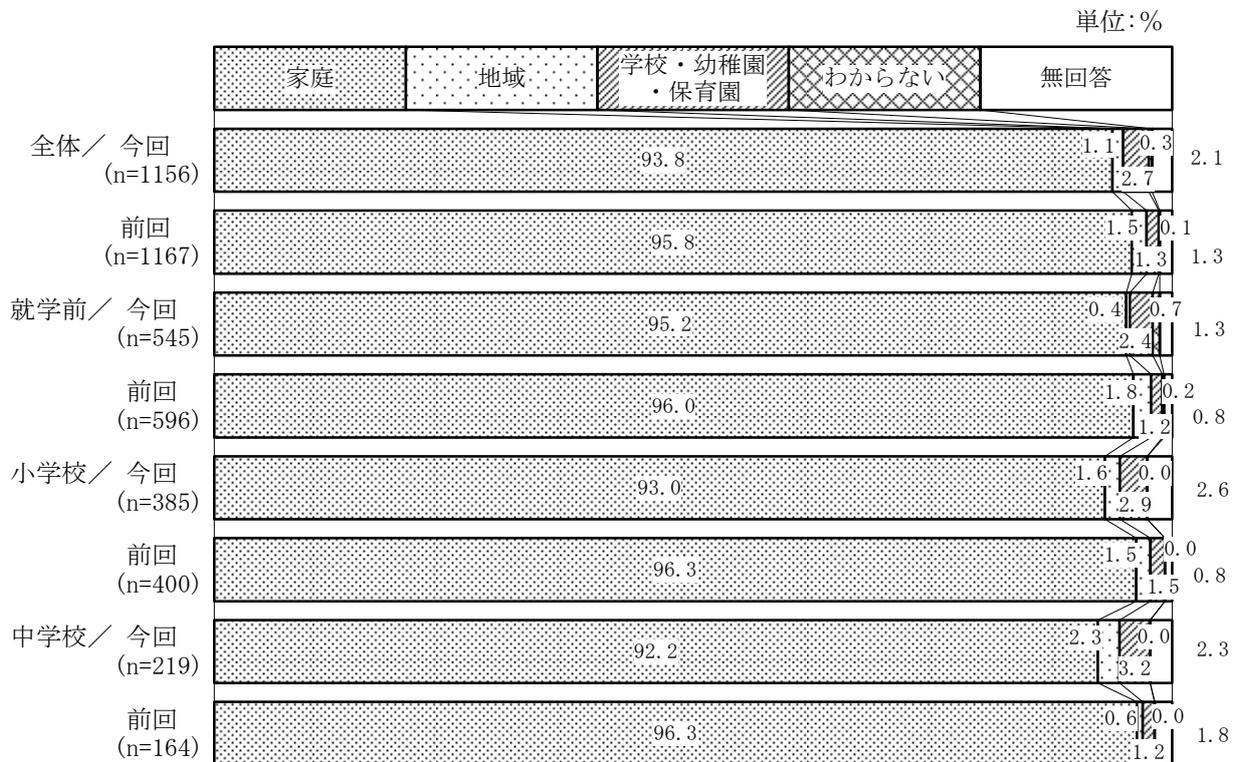
問7 子どもへのしつけ（あいさつする、お礼を言うなど）は、どこで行うべきだと思いますか。（○は1つだけ）

全体では、「家庭」が93.8%を占めています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校、中学校とも「家庭」が9割以上となっています。

前回調査と比較すると、どの項目も概ね同じような割合となっています。

図 子どもへのしつけの担い手



### (3) 正しい食生活を身に付けさせる担い手

問8 正しい食生活（好き嫌いしない、よく噛んで食べるなど）は、どこで身に付けるべきだと思いますか。（○は1つだけ）

全体では、「家庭」が93.3%を占めています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校、中学校とも「家庭」が9割以上となっています。

前回調査と比較すると、どの項目も概ね同じような割合となっています。

図 正しい食生活を身に付けさせる担い手



#### (4) 他人を思いやるなどの豊かな心を身に付けさせる担い手

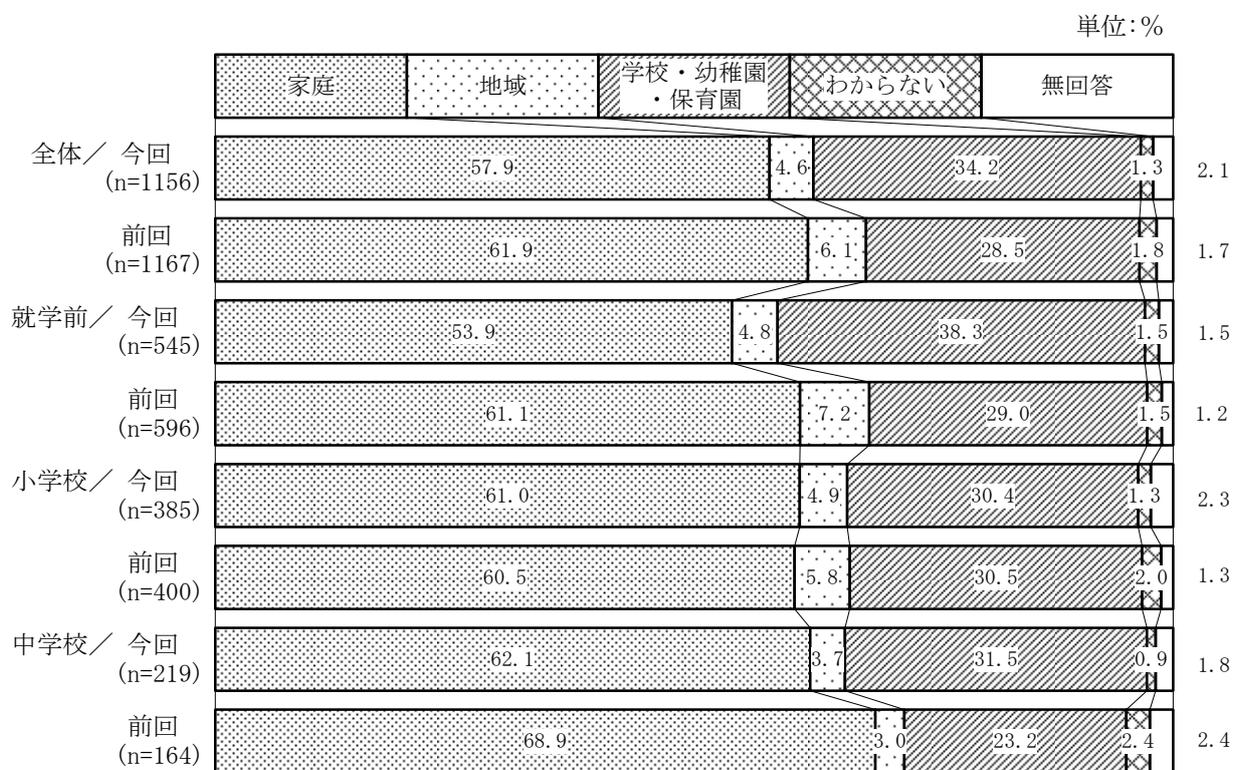
問9 他人を思いやるなどの豊かな心は、どこで身に付けるべきだと思いますか。(〇は1つだけ)

全体では、「家庭」が57.9%と最も高く、次いで「学校・幼稚園・保育園」が34.2%、「地域」が4.6%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「家庭」は小学校、中学校では6割を超えています。

前回調査と比較すると、全体では「学校・幼稚園・保育園」がやや高くなっています。就学前では「家庭」がやや低く、「学校・幼稚園・保育園」がやや高くなっています。中学校では「家庭」がやや低く、「学校・幼稚園・保育園」がやや高くなっています。

図 他人を思いやるなどの豊かな心を身に付けさせる担い手



### (5) 忍耐力、我慢すること、あきらめない心を身に付けさせる担い手

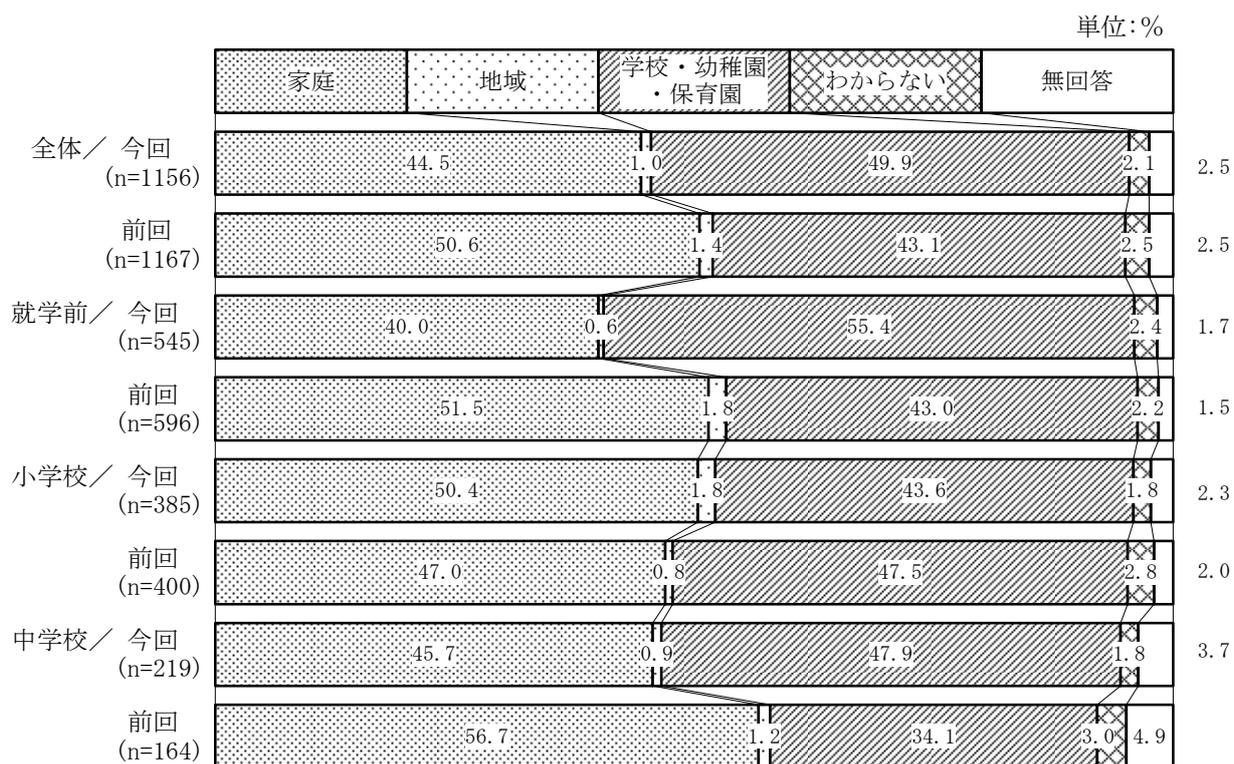
問 10 忍耐力、我慢すること、あきらめない心は、どこで身に付けるべきだと思いますか。  
(○は1つだけ)

全体では、「学校・幼稚園・保育園」が49.9%と最も高く、次いで「家庭」が44.5%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前では「学校・幼稚園・保育園」が55.4%と最も高く、次いで「家庭」が40.0%となっています。小学校では「家庭」が50.4%と最も高く、次いで「学校・幼稚園・保育園」が43.6%となっています。中学校では「学校・幼稚園・保育園」が47.9%と最も高く、次いで「家庭」が45.7%となっています。

前回調査と比較すると、全体では「家庭」がやや低く、「学校・幼稚園・保育園」がやや高くなっています。就学前では「家庭」が低く、「学校・幼稚園・保育園」が高くなっています。中学校では「家庭」が低く、「学校・幼稚園・保育園」が高くなっています。

図 忍耐力、我慢すること、あきらめない心を身に付けさせる担い手



### 3 就学前教育について

#### (1) 家庭で子どもに身に付けさせるべきこと

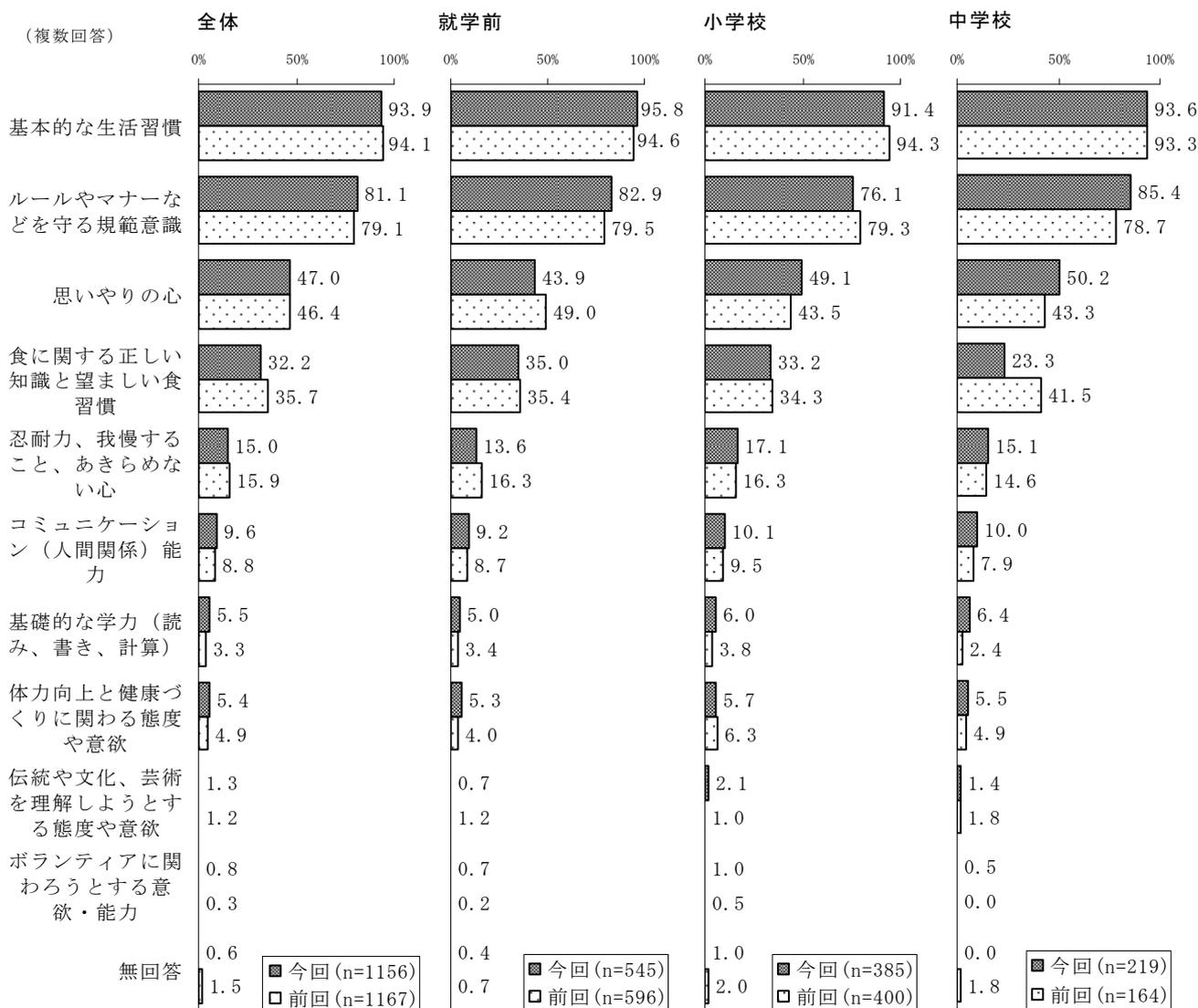
問 11 家庭では何を子どもに身に付けさせるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

全体では、「基本的な生活習慣」が 93.9%と最も高く、次いで「ルールやマナーなどを守る規範意識」が 81.1%、「思いやりの心」が 47.0%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「ルールやマナーなどを守る規範意識」は小学校が就学前、中学校よりやや低くなっています。「食に関する正しい知識と望ましい食習慣」は中学校が就学前、小学校より低くなっています。

前回調査と比較すると、就学前では「思いやりの心」がやや低くなっています。中学校では「食に関する正しい知識と望ましい食習慣」が低くなっています。

図 家庭で子どもに身に付けさせるべきこと



## (2) 保育園で子どもに身に付けさせるべきこと

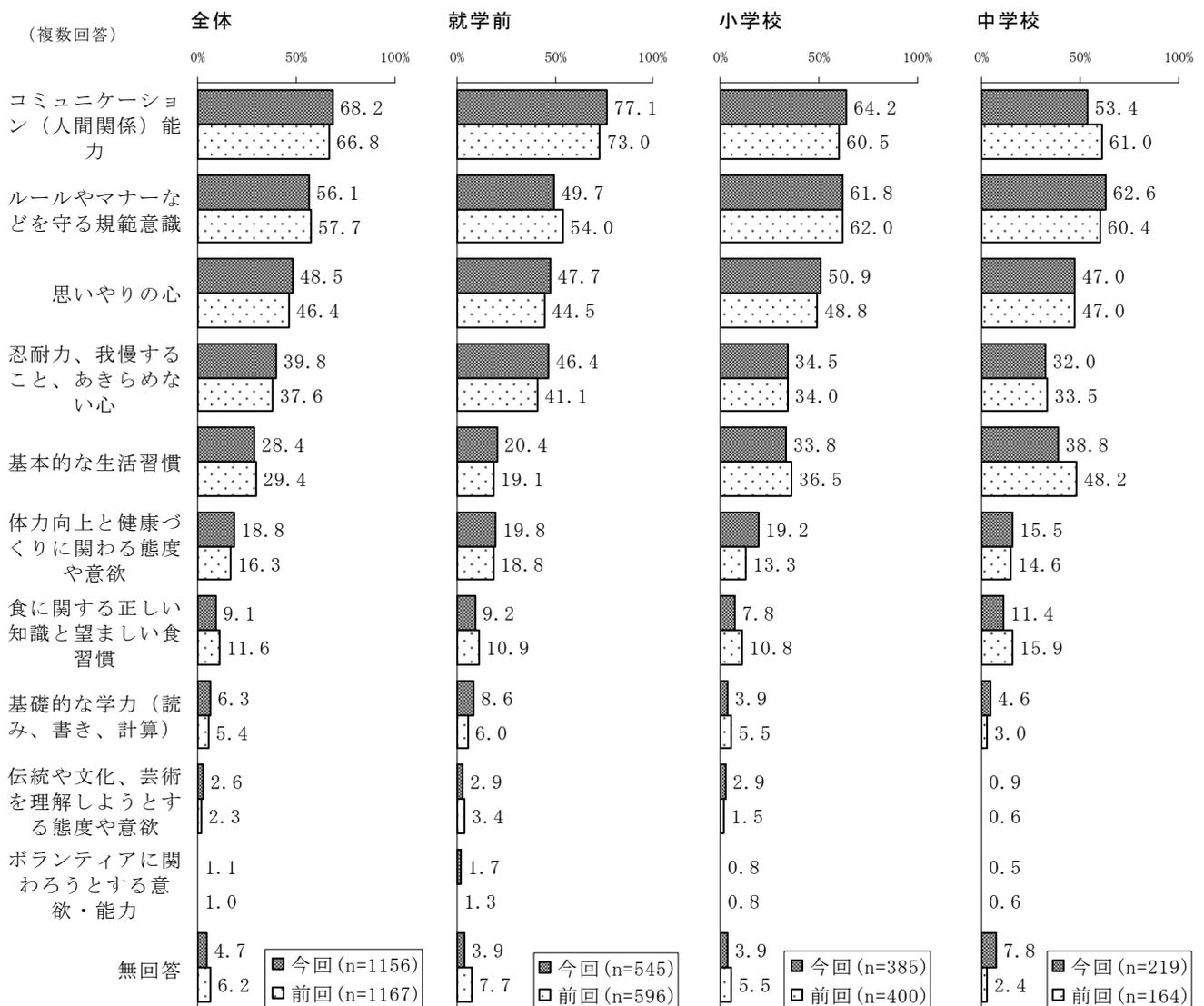
問 12 保育園では何を子どもに身に付けさせるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

全体では、「コミュニケーション（人間関係）能力」が 68.2%と最も高く、次いで「ルールやマナーなどを守る規範意識」が 56.1%、「思いやりの心」が 48.5%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「コミュニケーション（人間関係）能力」は就学先が上がるにつれて低くなっています。「ルールやマナーなどを守る規範意識」「基本的な生活習慣」は、就学前が小学校、中学校より低くなっています。一方、「忍耐力、我慢すること、あきらめない心」は就学前が小学校、中学校より高くなっています。

前回調査と比較すると、就学前では「忍耐力、我慢すること、あきらめない心」がやや高くなっています。小学校では「体力向上と健康づくりに関わる態度や意欲」がやや高くなっています。中学校では「コミュニケーション（人間関係）能力」「基本的な生活習慣」が低くなっています。

図 保育園で子どもに身に付けさせるべきこと



### (3) 幼稚園で子どもに身に付けさせるべきこと

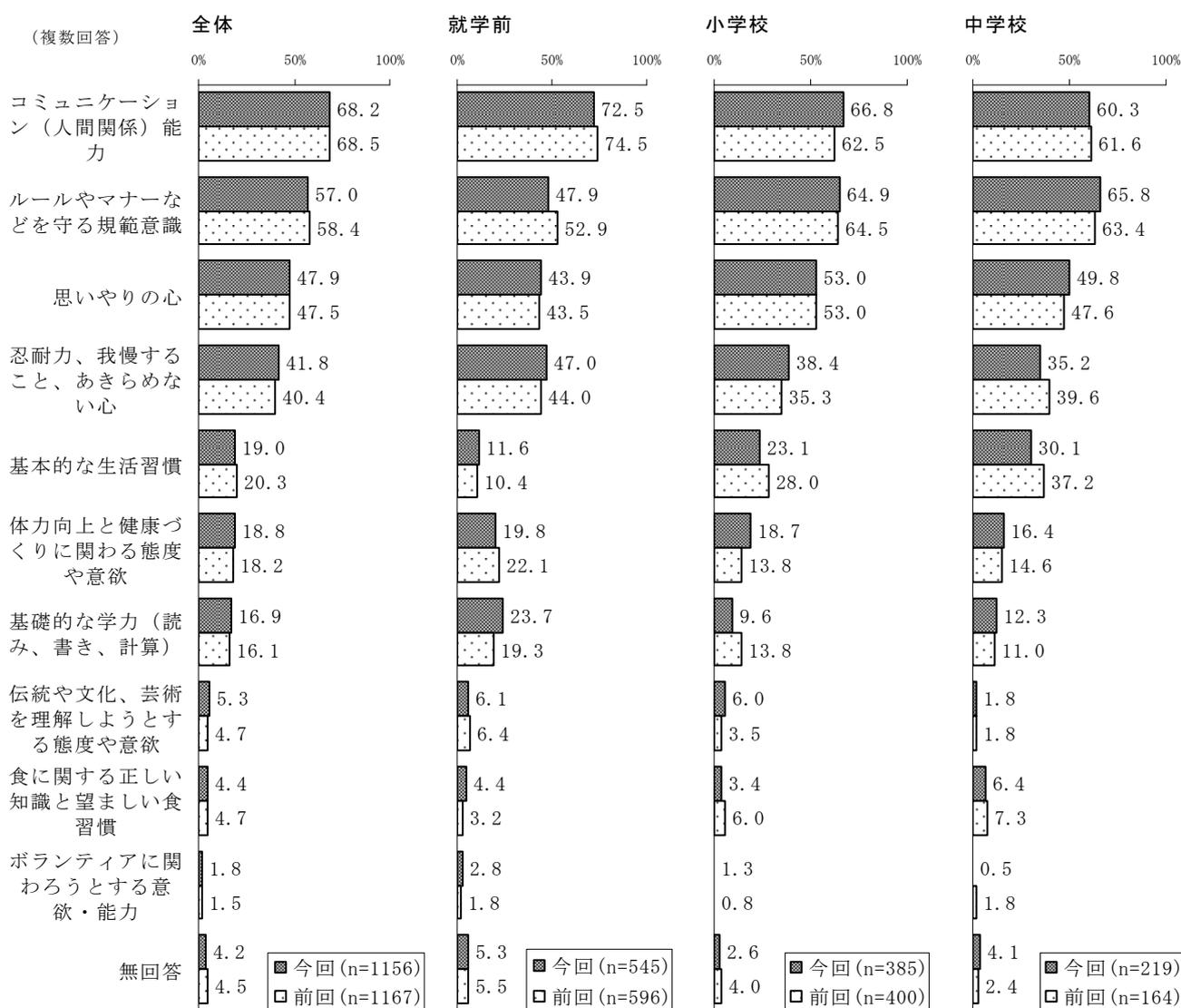
問 13 幼稚園では何を子どもに身に付けさせるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

全体では、「コミュニケーション（人間関係）能力」が 68.2%と最も高く、次いで「ルールやマナーなどを守る規範意識」が 57.0%、「思いやりの心」が 47.9%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「コミュニケーション（人間関係）能力」「忍耐力、我慢すること、あきらめない心」は就学先が上がるにつれて低くなっています。一方、「基本的な生活習慣」は就学先が上がるにつれて高くなっています。「ルールやマナーなどを守る規範意識」は就学前が小学校、中学校より低く、逆に「基礎的な学力（読み、書き、計算）」は就学前が小学校、中学校より高くなっています。

前回調査と比較すると、就学前では「ルールやマナーなどを守る規範意識」がやや低くなっています。中学校では「基本的な生活習慣」がやや低くなっています。

図 幼稚園で子どもに身に付けさせるべきこと



## 4 学校教育について

### (1) 北区の公立学校が力を入れるべきこと

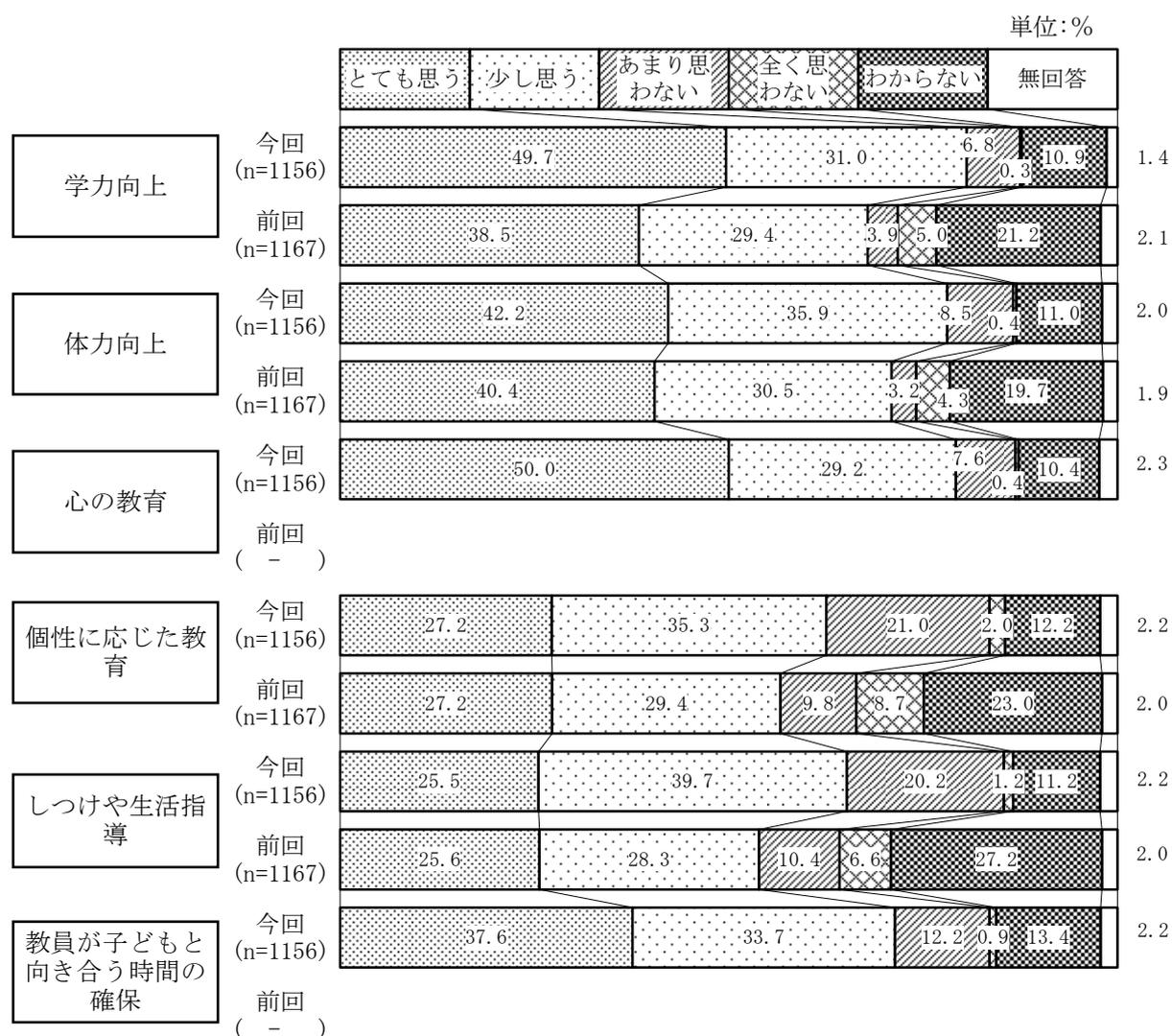
問 14 北区の公立学校は以下の項目についてもっと力を入れるべきだと思いますか。(それぞれの項目で○は1つ)

#### ①全体

力を入れるべきだと思う割合(「とても思う」+「少し思う」)は、「学力向上(基礎的な知識の定着や問題解決能力の育成)」で8割、「体力向上(体育・健康に関する指導の充実)」「心の教育(道徳教育や人権教育を通じた豊かな心の育成)」「教員が子どもと向き合う時間の確保」で7割を超えています。

前回調査と比較すると、どの項目(「心の教育」「教員が子どもと向き合う時間の確保」を除く)も力を入れるべきだと思う割合が高くなっています。

図 北区の公立学校が力を入れるべきこと(全体)

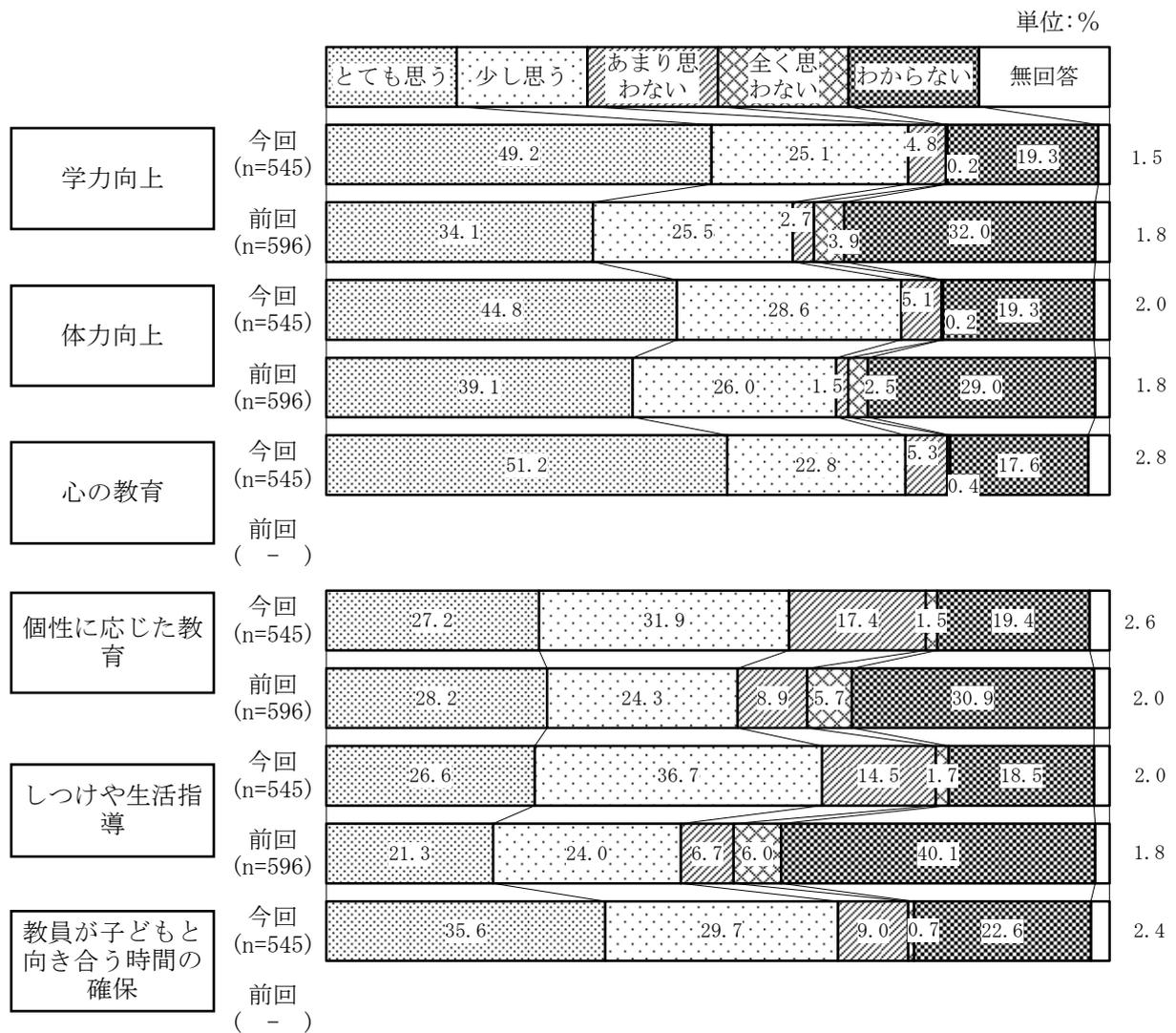


## ②就学前

力を入れるべきだと思う割合（「とても思う」＋「少し思う」）は、「学力向上（基礎的な知識の定着や問題解決能力の育成）」「体力向上（体育・健康に関する指導の充実）」「心の教育（道徳教育や人権教育を通じた豊かな心の育成）」で7割を超えています。

前回調査と比較すると、どの項目（「心の教育」「教員が子どもと向き合う時間の確保」を除く）も力を入れるべきだと思う割合が高くなっています。

図 北区の公立学校が力を入れるべきこと（就学前）

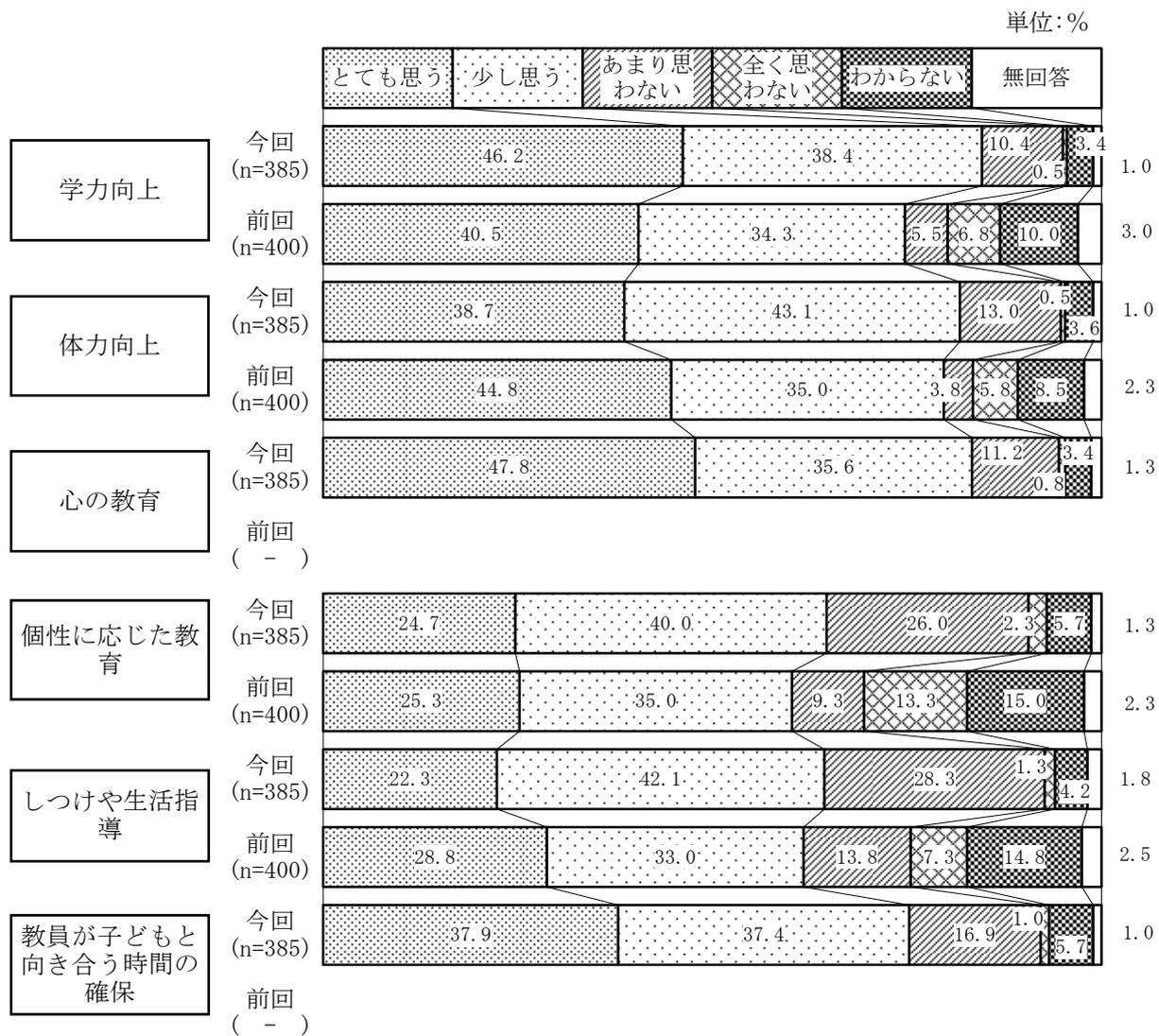


### ③小学校

力を入れるべきだと思う割合（「とても思う」＋「少し思う」）は、「学力向上（基礎的な知識の定着や問題解決能力の育成）」「体力向上（体育・健康に関する指導の充実）」「心の教育（道徳教育や人権教育を通じた豊かな心の育成）」で8割、「教員が子どもと向き合う時間の確保」で7割を超えています。

前回調査と比較すると、「学力向上（基礎的な知識の定着や問題解決能力の育成）」は力を入れるべきだと思う割合がやや高くなっています。

図 北区の公立学校が力を入れるべきこと（小学校）

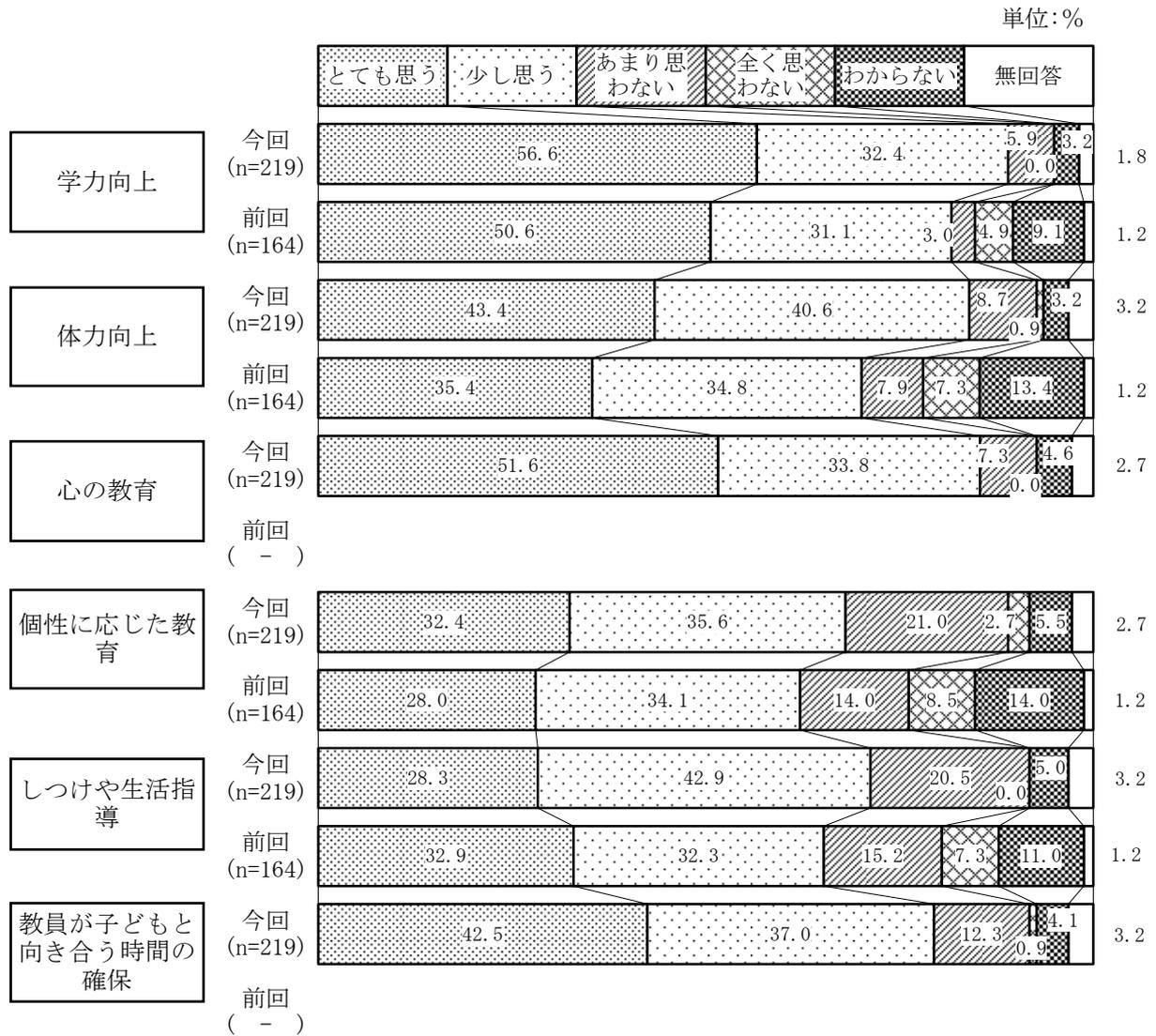


#### ④中学校

力を入れるべきだと思う割合（「とても思う」＋「少し思う」）は、「学力向上（基礎的な知識の定着や問題解決能力の育成）」「体力向上（体育・健康に関する指導の充実）」「心の教育（道徳教育や人権教育を通じた豊かな心の育成）」で8割、「しつけや生活指導」「教員が子どもと向き合う時間の確保」で7割を超えています。

前回調査と比較すると、どの項目（「心の教育」「教員が子どもと向き合う時間の確保」を除く）も力を入れるべきだと思う割合が高くなっています。

図 北区の公立学校が力を入れるべきこと（中学校）



## (2) 北区の公立学校が保護者への情報提供や地域の声を受け止める努力

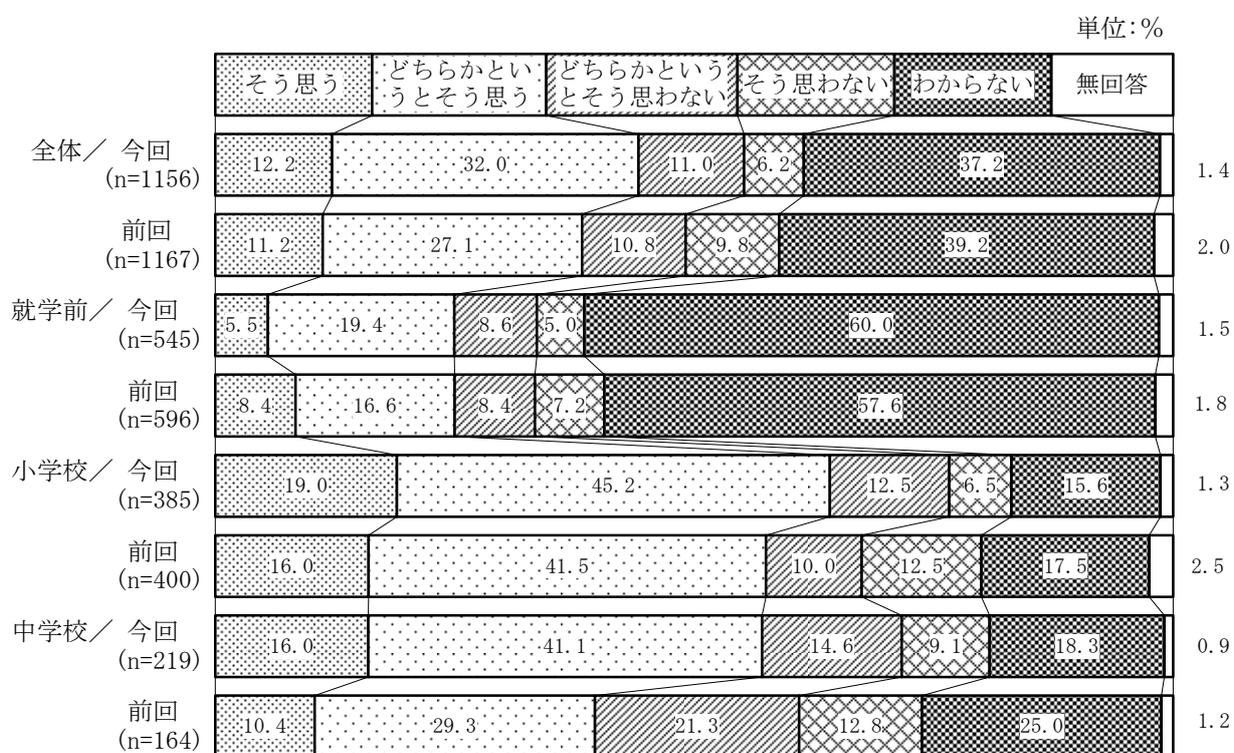
問 15 北区の公立学校は保護者への情報提供や地域の声を受け止める努力を積極的に行っていると思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が 12.2%、「どちらかというと思う」が 32.0%で、合わせて 44.2%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では 24.9%、小学校では 64.2%、中学校では 57.1%で、就学前が低くなっています。

前回調査と比較すると、全体、小学校、中学校では、積極的に行っていると思う割合が高くなっています。

図 北区の公立学校が保護者への情報提供や地域の声を受け止める努力



### (3) 北区の公立学校の教育に求めるもの

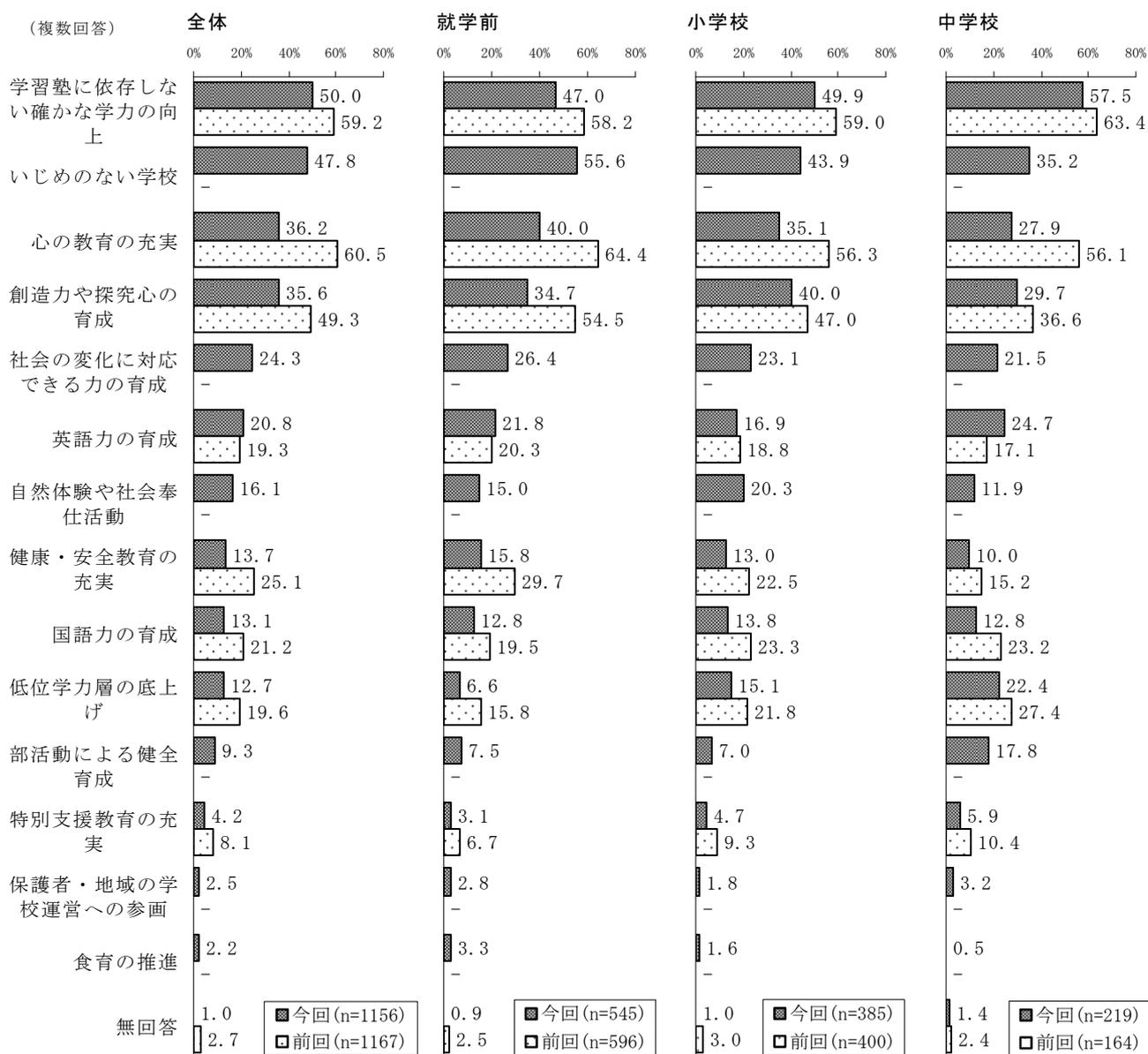
問 16 あなたが北区の公立学校の教育に求めるものは何ですか。(〇は3つまで)

全体では、「学習塾に依存しない確かな学力の向上」が 50.0%と最も高く、次いで「いじめのない学校」が 47.8%、「心の教育の充実」が 36.2%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「学習塾に依存しない確かな学力の向上」「部活動による健全育成」は中学校、「創造力や探究心の育成」は小学校が高くなっています。「低位学力層の底上げ」は就学先が上がるにつれて高くなっています。一方、「心の教育の充実」「いじめのない学校」は就学先が上がるにつれて低くなっています。

前回調査と比較すると、選択肢の項目数が異なるため単純に比較することはできませんが、どの就学先も「学習塾に依存しない確かな学力の向上」「心の教育の充実」「創造力や探究心の育成」「健康・安全教育の充実」「国語力の育成」「低位学力層の底上げ」が低くなっています。また、中学校では「英語力の育成」がやや高くなっています。

図 16 北区の公立学校の教育に求めるもの



#### (4) 北区の公立学校の取り組みの認知度・満足度

問 17 北区の公立学校では以下の教育に関する取り組みを行っています。それぞれの取り組みについて、知っている場合はその満足度を、知らない場合は「知らない」に○をつけてください。(それぞれの項目に○は1つ)

##### ①全体

##### ア. 認知度

「知っている」は「二学期制の実施」が 60.1%と最も高く、次いで「小学校の外国語活動や中学校英語の授業へのALT（外国人講師）配置」が 57.3%、「スクールカウンセラーの全校配置」が 56.1%となっています。

一方、「知らない」は「ホップ・ステップ・ジャンプ教室等の不登校対策事業」が 83.1%と最も高く、次いで「Q-U調査の実施」が 81.1%、「特別支援教育のための各校への巡回講師の派遣」が 77.2%となっています。

図 北区の公立学校の取り組みの認知度（全体）

(n=1156)

単位：%

	知っている	知らない	無回答	
区独自の学力パワーアップ事業 ／実力アップ土曜教室	38.1	58.4		3.5
区独自の基礎・基本の定着度調査	38.9	57.8		3.3
中学校区を単位とした小学校と中学校 との連携による小中一貫教育	46.3	50.2		3.5
保育園・幼稚園・小学校の連携	53.4	43.2		3.5
実験・観察の支援のために小学校 全校に配置した理科支援員	30.3	66.2		3.5
お茶の水女子大学などとの連携による理科大 好きプロジェクト／スーパーサイエンススクール	26.6	70.5		2.9
思考力・判断力・表現力を育成する 新聞大好きプロジェクト	22.2	74.8		2.9
道徳授業地区公開講座や道徳推進教師研修 などによる道徳教育の改善・充実	40.0	57.1		2.9
特別支援教育のための各校への 巡回講師の派遣	19.6	77.2		3.1
就学支援シートに基づいた小学校 入学時の支援の充実	29.8	66.3		3.9
小学校の外国語活動や中学校英語の 授業へのALT（外国人講師）配置	57.3	39.5		3.2
自然の中で中学生が留学生と交流する イングリッシュ・サマーキャンプ那須	24.0	72.8		3.2
北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人 生徒の受け入れなどのホームステイ事業	26.6	70.2		3.3
授業における電子黒板の活用 などによる情報教育	25.5	71.0		3.5
校内緑化やビオトープの整備 などによる環境教育	42.7	54.2		3.1
職場体験などによるキャリア教育	49.2	47.7		3.1
学校評議員等による学校評価	31.3	65.0		3.7
ホップ・ステップ・ジャンプ教室等の 不登校対策事業	13.6	83.1		3.3
いじめ相談ミニレター	34.1	62.5		3.4
スクールカウンセラーの全校配置	56.1	40.6		3.3
Q-U調査の実施	15.3	81.1		3.6
スクールソーシャルワーカーによる 相談・支援事業	25.3	71.1		3.5
二学期制の実施	60.1	36.3		3.5

## イ. 満足度

「知っている」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「職場体験などによるキャリア教育」が87.2%と最も高く、次いで「校内緑化やビオトープの整備などによる環境教育」が85.2%、「スクールカウンセラーの全校配置」が84.7%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「二学期制の実施」が56.4%と最も高く、次いで「中学校区を単位とした小学校と中学校との連携による小中一貫教育」が39.3%、「ホップ・ステップ・ジャンプ教室等の不登校対策事業」が35.0%となっています。

図 北区の公立学校の取り組みの満足度（全体）

単位：%

	大変満足	やや満足	少し不満	大変不満	
区独自の学力パワーアップ事業／ 実力アップ土曜教室(n=441)	8.2	65.5	22.4		3.9
区独自の基礎・基本の定着度調査(n=450)	9.3	70.4	18.2		2.0
中学校区を単位とした小学校と中学校との 連携による小中一貫教育(n=535)	8.0	52.7	32.9		6.4
保育園・幼稚園・小学校の連携(n=617)	13.0	63.5	20.7		2.8
実験・観察の支援のために小学校全校に配置した 理科支援員(n=350)	16.6	63.1	18.0		2.3
お茶の水女子大学などとの連携による理科大好き プロジェクト／スーパーサイエンススクール(n=307)	18.9	51.5	25.7		3.9
思考力・判断力・表現力を育成する新聞大好き プロジェクト(n=257)	17.5	50.6	27.2		4.7
道徳授業地区公開講座や道徳推進教師研修など による道徳教育の改善・充実(n=462)	13.0	65.4	19.3		2.4
特別支援教育のための各校への 巡回講師の派遣(n=227)	18.9	59.9	16.3		4.8
就学支援シートに基づいた小学校入学時の 支援の充実(n=344)	16.9	62.2	18.0		2.9
小学校の外国語活動や中学校英語の授業への ALT（外国人講師）配置(n=662)	25.1	52.0	17.2		5.7
自然の中で中学生が留学生と交流するイン グリッシュ・サマーキャンプ那須(n=278)	27.3	52.9	16.2		3.6
北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人生徒 の受け入れなどのホームステイ事業(n=307)	21.2	56.4	18.9		3.6
授業における電子黒板の活用などによる 情報教育(n=295)	21.4	51.2	22.7		4.7
校内緑化やビオトープの整備などによる 環境教育(n=494)	28.5	56.7	12.1		2.6
職場体験などによるキャリア教育(n=569)	31.3	55.9	10.7		2.1
学校評議員等による学校評価(n=362)	11.9	53.3	28.5		6.4
ホップ・ステップ・ジャンプ教室等の 不登校対策事業(n=157)	12.7	52.2	27.4		7.6
いじめ相談ミニレター(n=394)	16.0	61.4	18.5		4.1
スクールカウンセラーの全校配置(n=649)	31.4	53.3	12.6		2.6
Q-U調査の実施(n=177)	16.9	52.5	23.2		7.3
スクールソーシャルワーカーによる 相談・支援事業(n=293)	16.7	57.0	21.8		4.4
二学期制の実施(n=695)	9.5	34.1	35.8	20.6	

## ②就学前

### ア. 認知度

「知っている」は「保育園・幼稚園・小学校の連携」が38.7%と最も高く、次いで「職場体験などによるキャリア教育」が30.1%、「二学期制の実施」が29.7%となっています。

一方、「知らない」は「ホップ・ステップ・ジャンプ教室等の不登校対策事業」が92.5%と最も高く、次いで「Q-U調査の実施」が90.5%、「特別支援教育のための各校への巡回講師の派遣」が88.8%となっています。

図 北区の公立学校の取り組みの認知度（就学前）

(n=545)

単位:%

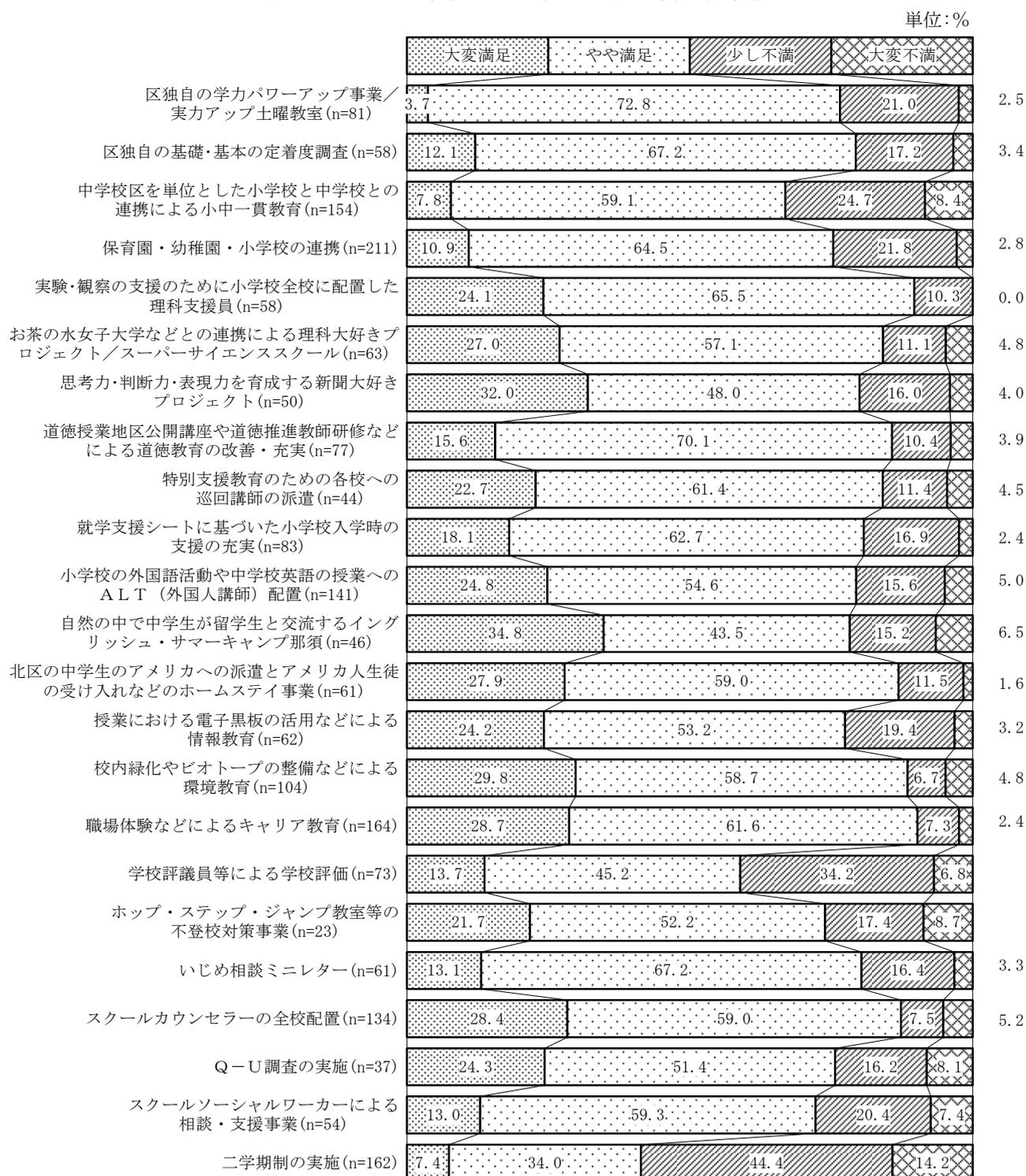
	知っている	知らない	無回答	
区独自の学力パワーアップ事業 ／実力アップ土曜教室	14.9	82.0		3.1
区独自の基礎・基本の定着度調査	10.6	86.1		3.3
中学校区を単位とした小学校と中学校 との連携による小中一貫教育	28.3	68.4		3.3
保育園・幼稚園・小学校の連携	38.7	57.6		3.7
実験・観察の支援のために小学校 全校に配置した理科支援員	10.6	85.5		3.9
お茶の水女子大学などとの連携による理科大 好きプロジェクト／スーパーサイエンススクール	11.6	85.5		2.9
思考力・判断力・表現力を育成する 新聞大好きプロジェクト	9.2	87.7		3.1
道徳授業地区公開講座や道徳推進教師研修 などによる道徳教育の改善・充実	14.1	82.9		2.9
特別支援教育のための各校への 巡回講師の派遣	8.1	88.8		3.1
就学支援シートに基づいた小学校 入学時の支援の充実	15.2	81.1		3.7
小学校の外国語活動や中学校英語の 授業へのALT（外国人講師）配置	25.9	71.0		3.1
自然の中で中学生が留学生と交流する イングリッシュ・サマーキャンプ那須	8.4	88.6		2.9
北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人 生徒の受け入れなどのホームステイ事業	11.2	85.7		3.1
授業における電子黒板の活用 などによる情報教育	11.4	85.5		3.1
校内緑化やビオトープの整備 などによる環境教育	19.1	77.8		3.1
職場体験などによるキャリア教育	30.1	66.8		3.1
学校評議員等による学校評価	13.4	83.7		2.9
ホップ・ステップ・ジャンプ教室等の 不登校対策事業	4.2	92.5		3.3
いじめ相談ミニレター	11.2	85.9		2.9
スクールカウンセラーの全校配置	24.6	72.3		3.1
Q-U調査の実施	6.8	90.5		2.8
スクールソーシャルワーカーによる 相談・支援事業	9.9	86.8		3.3
二学期制の実施	29.7	66.8		3.5

## イ. 満足度

「知っている」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「職場体験などによるキャリア教育」が90.3%と最も高く、次いで「実験・観察の支援のために小学校全校に配置した理科支援員」が89.6%、「校内緑化やビオトープの整備などによる環境教育」が88.5%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「二学期制の実施」が58.6%と最も高く、次いで「学校評議員等による学校評価」が41.0%、「中学校区を単位とした小学校と中学校との連携による小中一貫教育」が33.1%となっています。

図 北区の公立学校の取り組みの満足度（就学前）



### ③小学校

#### ア. 認知度

「知っている」は「二学期制の実施」が89.1%と最も高く、次いで「小学校の外国語活動や中学校英語の授業へのALT（外国人講師）配置」が88.1%、「スクールカウンセラーの全校配置」が86.2%となっています。

一方、「知らない」は「ホップ・ステップ・ジャンプ教室等の不登校対策事業」が77.9%と最も高く、次いで「自然の中で中学生が留学生と交流するイングリッシュ・サマーキャンプ那須」が71.2%、「Q-U調査の実施」が67.3%となっています。

図 北区の公立学校の取り組みの認知度（小学校）

(n=385)

単位:%

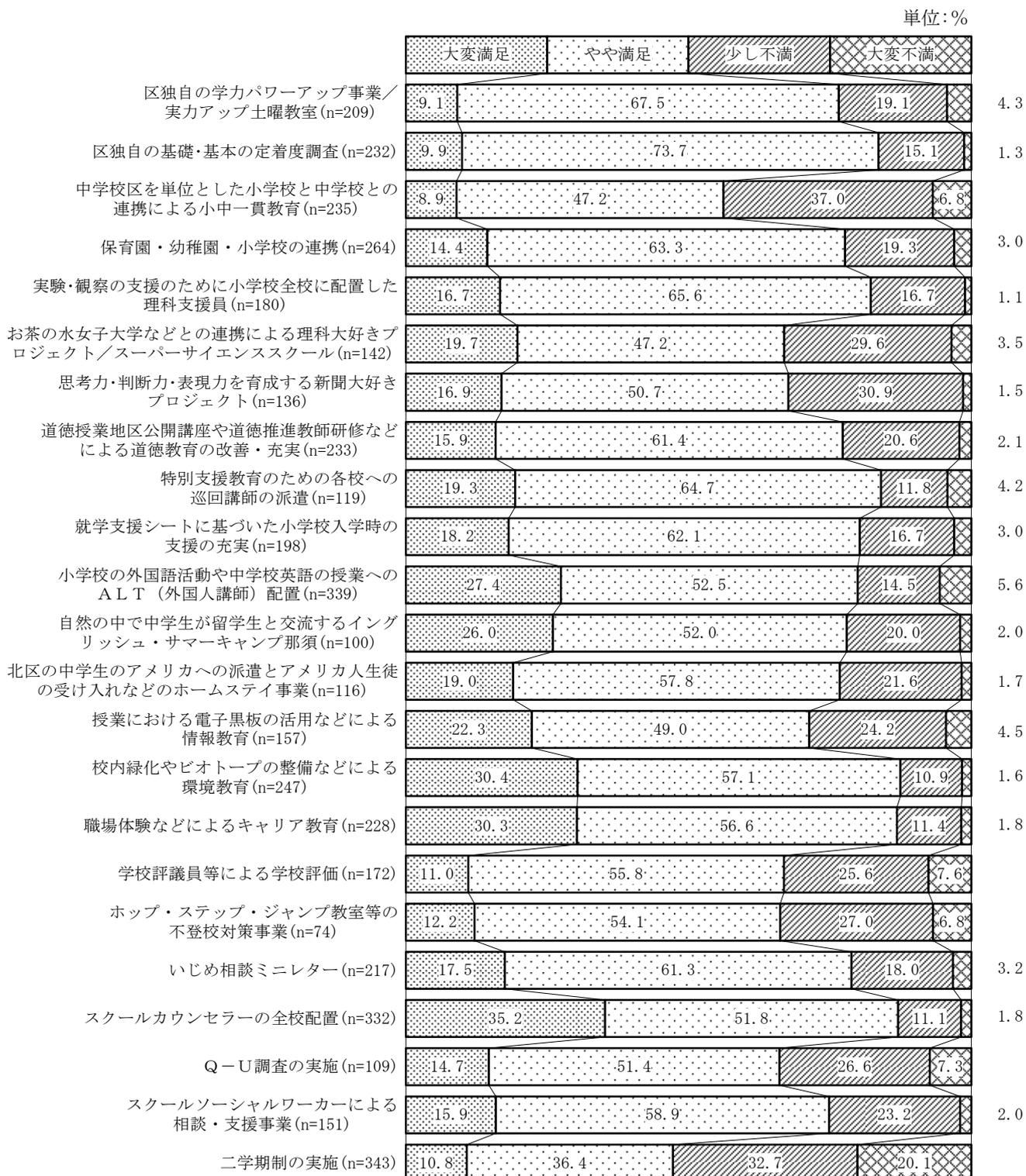
	知っている	知らない	無回答	
区独自の学力パワーアップ事業 ／実力アップ土曜教室	54.3	42.3		3.4
区独自の基礎・基本の定着度調査	60.3	36.6		3.1
中学校区を単位とした小学校と中学校 との連携による小中一貫教育	61.0	36.1		2.9
保育園・幼稚園・小学校の連携	68.6	28.8		2.6
実験・観察の支援のために小学校 全校に配置した理科支援員	46.8	50.6		2.6
お茶の水女子大学などとの連携による理科大 好きプロジェクト／スーパーサイエンススクール	36.9	60.8		2.3
思考力・判断力・表現力を育成する 新聞大好きプロジェクト	35.3	62.3		2.3
道徳授業地区公開講座や道徳推進教師研修 などによる道徳教育の改善・充実	60.5	37.1		2.3
特別支援教育のための各校への 巡回講師の派遣	30.9	66.2		2.9
就学支援シートに基づいた小学校 入学時の支援の充実	51.4	45.5		3.1
小学校の外国語活動や中学校英語の 授業へのALT（外国人講師）配置	88.1	9.4		2.6
自然の中で中学生が留学生と交流する イングリッシュ・サマーキャンプ那須	26.0	71.2		2.9
北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人 生徒の受け入れなどのホームステイ事業	30.1	66.8		3.1
授業における電子黒板の活用 などによる情報教育	40.8	56.1		3.1
校内緑化やビオトープの整備 などによる環境教育	64.2	33.2		2.6
職場体験などによるキャリア教育	59.2	38.4		2.3
学校評議員等による学校評価	44.7	52.2		3.1
ホップ・ステップ・ジャンプ教室等の 不登校対策事業	19.2	77.9		2.9
いじめ相談ミニレーター	56.4	40.8		2.9
スクールカウンセラーの全校配置	86.2	11.4		2.3
Q-U調査の実施	28.3	67.3		4.4
スクールソーシャルワーカーによる 相談・支援事業	39.2	57.9		2.9
二学期制の実施	89.1	7.8		3.1

## イ. 満足度

「知っている」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「校内緑化やビオトープの整備などによる環境教育」が87.5%と最も高く、次いで「スクールカウンセラーの全校配置」が87.0%、「職場体験などによるキャリア教育」が86.9%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「二学期制の実施」が52.8%と最も高く、次いで「中学校区を単位とした小学校と中学校との連携による小中一貫教育」が43.8%、「Q-U調査の実施」が33.9%となっています。

図 北区の公立学校の取り組みの満足度（小学校）



#### ④中学校

##### ア. 認知度

「知っている」は「二学期制の実施」が85.4%と最も高く、次いで「スクールカウンセラーの全校配置」が81.7%、「小学校の外国語活動や中学校英語の授業へのALT（外国人講師）配置」が81.3%となっています。

一方、「知らない」は「Q-U調査の実施」が82.2%と最も高く、次いで「ホップ・ステップ・ジャンプ教室等の不登校対策事業」が69.9%、「特別支援教育のための各校への巡回講師の派遣」が68.5%となっています。

図 北区の公立学校の取り組みの認知度（中学校）

(n=219)

単位:%

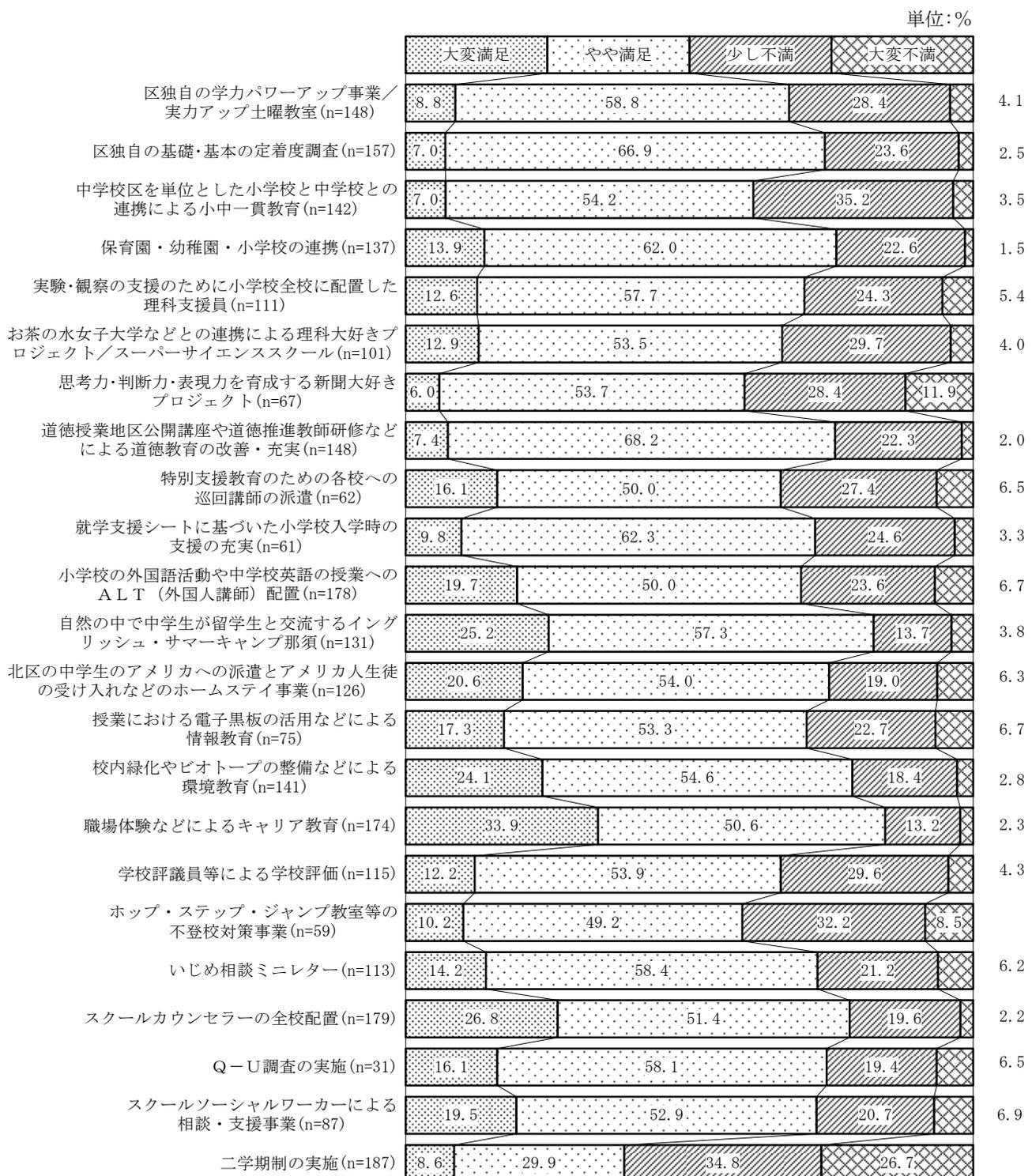
	知っている	知らない	無回答	
区独自の学力パワーアップ事業／実力アップ土曜教室	67.6	28.8		3.7
区独自の基礎・基本の定着度調査	71.7	25.6		2.7
中学校区を単位とした小学校と中学校との連携による小中一貫教育	64.8	30.6		4.6
保育園・幼稚園・小学校の連携	62.6	33.3		4.1
実験・観察の支援のために小学校全校に配置した理科支援員	50.7	45.7		3.7
お茶の水女子大学などとの連携による理科大好きプロジェクト／スーパーサイエンススクール	46.1	50.7		3.2
思考力・判断力・表現力を育成する新聞大好きプロジェクト	30.6	66.2		3.2
道徳授業地区公開講座や道徳推進教師研修などによる道徳教育の改善・充実	67.6	29.2		3.2
特別支援教育のための各校への巡回講師の派遣	28.3	68.5		3.2
就学支援シートに基づいた小学校入学時の支援の充実	27.9	67.1		5.0
小学校の外国語活動や中学校英語の授業へのALT（外国人講師）配置	81.3	15.1		3.7
自然の中で中学生が留学生と交流するイングリッシュ・サマーキャンプ那須	59.8	36.5		3.7
北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人生徒の受け入れなどのホームステイ事業	57.5	38.8		3.7
授業における電子黒板の活用などによる情報教育	34.2	61.6		4.1
校内緑化やビオトープの整備などによる環境教育	64.4	32.4		3.2
職場体験などによるキャリア教育	79.5	16.9		3.7
学校評議員等による学校評価	52.5	41.6		5.9
ホップ・ステップ・ジャンプ教室等の不登校対策事業	26.9	69.9		3.2
いじめ相談ミニレター	51.6	43.8		4.6
スクールカウンセラーの全校配置	81.7	13.7		4.6
Q-U調査の実施	14.2	82.2		3.7
スクールソーシャルワーカーによる相談・支援事業	39.7	55.7		4.6
二学期制の実施	85.4	11.0		3.7

## イ. 満足度

「知っている」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「職場体験などによるキャリア教育」が84.5%と最も高く、次いで「自然の中で中学生が留学生と交流するイングリッシュ・サマーキャンプ那須」が82.5%、「校内緑化やビオトープの整備などによる環境教育」が78.7%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「二学期制の実施」が61.5%と最も高く、次いで「ホップ・ステップ・ジャンプ教室等の不登校対策事業」が40.7%、「思考力・判断力・表現力を育成する新聞大好きプロジェクト」が40.3%となっています。

図 北区の公立学校の取り組みの満足度（中学校）



## (5) 子どもが「生きる力」を身につけるために学校教育で育てるべきこと

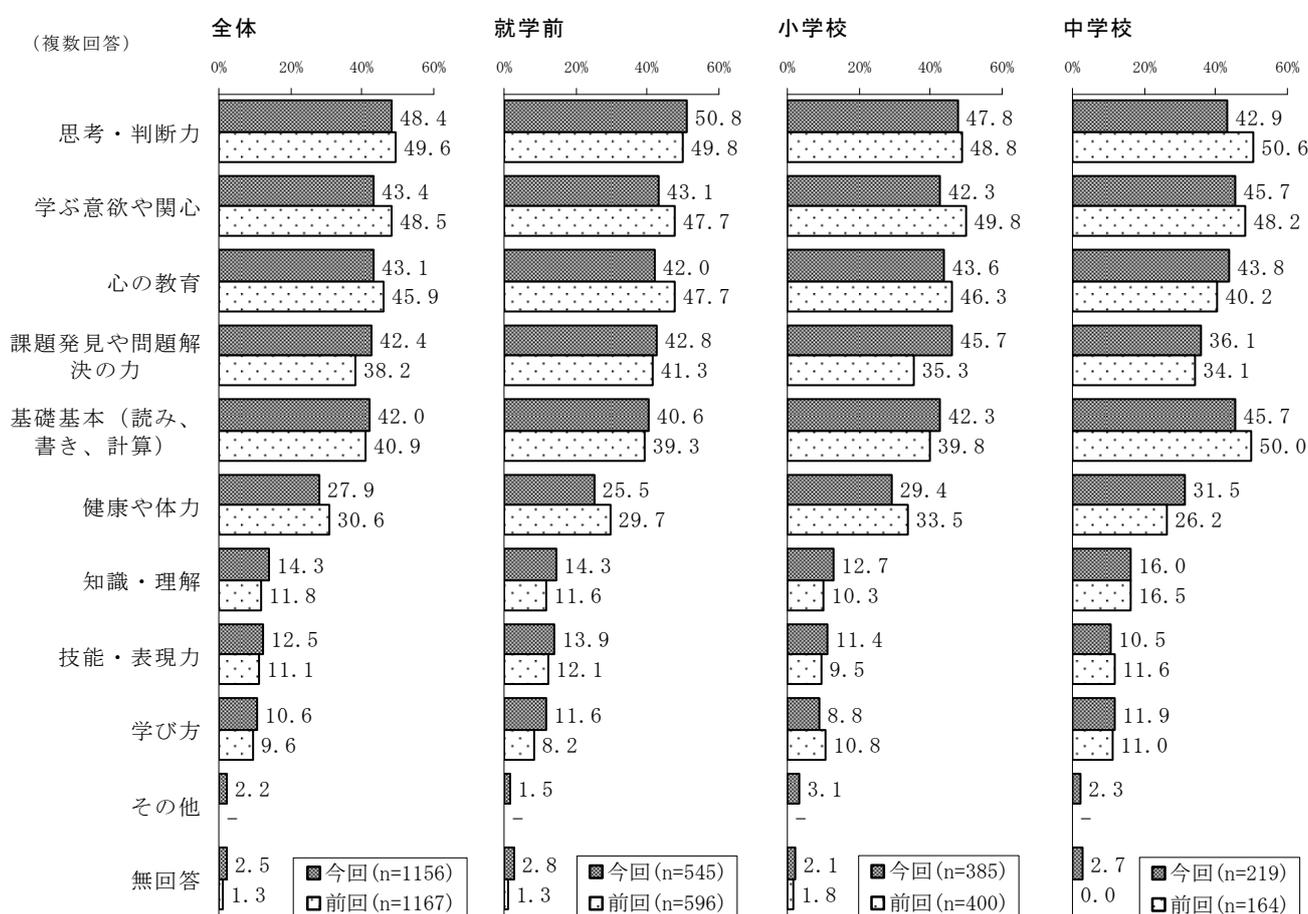
問 18 子どもが「生きる力」を身につけるために、学校教育において育てるべきだと思うものはどれですか。(〇は3つまで)

全体では、「思考・判断力」が48.4%と最も高く、次いで「学ぶ意欲や関心」が43.4%、「心の教育」が43.1%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「思考力・判断力」は就学前では5割となっています。

前回調査と比較すると、全体では「学ぶ意欲や関心」がやや低くなっています。就学前では「心の教育」がやや低くなっています。小学校では「学ぶ意欲や関心」がやや低く、「課題発見や問題解決の力」が高くなっています。中学校では「思考・判断力」がやや低く、「健康や体力」がやや高くなっています。

図 子どもが「生きる力」を身につけるために学校教育で育てるべきこと



## (6) 学校の評価

問 19 封筒の宛名のお子さんが小・中学校に通っている方のみお答えください。

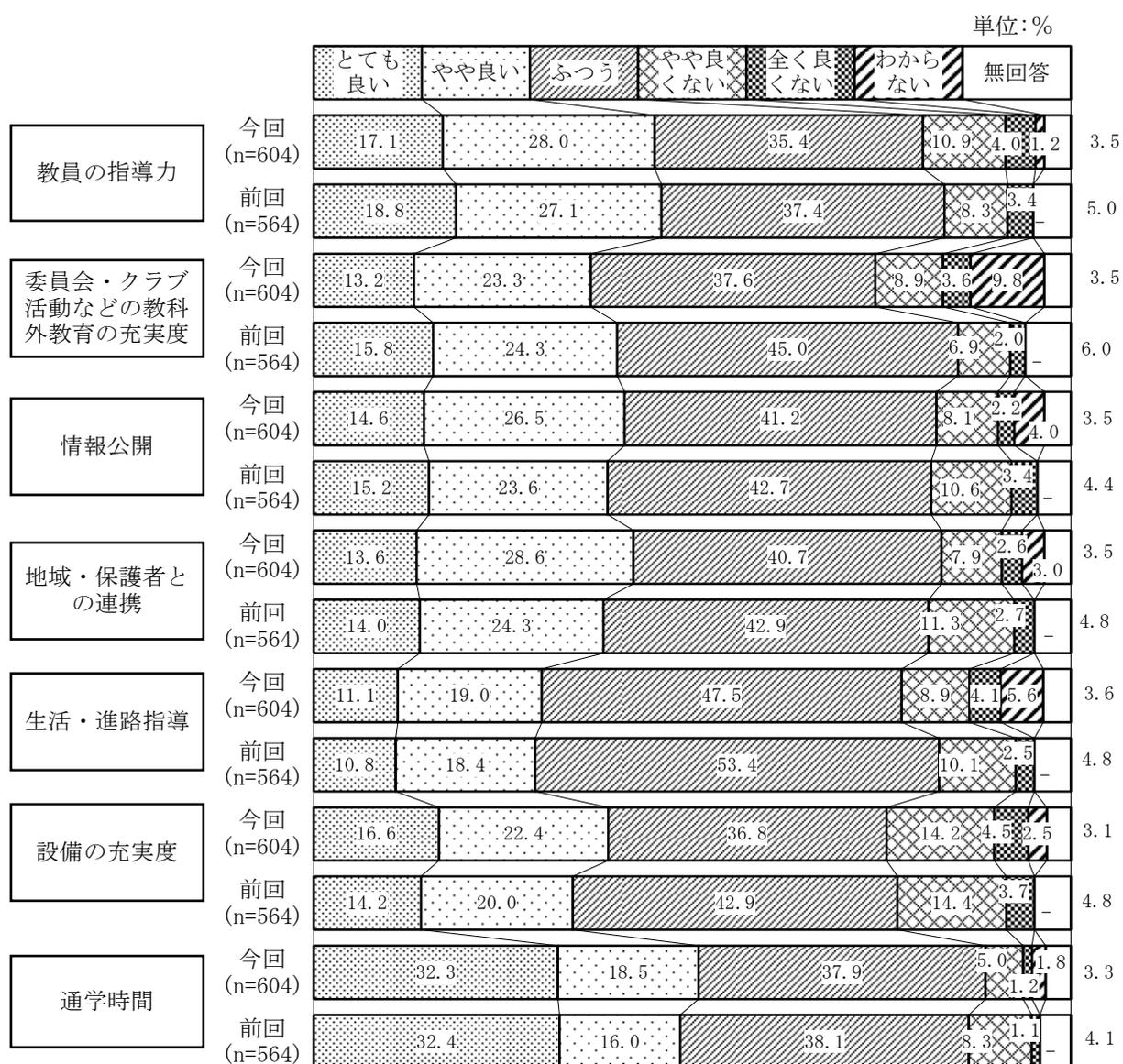
お子さんが通っている学校に関して、次の項目をどの程度評価できますか。(それぞれの項目で○は1つ)

### ①小・中学校

『良い』(「とても良い」+「やや良い」)という回答は、「通学時間」が5割、「教員の指導力」「情報公開」「地域・保護者との連携」が4割台となっています。

前回調査と比較すると、選択肢の項目の内容が一部異なるため単純に比較することはできませんが、「委員会・クラブ活動などの教科外教育の充実度」「生活・進路指導」「設備の充実度」では「ふつう」がやや低くなっています。

図 学校の評価 (小・中学校)

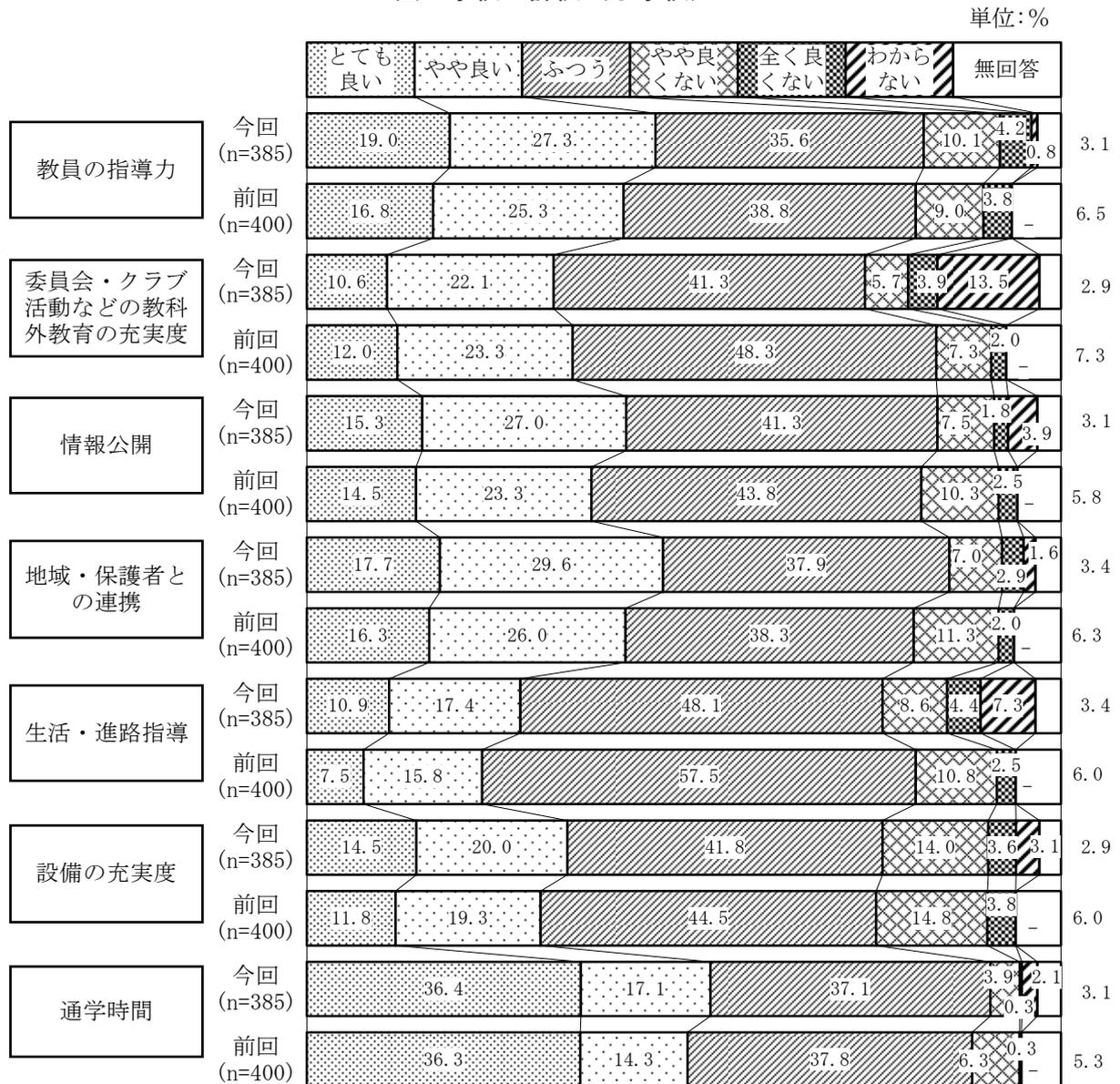


## ②小学校

『良い』（「とても良い」＋「やや良い」）という回答は、「通学時間」が5割台、「教員の指導力」「情報公開」「地域・保護者との連携」が4割台となっています。

前回調査と比較すると、選択肢の項目の内容が一部異なるため単純に比較することはできませんが、「委員会・クラブ活動などの教科外教育の充実度」では「ふつう」がやや低くなっています。「地域・保護者との連携」では『良い』がやや高くなっています。「生活・進路指導」では『良い』がやや高く、「ふつう」がやや低くなっています。

図 学校の評価（小学校）

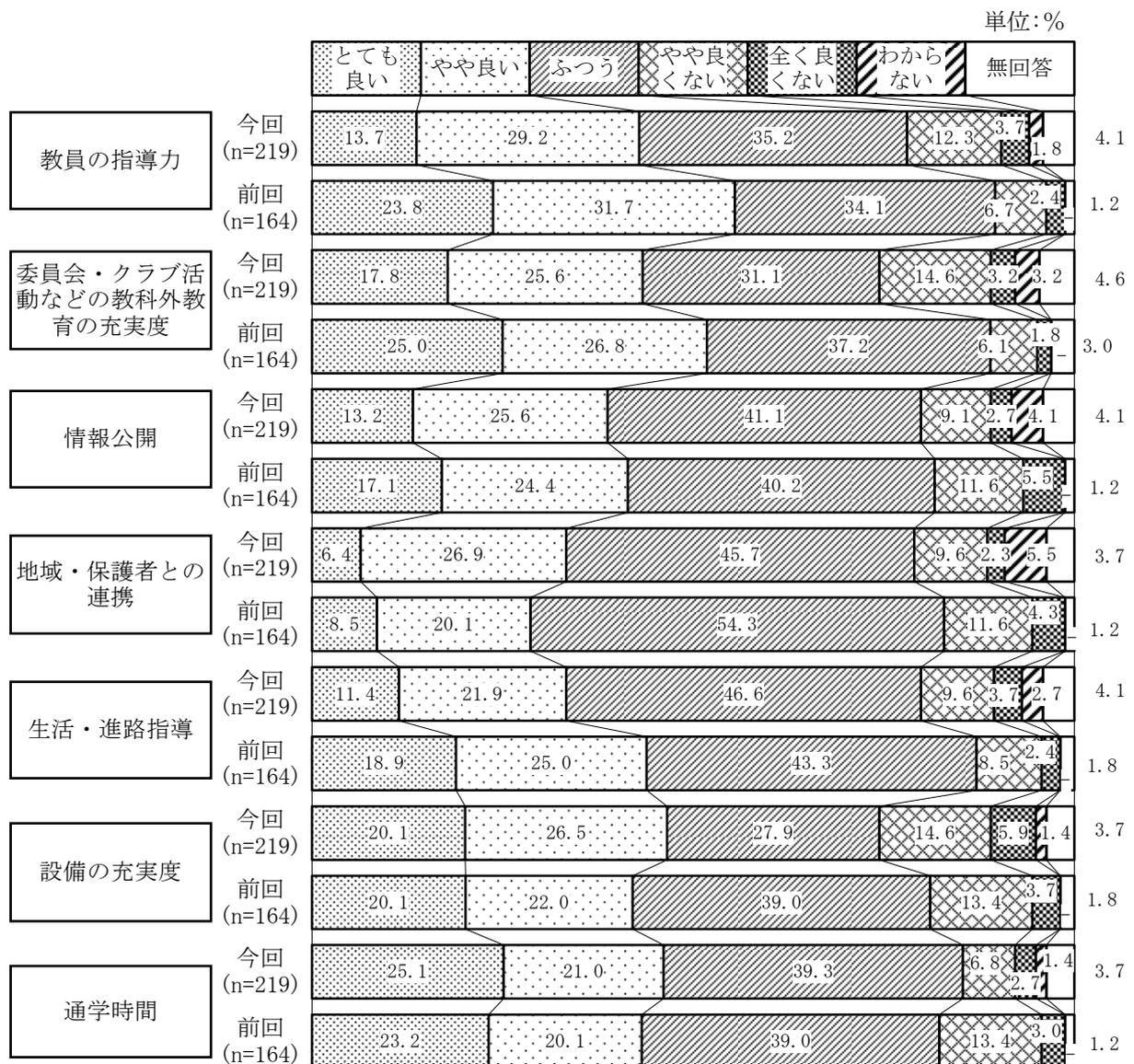


### ③中学校

『良い』（「とても良い」＋「やや良い」）という回答は、「教員の指導力」「委員会・クラブ活動などの教科外教育の充実度」「設備の充実度」「通学時間」が4割台となっています。

前回調査と比較すると、選択肢の項目の内容が一部異なるため単純に比較することはできませんが、「教員の指導力」では『良い』が低くなっています。「委員会・クラブ活動などの教科外教育の充実度」では『良い』『ふつう』がやや低くなっています。「地域・保護者との連携」では「ふつう」がやや低くなっています。「生活・進路指導」では『良い』が低くなっています。「設備の充実度」では「ふつう」が低くなっています。「通学時間」では『良くない』（「やや良くない」＋「全く良くない」）がやや低くなっています。

図 学校の評価（中学校）



## (7) 教員の評価

問 20 封筒の宛名のお子さんが小・中学校に通っている方のみお答えください。

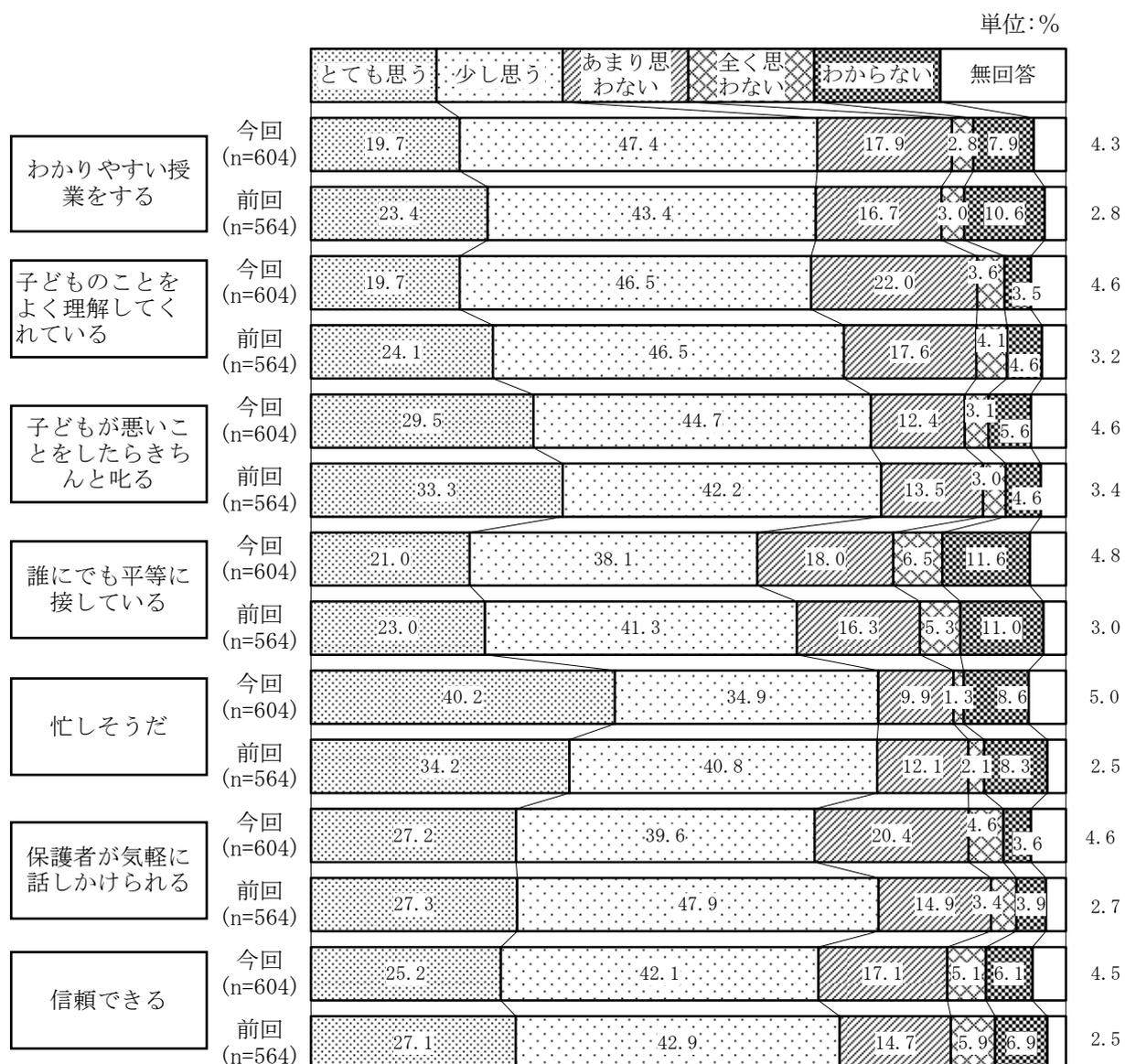
封筒の宛名のお子さんが通っている学校の教員について、次の項目をどう思いますか。(それぞれの項目で○は1つ)

### ①小・中学校

『思う』(「とても思う」+「少し思う」)という回答は、「子どもが悪いことをしたらきちんと叱る」「忙しそうだ」が7割を超えています。

前回調査と比較すると、「誰にでも平等に接している」と「保護者が気軽に話しかけられる」では『思う』がやや低くなっています。

図 教員の評価 (小・中学校)

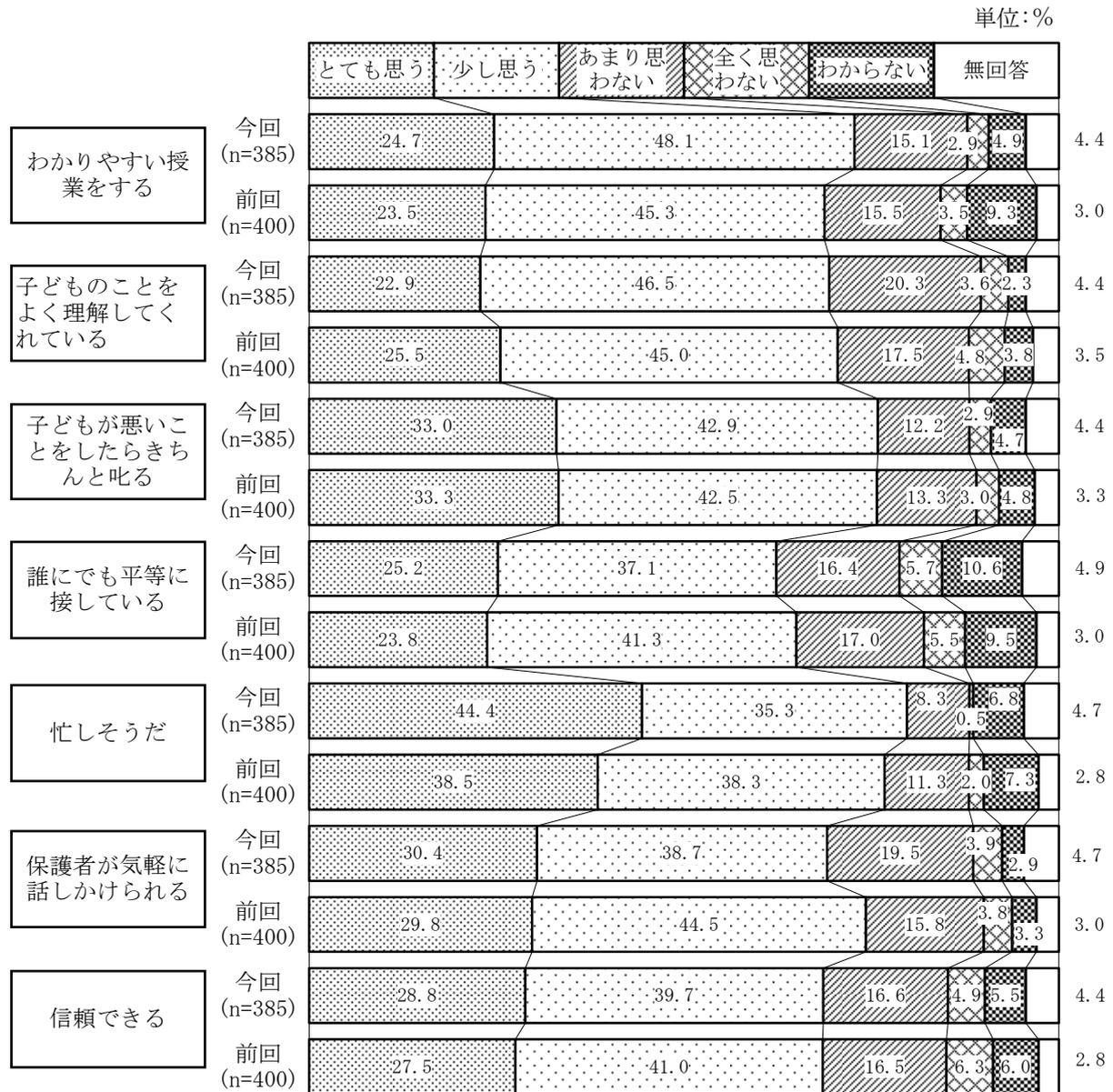


## ②小学校

『思う』（「とても思う」＋「少し思う」）という回答は、「わかりやすい授業をする」「子どもが悪いことをしたらきちんと叱る」「忙しそうだ」が7割を超えています。

前回調査と比較すると、「保護者が気軽に話しかけられる」では『思う』がやや低くなっています。

図 教員の評価（小学校）

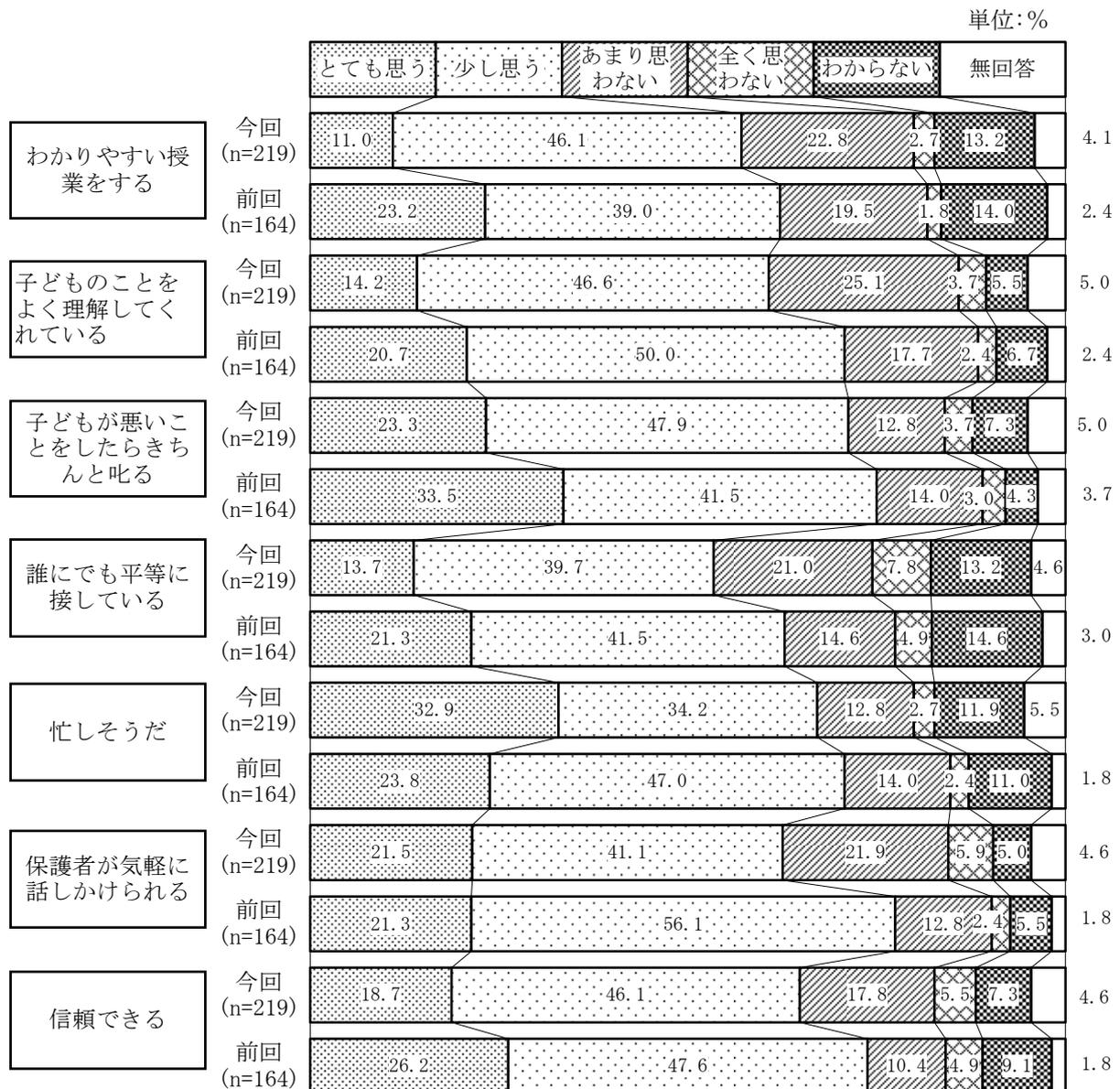


### ③中学校

『思う』（「とても思う」＋「少し思う」）という回答は、「子どもが悪いことをしたらきちんと叱る」が7割を超えています。

前回調査と比較すると、「わかりやすい授業をする」「子どものことをよく理解してくれている」「誰にでも平等に接している」「保護者が気軽に話しかけられる」「信頼できる」では『思う』が低くなっています。

図 教員の評価（中学校）



## (8) 子どもの学校図書館の利用内容

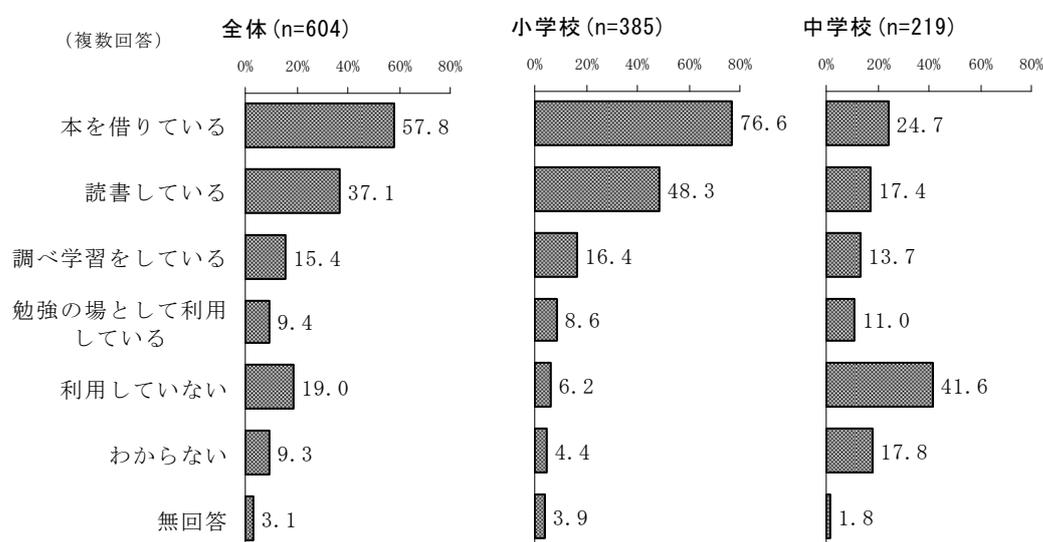
問 21 封筒の宛名のお子さんが小・中学校に通っている方のみお答えください。

お子さんは、学校図書室をどのように利用していると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「本を借りている」が 57.8%と最も高く、次いで「読書している」が 37.1%、「調べ学習をしている」が 15.4%となっています。一方、「利用していない」は 19.0%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、小学校では「本を借りている」が 76.6%と最も高く、次いで「読書している」が 48.3%となっています。中学生では「利用していない」が 41.6%と最も高くなっています。

図 子どもの学校図書館の利用内容



(9) 小学校卒業後の進路

問 22 封筒の宛名のお子さんが小学校5・6年生の方のみお答えください。  
 お子さんの小学校卒業後の進路は、どのように考えていますか。(〇は1つだけ)

「北区内の公立中学校への進学」が49.3%と最も高く、次いで「私立中学校への進学」が24.6%、「公立の中高一貫校への進学」が14.2%となっています。

前回調査と比較すると、「公立の中高一貫校への進学」がやや高くなっています。

図 小学校卒業後の進路



(10) 北区の公立学校以外への進学を考えている理由

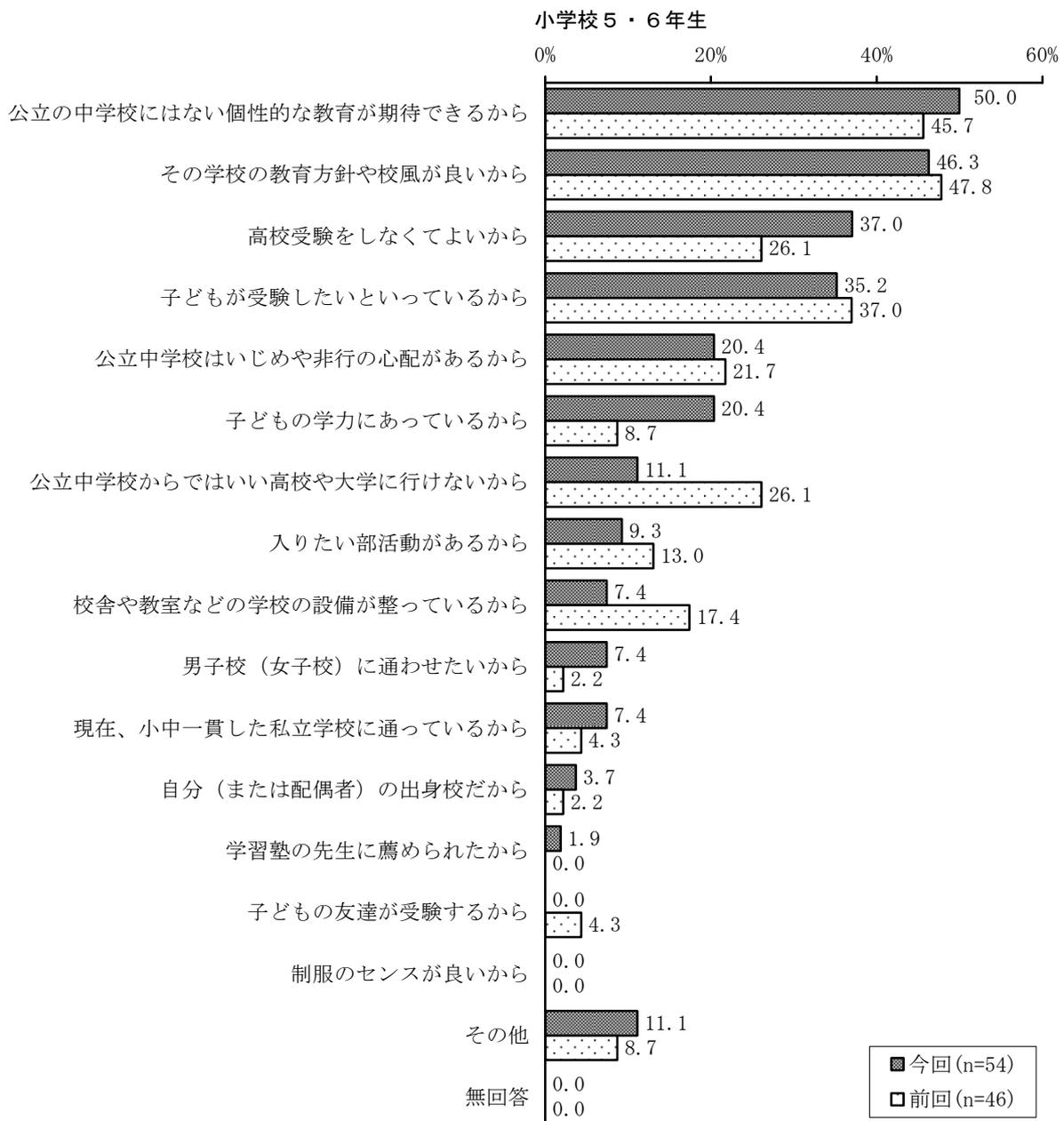
問 23 問 22 で 2, 3, 4 と答えた方にお聞きします。

北区の公立中学校以外への進学を考えているのはなぜですか。(〇は3つまで)

「公立の中学校にはない個性的な教育が期待できるから」が 50.0%と最も高く、次いで「その学校の教育方針や校風が良いから」が 46.3%、「高校受験をしなくてよいから」が 37.0%となっています。

前回調査と比較すると、「高校受験をしなくてよいから」「子どもの学力にあっているから」「男子校（女子校）に通わせたいから」が高く、「公立中学校からではいい高校や大学に行けないから」「校舎や教室などの学校の設備が整っているから」が低くなっています。

図 北区の公立学校以外への進学を考えている理由



## 5 家庭教育・地域教育力について

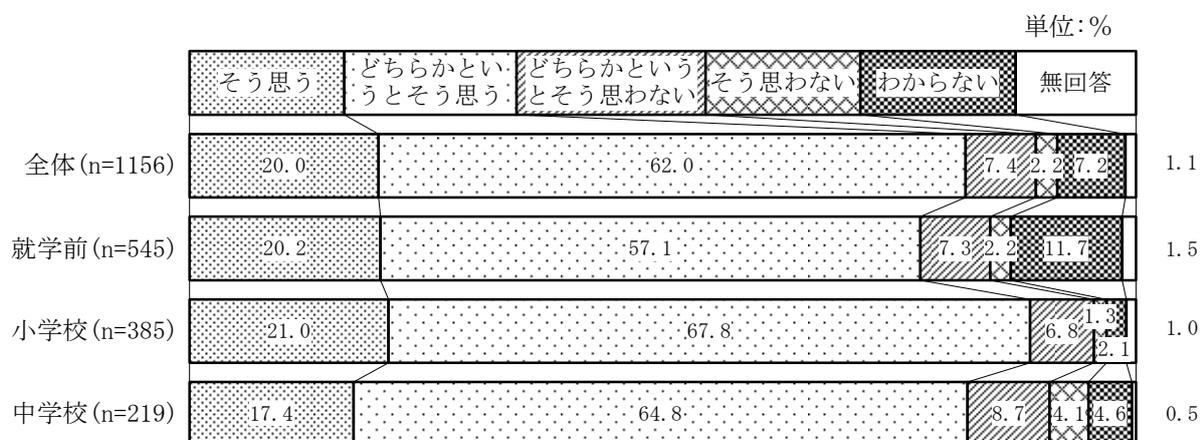
### (1) 家庭で子どもをきちんとしつけているか

問 24 家庭で子どもをきちんとしつけていると思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が 20.0%、「どちらかというと思う」が 62.0%で、合わせて 82.0%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では 77.3%、小学校では 88.8%、中学校では 82.2%となっています。

図 家庭で子どもをきちんとしつけているか



## (2) 子どもを注意してくれる地域の大人は多いか

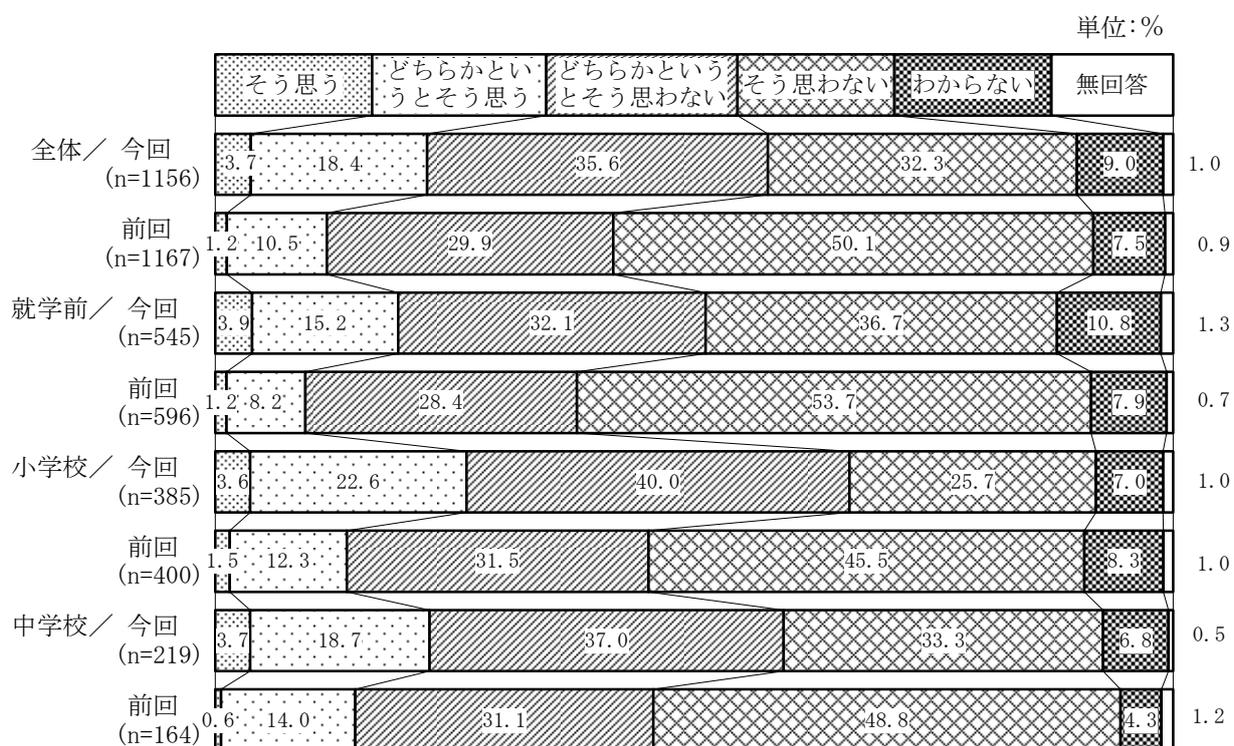
問 25 子どもを注意してくれる地域の大人は多いと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が3.7%、「どちらかというと思う」が18.4%で、合わせて22.1%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では19.1%、小学校では26.2%、中学校では22.4%となっています。

前回調査と比較すると、どの就学先も、多いと思う割合が高くなっています。

図 子どもを注意してくれる地域の大人は多いか



### (3) 社会のルールやマナーを守る子どもが多いか

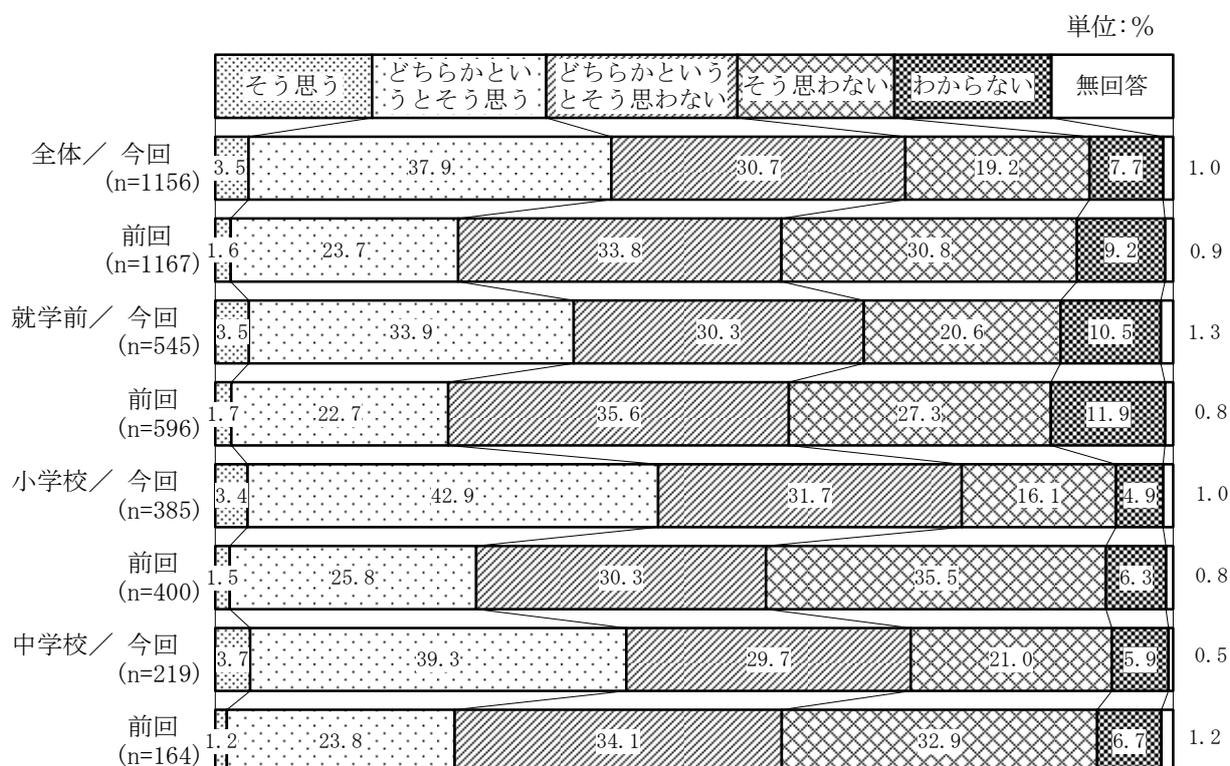
問 26 社会のルールやマナーを守る子どもが多いと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が3.5%、「どちらかというと思う」が37.9%で、合わせて41.4%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では37.4%、小学校では46.3%、中学校では43.0%となっています。

前回調査と比較すると、どの就学先も、多いと思う割合が高くなっています。

図 社会のルールやマナーを守る子どもが多いか



#### (4) 子どもが参加できる地域の活動は十分か

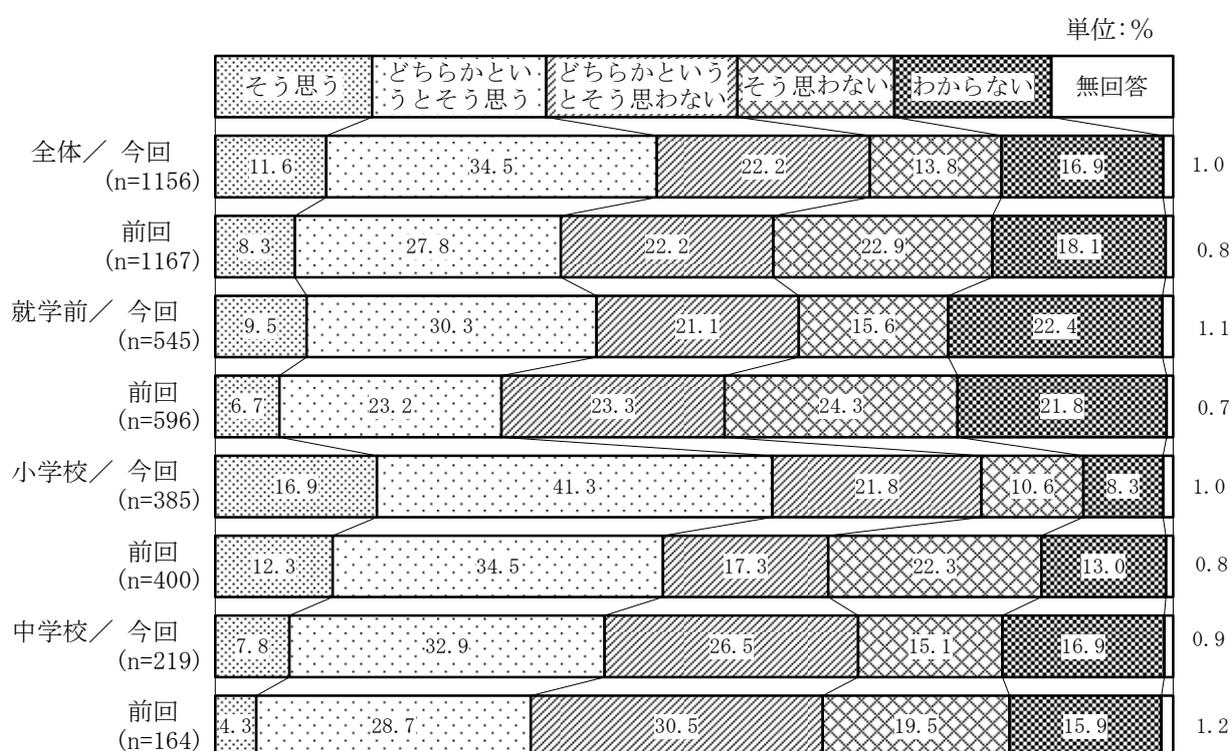
問 27 子どもが参加できる地域の活動は十分だと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が 11.6%、「どちらかというと思う」が 34.5%で、合わせて 46.1%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では 39.8%、小学校では 58.2%、中学校では 40.7%で、小学校が高くなっています。

前回調査と比較すると、どの就学先も、十分だと思う割合が高くなっています。

図 子どもが参加できる地域の活動は十分か



## (5) 自分の子どもの学力の程度

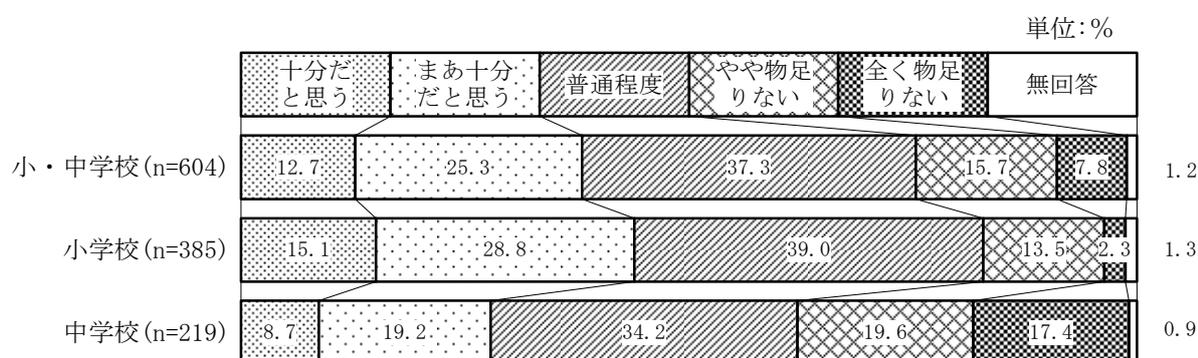
問 28 あなたからみて、封筒の宛名のお子さんの学力をどう思いますか。(○は1つだけ)

※ 本設問は、小・中学校に通う子どもを持つ保護者のみの調査結果となっています。

小・中学校では、「十分だと思う」が12.7%、「まあ十分だと思う」が25.3%で、合わせて38.0%が『十分だと思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『十分だと思う』（「十分だと思う」＋「まあ十分だと思う」）は、小学校では43.9%、中学校では27.9%で、中学校になると低くなっています。

図 自分の子どもの学力の程度



## (6) 家庭での子どもとの関わり

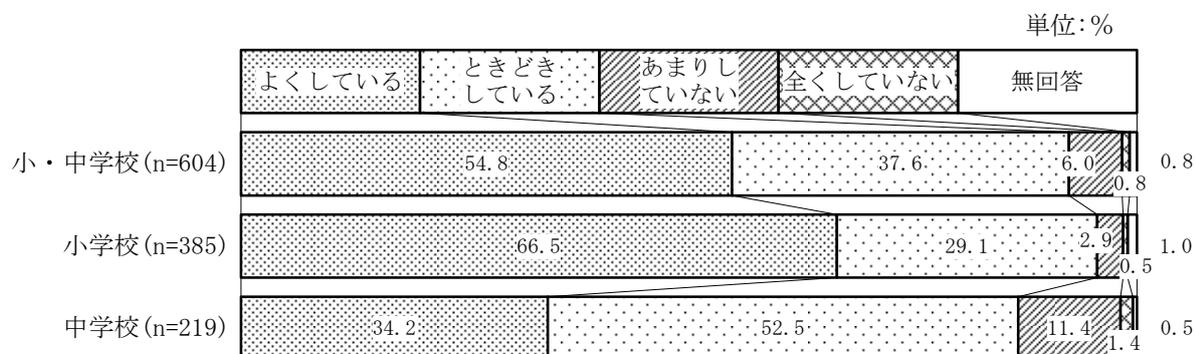
問 29 ご家庭で封筒の宛名のお子さんに勉強を教えたり、宿題をみたり、学校のできごとを話し合ったりしていますか。(○は1つだけ)

※ 本設問は、小・中学校に通う子どもを持つ保護者のみの調査結果となっています。

小・中学校では、「よくしている」が54.8%、「ときどきしている」が37.6%で、合わせて92.4%が『している』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『している』(「よくしている」+「ときどきしている」)は、小学校では95.6%、中学校では86.7%となっています。

図 家庭での子どもとの関わり



(7) 子どもを学習塾に通わせている目的

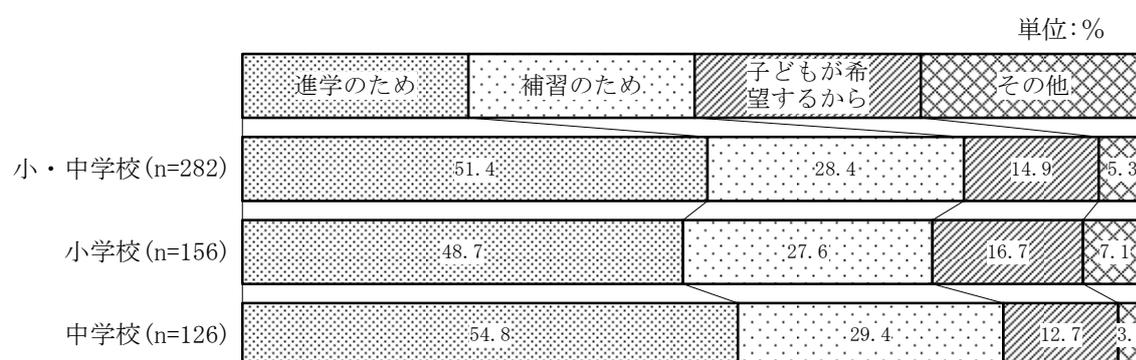
問 30 封筒の宛名のお子さんを学習塾へ行かせている方のみお答えください。  
 お子さんを学習塾に行かせている目的はなんですか。(〇は1つだけ)

※ 本設問は、小・中学校に通う子どもを持つ保護者のみの調査結果となっています。

小・中学校では、「進学のため」が51.4%と最も高く、次いで「補習のため」が28.4%、「子どもが希望するから」が14.9%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「進学のため」は中学校が小学校よりやや高くなっています。

図 子どもを学習塾に通わせている目的



(8) 子どもを学習塾に通わせない理由

問 31 封筒の宛名のお子さんを学習塾へ行かせていない方のみお答えください。  
 お子さんを学習塾へ行かせない理由をお聞かせください。(○は1つだけ)

※ 本設問は、小・中学校に通う子どもを持つ保護者のみの調査結果となっています。

小・中学校では、「子どもが希望しないから」が 33.0%と最も高く、次いで「学校の学習で十分だから」が 26.8%、「経済的理由」が 12.7%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「子どもが希望しないから」は中学校が小学校より高くなっています。

図 子どもを学習塾に通わせない理由

単位：%

	学校の学習で十分だから	子どもが希望しないから	経済的理由	その他
小・中学校 (n=306)	26.8	33.0	12.7	27.5
小学校 (n=217)	27.2	28.1	12.0	32.7
中学校 (n=89)	25.8	44.9	14.6	14.6

### (9) 学校の授業以外の1日の勉強時間

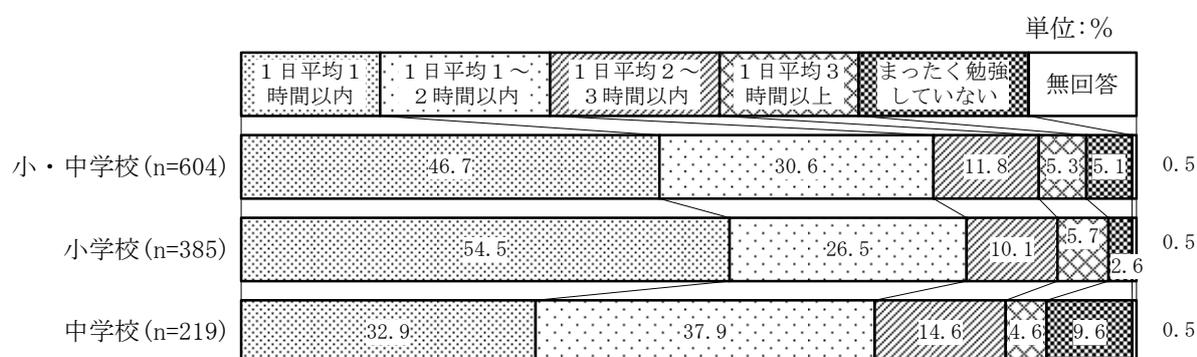
問 32 封筒の宛名のお子さんは、学校の授業以外に1日平均でどのくらい勉強(学校の宿題、通信教育、学習塾、家庭教師等による学習時間)をしていますか。(○は1つだけ)

※ 本設問は、小・中学校に通う子どもを持つ保護者のみの調査結果となっています。

小・中学校では、「1日平均1時間以内」が46.7%と最も高く、次いで「1日平均1～2時間以内」が30.6%、「1日平均2～3時間以内」が11.8%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、小学校では「1日平均1時間以内」が54.5%と最も高く、中学校では「1日平均1～2時間以内」が37.9%と最も高くなっています。一方、「まったく勉強していない」は小学校から中学校になるとやや高くなっています。

図 学校の授業以外の1日の勉強時間



## 6 教育全般について

### (1) 子どもたちの学力格差に対する認識

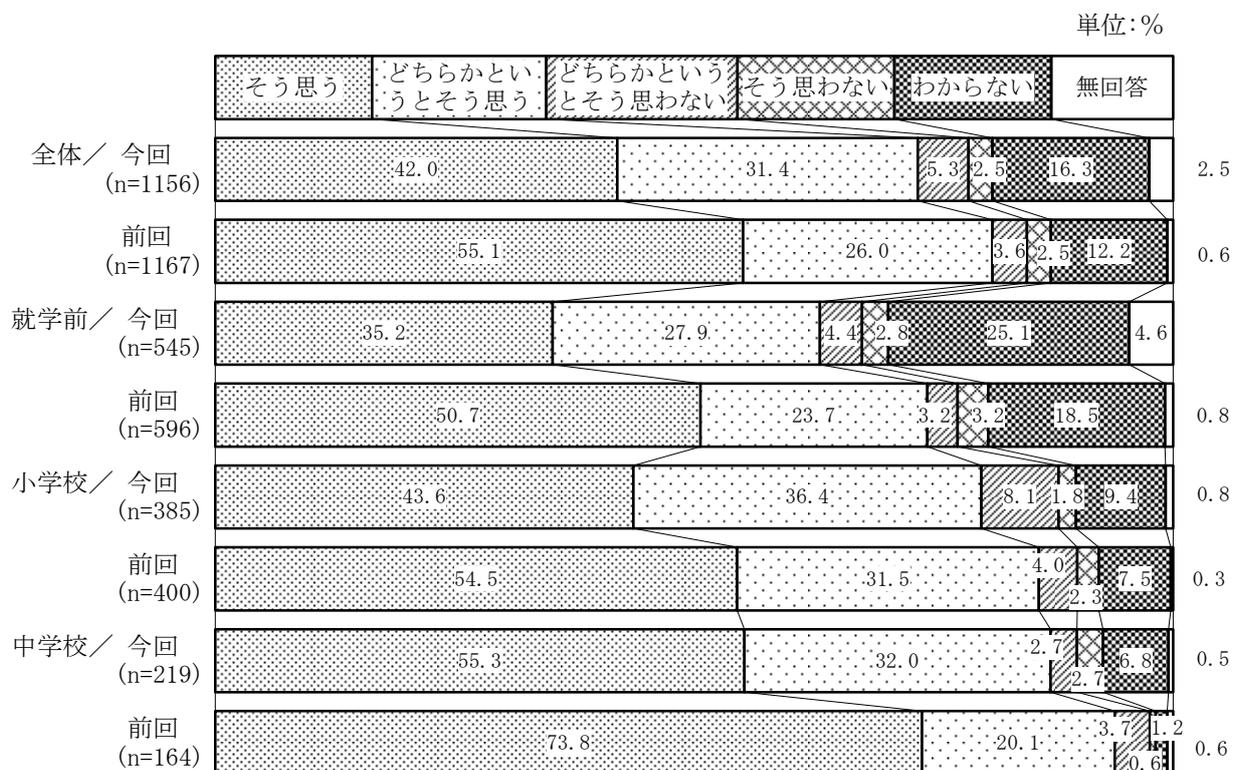
問 33 一般的に言って、子どもたちの学力格差は広がっていると思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が 42.0%、「どちらかというと思う」が 31.4%で、合わせて 73.4%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では 63.1%、小学校では 80.0%、中学校では 87.3%で、就学前が低くなっています。

前回調査と比較すると、どの就学先も、広がっていると思う割合が低くなっています。

図 子どもたちの学力格差に対する認識



## (2) 学力格差が特に広がっていると思う段階

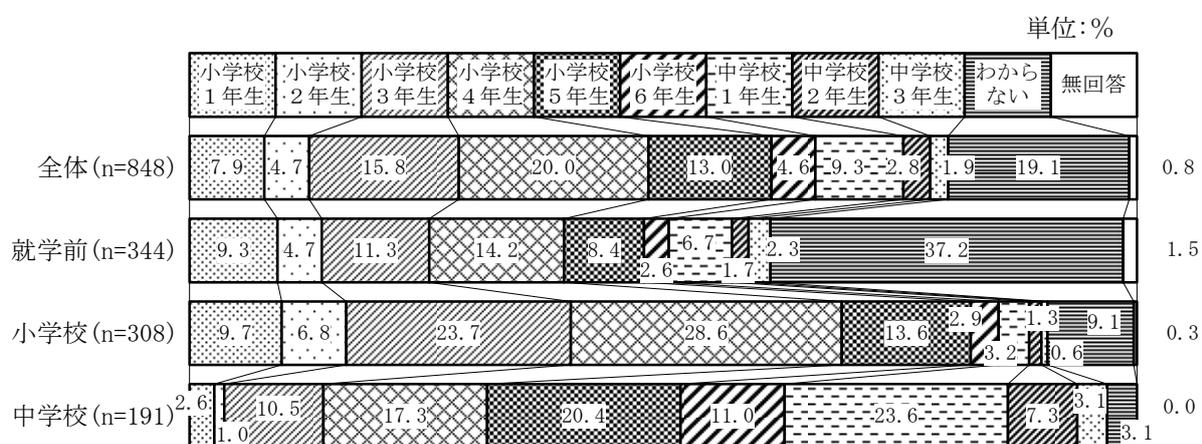
問 34 問 33 で 1, 2 と答えた方にお聞きします。

どの段階で学力格差が特に広がっていると思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「小学校4年生」が20.0%と最も高く、次いで「小学校3年生」が15.8%、「小学校5年生」が13.0%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前では「小学校4年生」が14.2%と最も高く、次いで「小学校3年生」が11.3%となっており、また「わからない」が37.2%となっています。小学校では「小学校4年生」が28.6%と最も高く、次いで「小学校3年生」が23.7%となっています。中学校では「中学校1年生」が23.6%と最も高く、次いで「小学校5年生」が20.4%となっています。

図 学力格差が特に広がっていると思う段階



### (3) 周りの人の役に立とうとする子どもは多いか

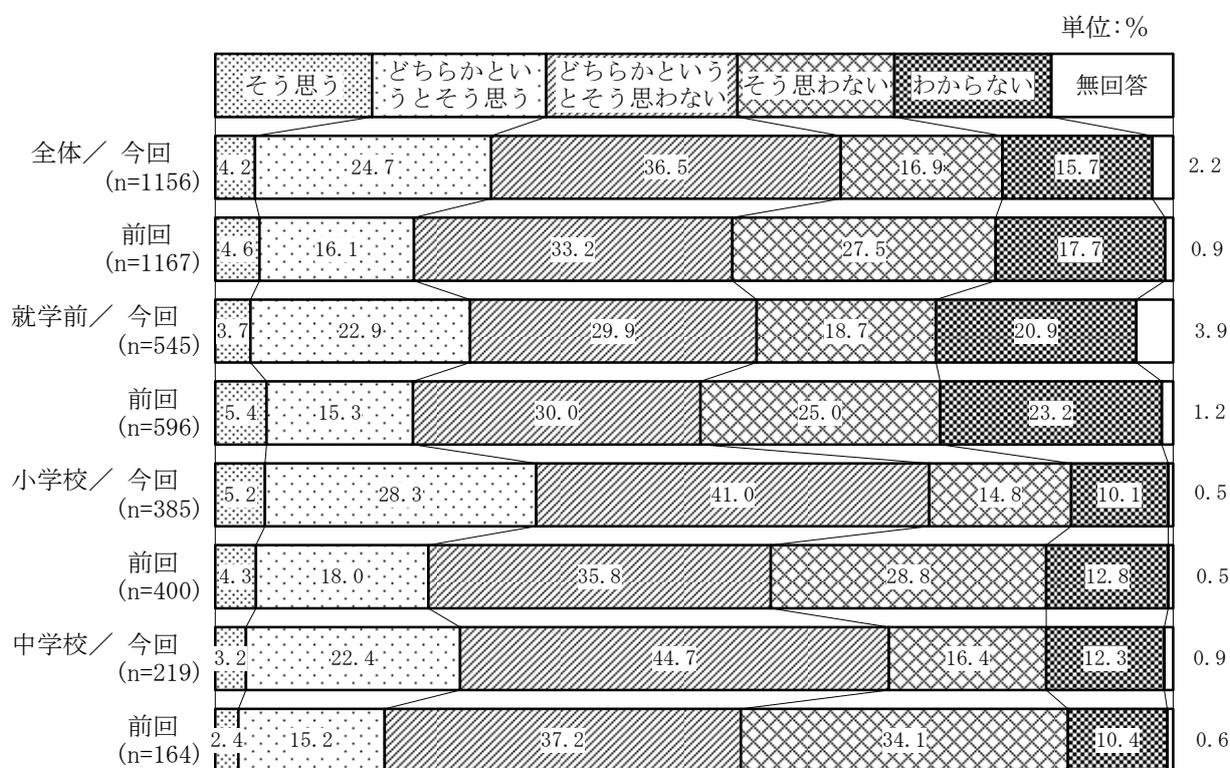
問 35 一般的に言って、周りの人の役に立とうとする子どもは多いと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が4.2%、「どちらかというと思う」が24.7%で、合わせて28.9%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では26.6%、小学校では33.5%、中学校では25.6%で、小学校がやや高くなっています。

前回調査と比較すると、どの就学先も、多いと思う割合が高くなっています。

図 周りの人の役に立とうとする子どもは多いか



#### (4) 子どもたちの体力は低下しているか

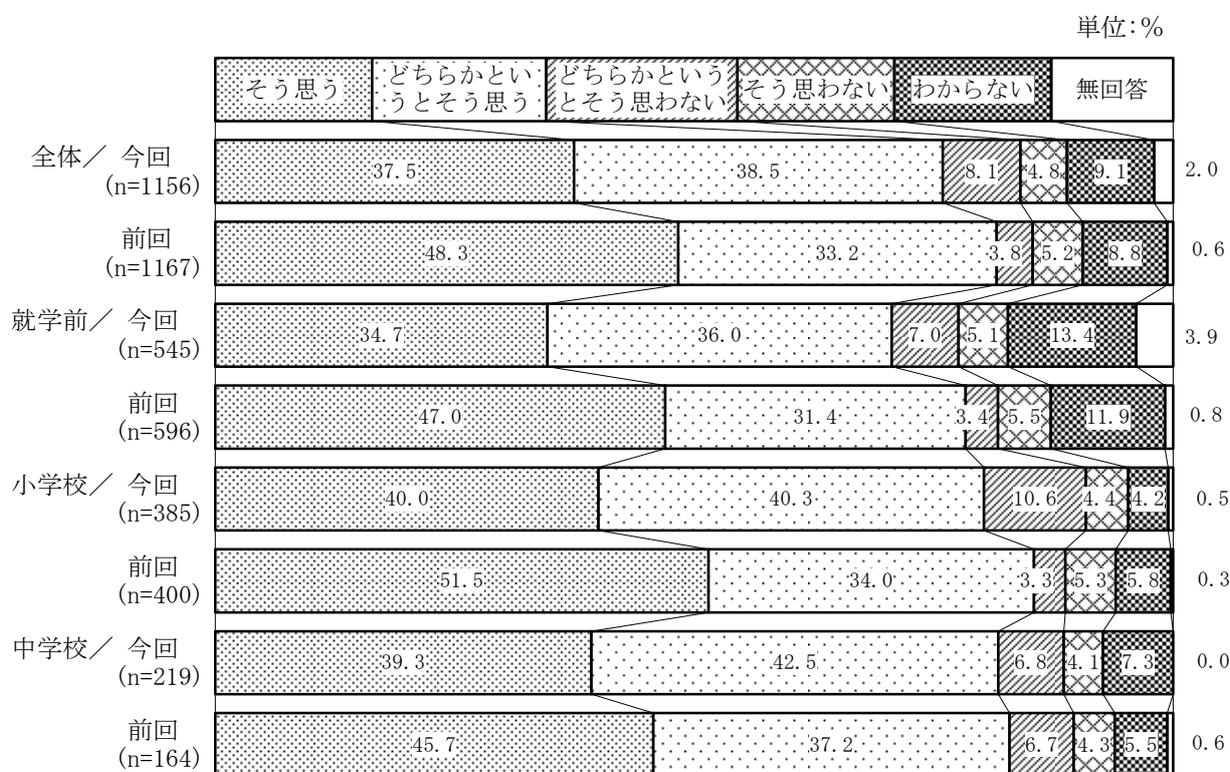
問 36 一般的に言って、子どもたちの体力は低下していると思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が 37.5%、「どちらかというと思う」が 38.5%で、合わせて 76.0%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では 70.7%、小学校では 80.3%、中学校では 81.8%で、就学前が低くなっています。

前回調査と比較すると、全体、就学前、小学校では、低下していると思う割合が低くなっています。

図 子どもたちの体力は低下しているか



### (5) 学校の体育や部活動以外で体力向上や健康づくりをよくやっているか

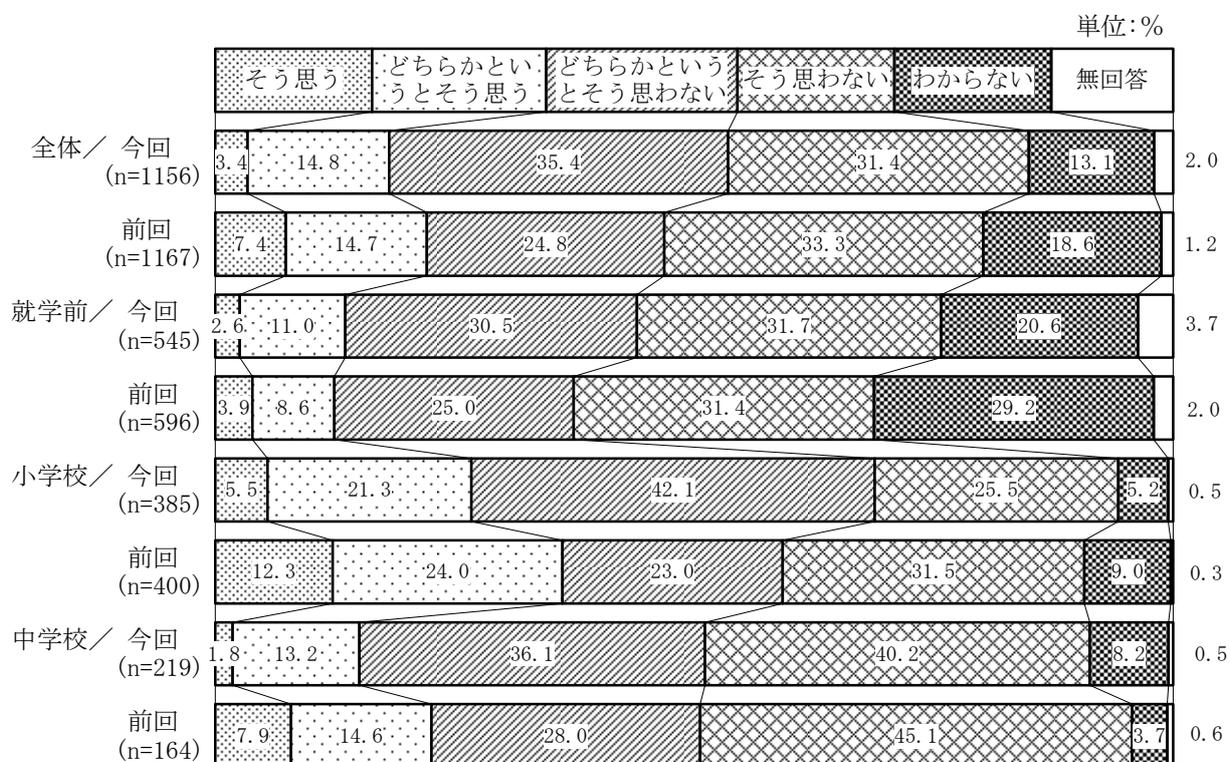
問 37 一般的に言って、子どもは、学校の体育や部活動以外で日常的に体力向上や健康づくりをよくやっていると思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が 3.4%、「どちらかというと思う」が 14.8%で、合わせて 18.2%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では 13.6%、小学校では 26.8%、中学校では 15.0%で、小学校が高くなっています。

前回調査と比較すると、どの就学先も、よくやっていると思う割合が低くなっています。

図 学校の体育や部活動以外で体力向上や健康づくりをよくやっているか



(6) 保護者は地域の学校運営にもっと参画・連携するべきか

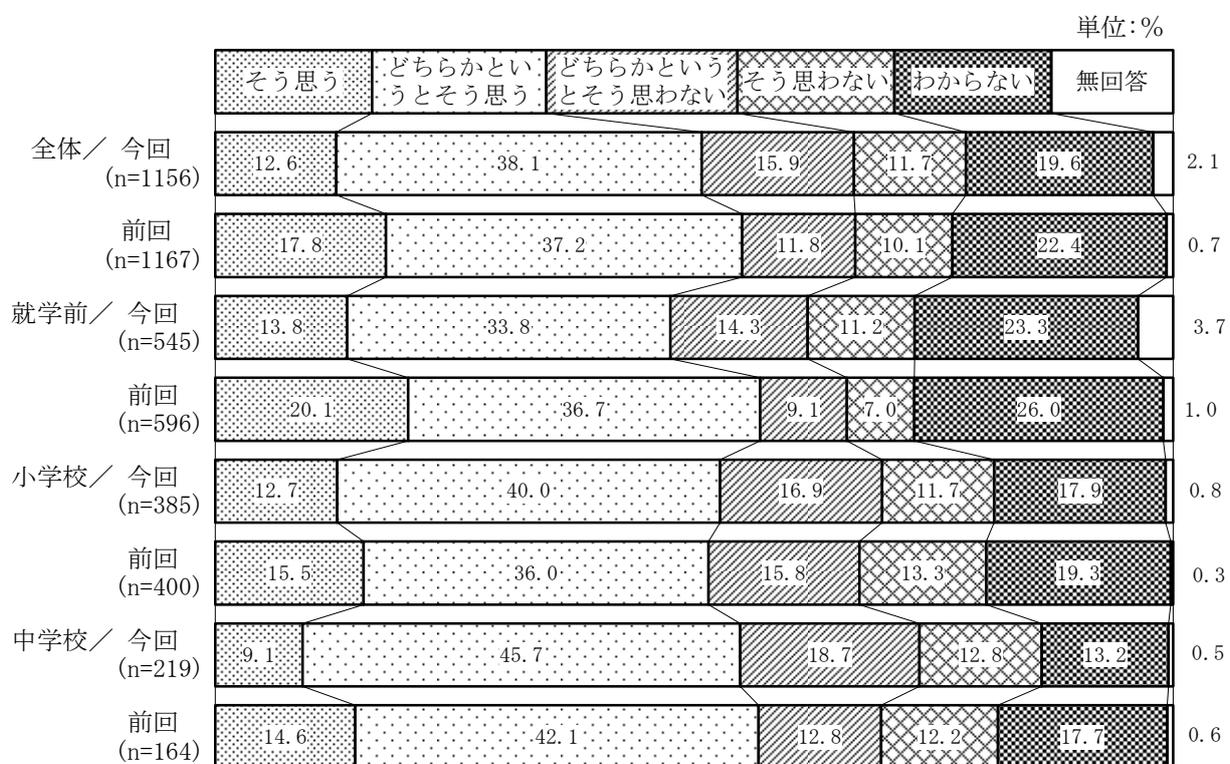
問 38 一般的に言って、保護者は、地域の学校運営にもっと参画・連携するべきだと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が 12.6%、「どちらかというと思う」が 38.1%で、合わせて 50.7%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では 47.6%、小学校では 52.7%、中学校では 54.8%となっています。

前回調査と比較すると、全体、就学前、中学校では、もっと参画・連携すべきだと思う割合が低くなっています。

図 保護者は地域の学校運営にもっと参画・連携するべきか



## 7 教育行政について

### (1) 北区教育委員会の取り組みの認知度・満足度

問 39 北区教育委員会では以下の教育に関する取り組みを行っています。それぞれの取り組みについて、知っている場合はその満足度を、知らない場合は「知らない」に○をつけてください。(それぞれの項目に○は1つ)

#### ①全体

##### ア. 認知度

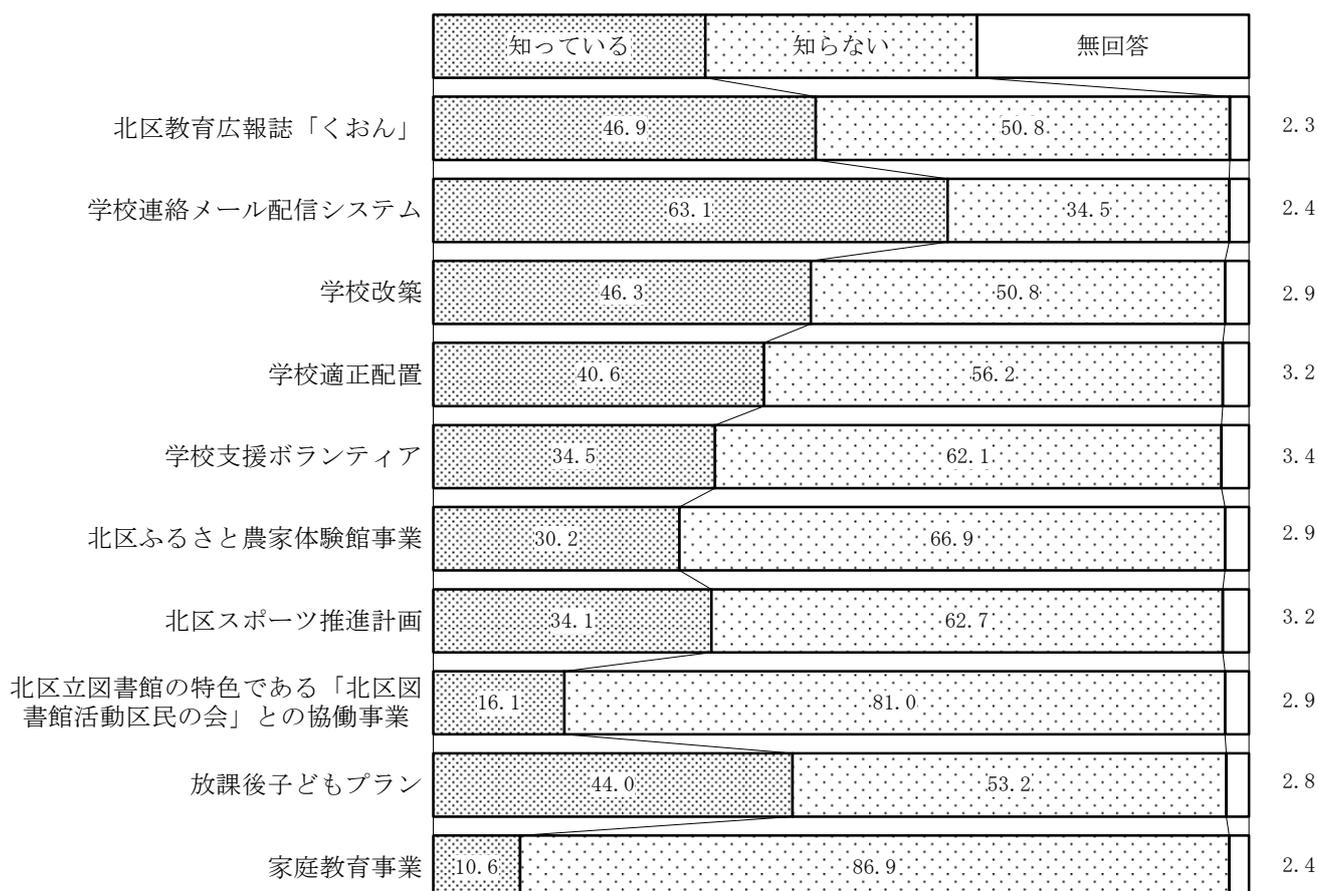
「知っている」は「学校連絡メール配信システム」が63.1%と最も高く、次いで「北区教育広報誌「くおん」」が46.9%、「学校改築」が46.3%となっています。

一方、「知らない」は「家庭教育事業」が86.9%と最も高く、次いで「北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業」が81.0%、「北区ふるさと農家体験館事業」が66.9%となっています。

図 北区教育委員会の取り組みの認知度（全体）

(n=1156)

単位：%

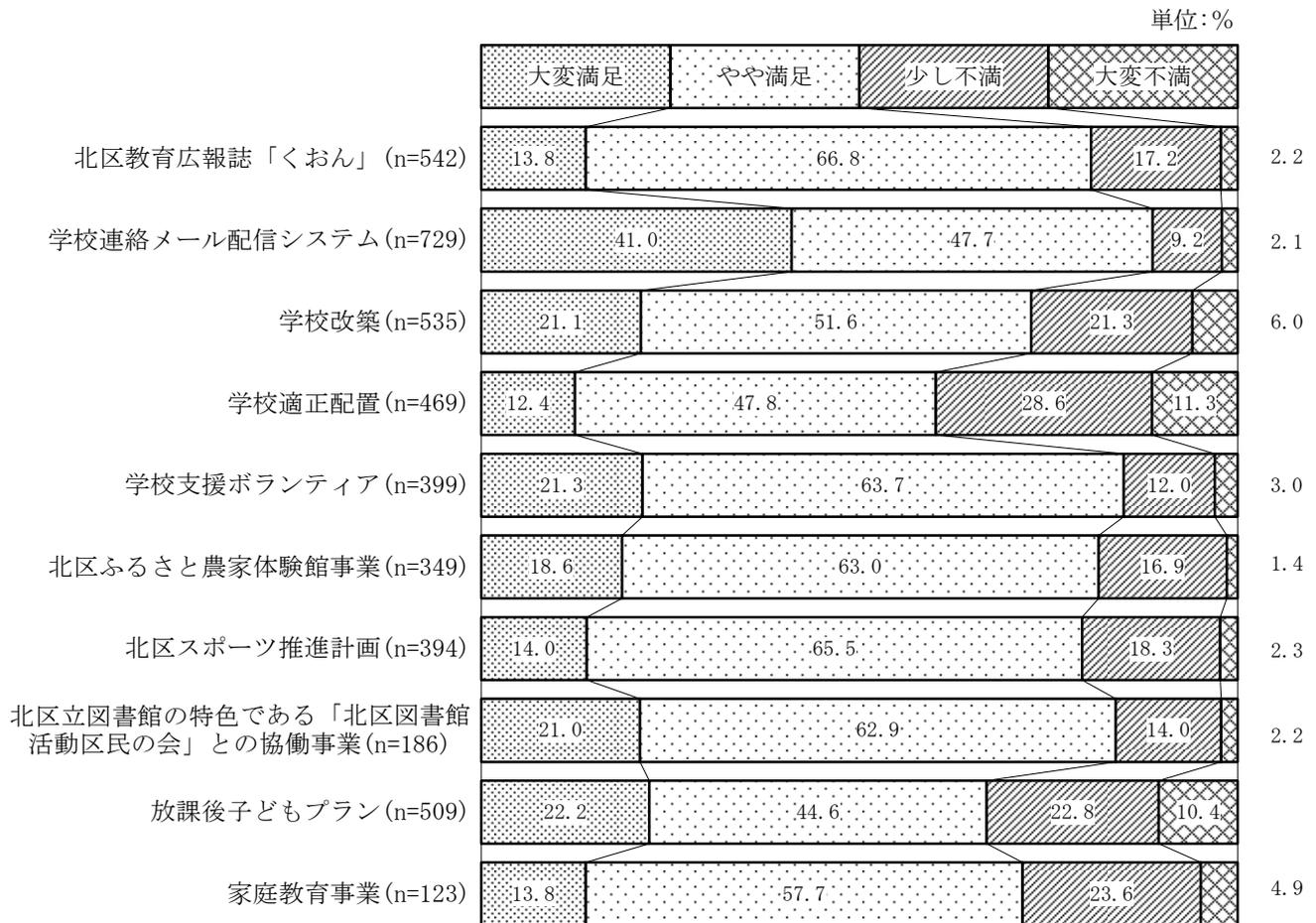


## イ. 満足度

「知っている」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「学校連絡メール配信システム」が88.7%と最も高く、次いで「学校支援ボランティア」が85.0%、「北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業」が83.9%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「学校適正配置」が39.9%と最も高く、次いで「放課後子どもプラン」が33.2%、「家庭教育事業」が28.5%となっています。

図 北区教育委員会の取り組みの満足度（全体）



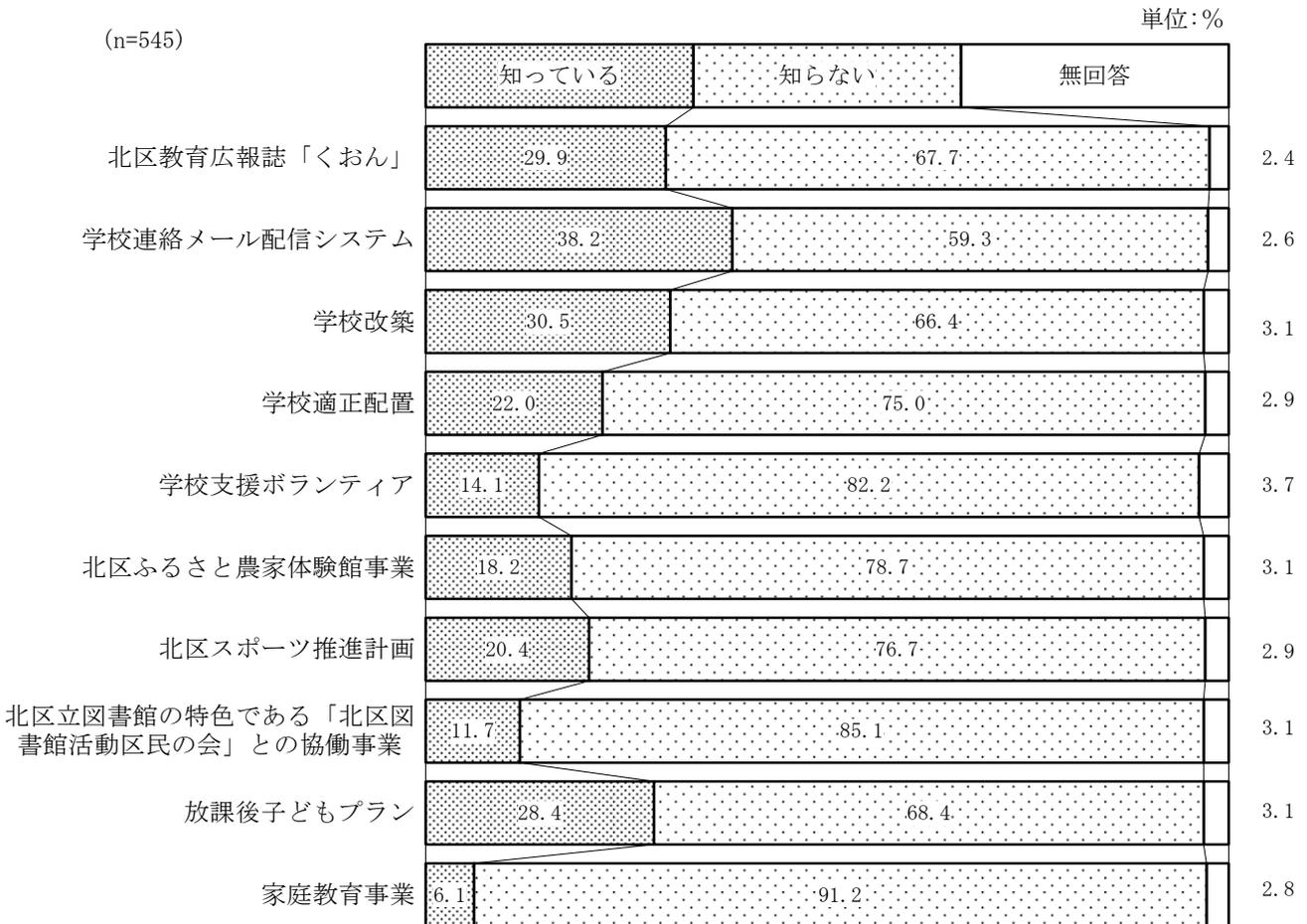
## ②就学前

### ア. 認知度

「知っている」は「学校連絡メール配信システム」が38.2%と最も高く、次いで「学校改築」が30.5%、「北区教育広報誌「くおん」」が29.9%となっています。

一方、「知らない」は「家庭教育事業」が91.2%と最も多く、次いで「北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業」が85.1%、「学校支援ボランティア」が82.2%となっています。

図 北区教育委員会の取り組みの認知度（就学前）

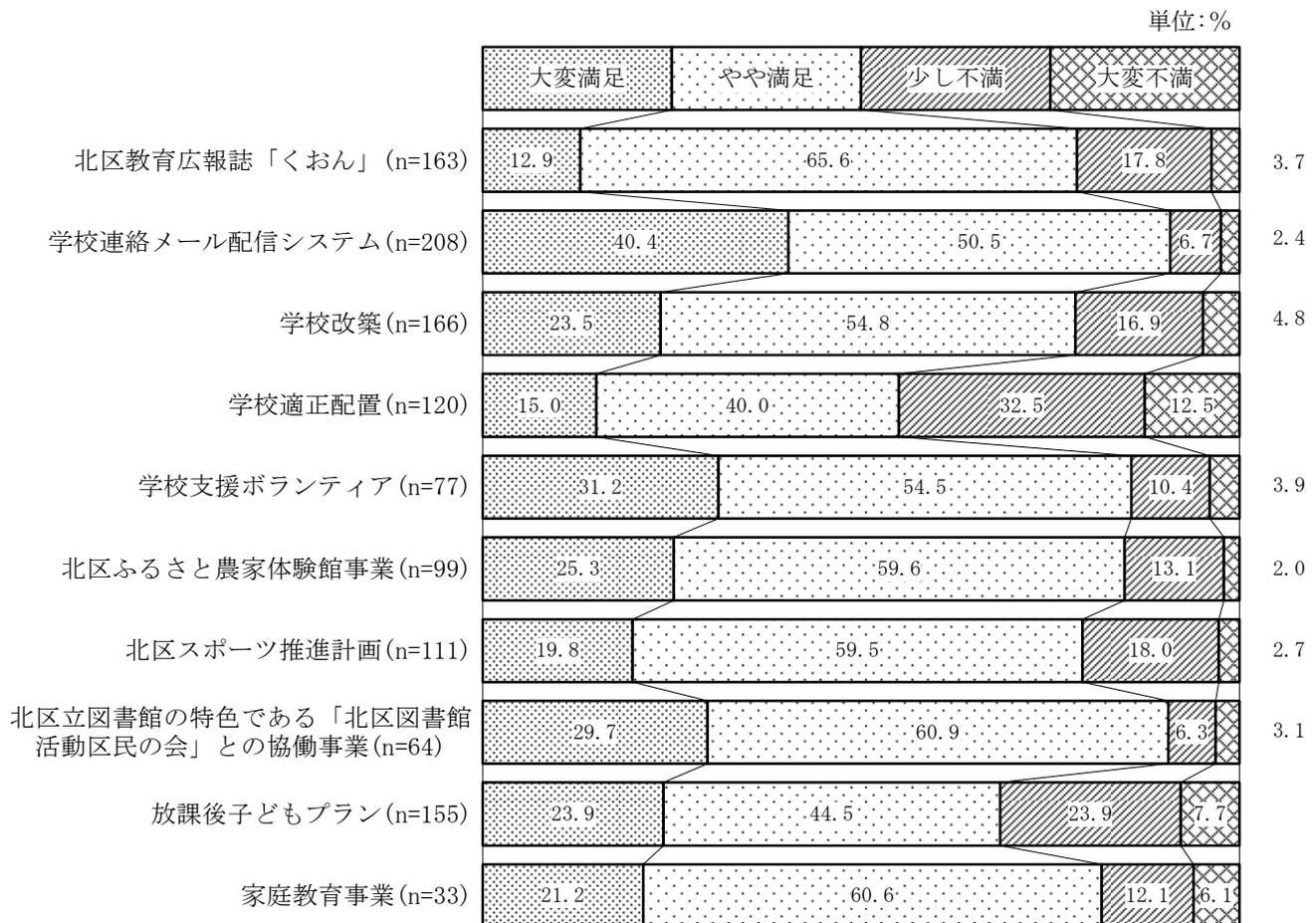


## イ. 満足度

「知っている」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「学校連絡メール配信システム」が90.9%と最も高く、次いで「北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業」が90.6%、「学校支援ボランティア」が85.7%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「学校適正配置」が45.0%と最も高く、次いで「放課後子どもプラン」が31.6%、「学校改築」が21.7%となっています。

図 北区教育委員会の取り組みの満足度（就学前）



### ③小学校

#### ア. 認知度

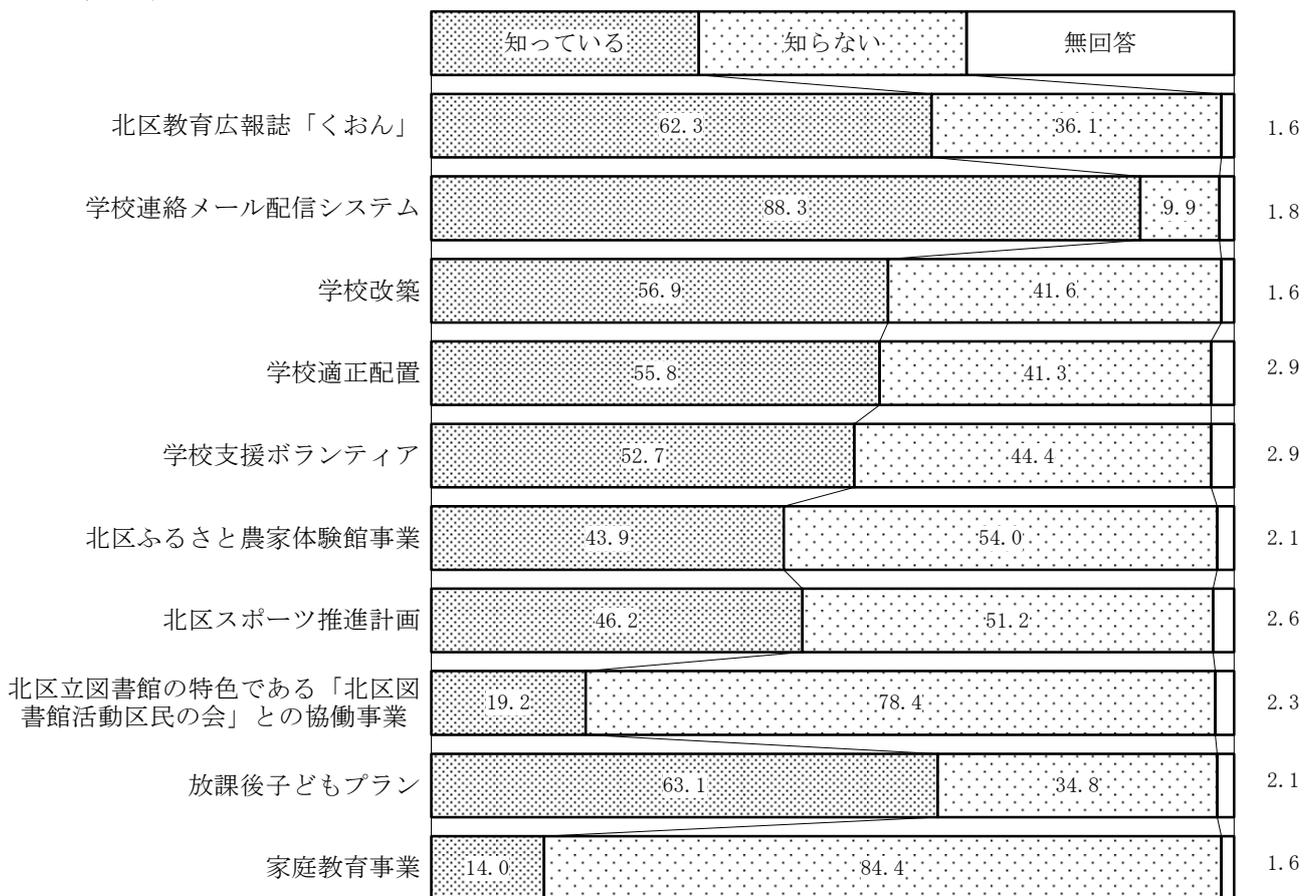
「知っている」は「学校連絡メール配信システム」が88.3%と最も高く、次いで「放課後子どもプラン」が63.1%、「北区教育広報誌「くおん」」が62.3%となっています。

一方、「知らない」は「家庭教育事業」が84.4%と最も高く、次いで「北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業」が78.4%、「北区ふるさと農家体験館事業」が54.0%となっています。

図 北区教育委員会の取り組みの認知度（小学校）

(n=385)

単位：%

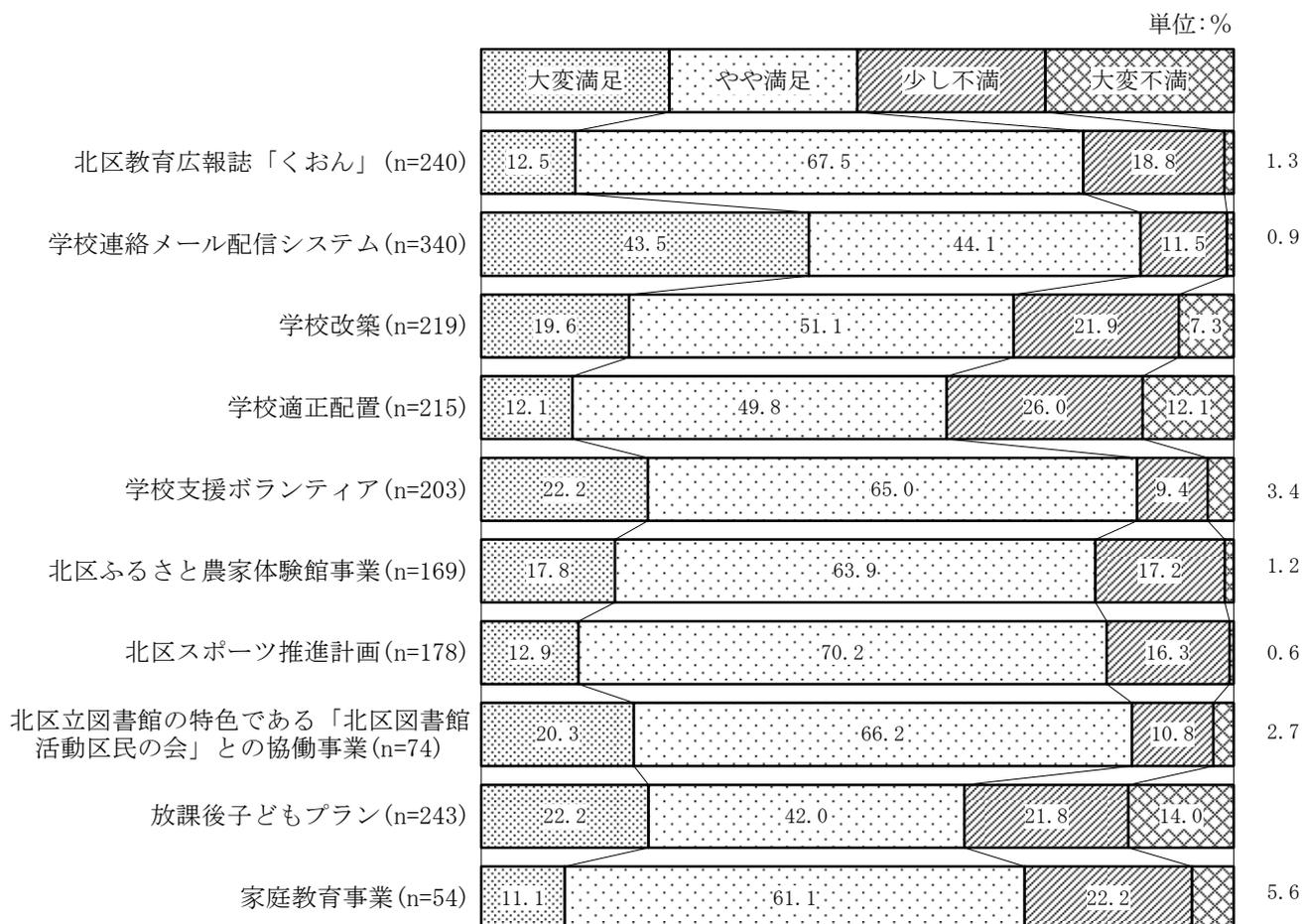


## イ. 満足度

「知っている」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「学校連絡メール配信システム」が87.6%と最も高く、次いで「学校支援ボランティア」が87.2%、「北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業」が86.5%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「学校適正配置」が38.1%と最も高く、次いで「放課後子どもプラン」が35.8%、「学校改築」が29.2%となっています。

図 北区教育委員会の取り組みの満足度（小学校）



#### ④中学校

##### ア. 認知度

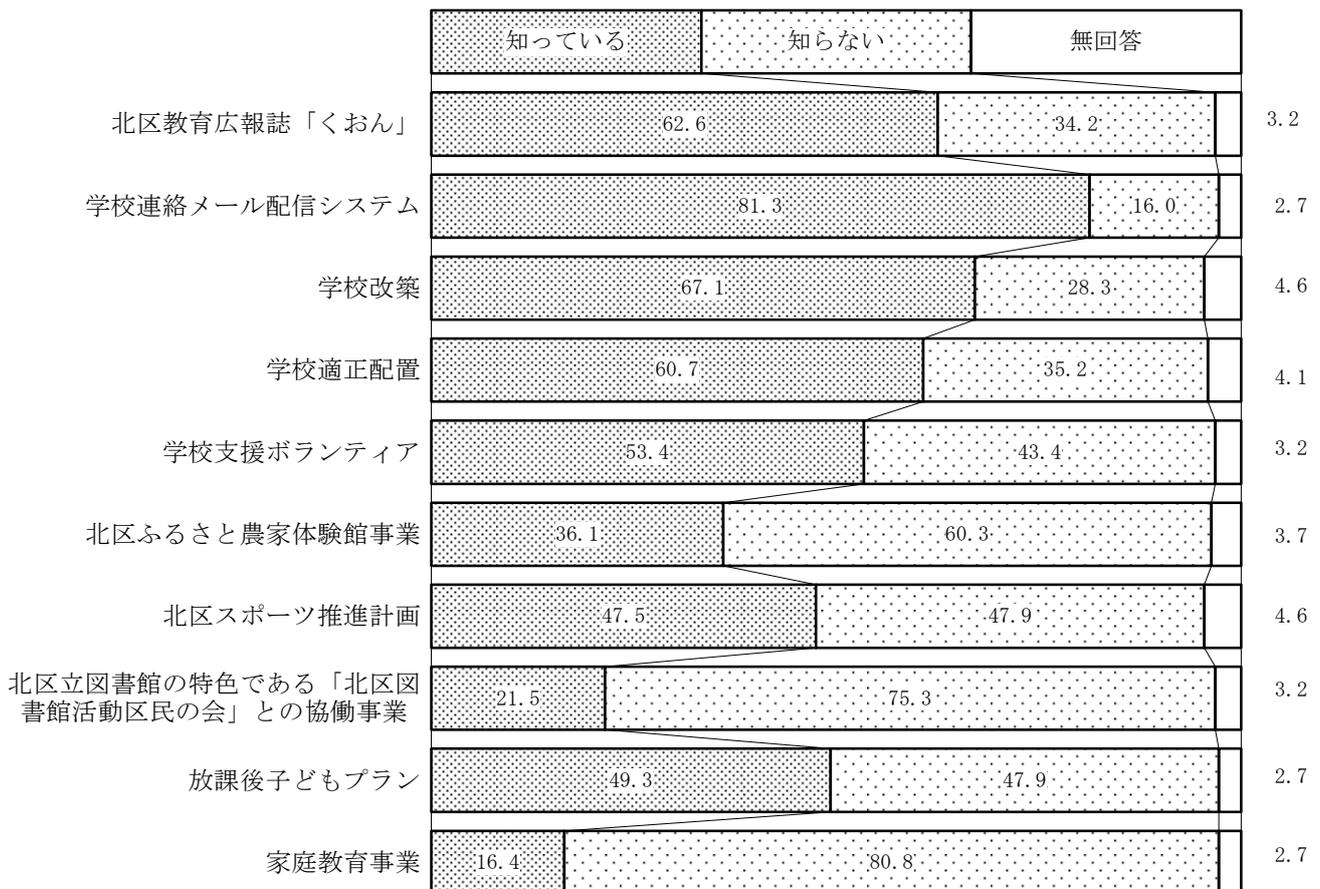
「知っている」は「学校連絡メール配信システム」が81.3%と最も高く、次いで「学校改築」が67.1%、「北区教育広報誌「くおん」」が62.6%となっています。

一方、「知らない」は「家庭教育事業」が80.8%と最も高く、次いで「北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業」が75.3%、「北区ふるさと農家体験館事業」が60.3%となっています。

図 北区教育委員会の取り組みの認知度（中学校）

(n=219)

単位:%

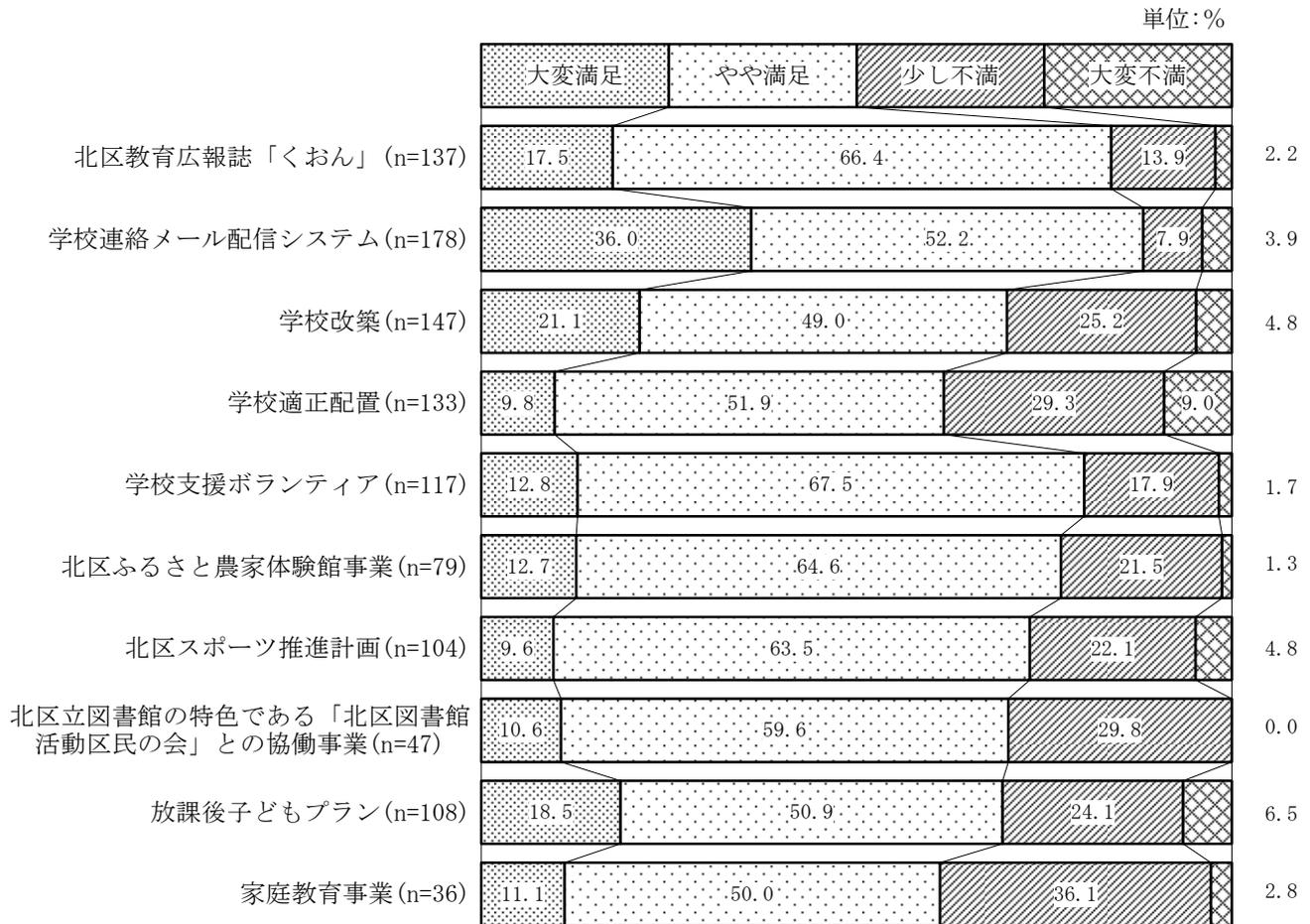


## イ. 満足度

「知っている」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「学校連絡メール配信システム」が88.2%と最も高く、次いで「北区教育広報誌「くおん」」が83.9%、「学校支援ボランティア」が80.3%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「家庭教育事業」が38.9%と最も高く、次いで「学校適正配置」が38.3%、「放課後子どもプラン」が30.6%となっています。

図 北区教育委員会の取り組みの満足度（中学校）



## (2) 「学校ファミリー」で実施している教育施策に対する考え

問 40 北区では、通学区域の異なる保育園・幼稚園・小学校・中学校からつくられる近隣複数校のネットワークとして「学校ファミリー」を形成し、以下の教育施策を実施していますが、それぞれについて、どのように考えますか。

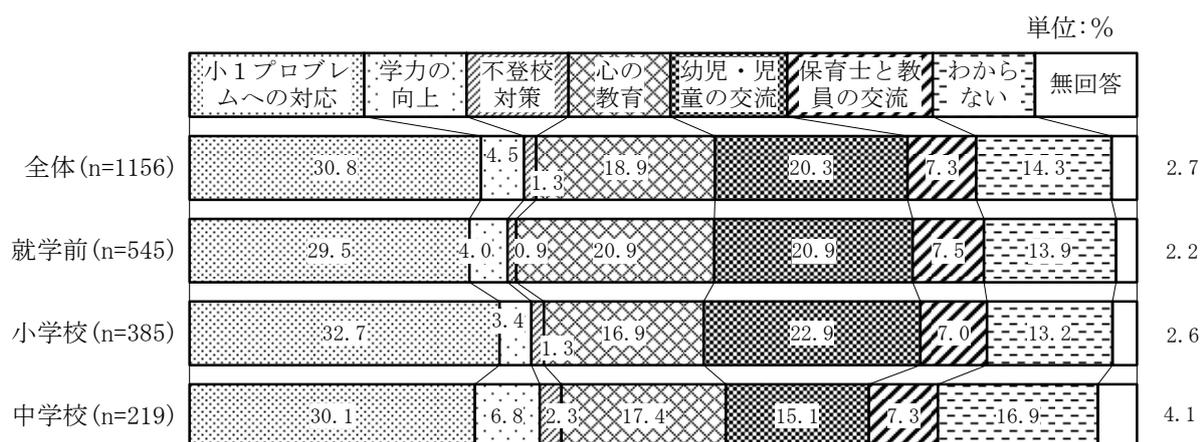
### ①保幼小連携で重点的に取り組むべき活動

(1) 保幼小連携で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(○は1つ)

全体では、「小1プロブレムへの対応」が30.8%と最も高く、次いで「幼児・児童の交流」が20.3%、「心の教育」が18.9%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「幼児・児童の交流」は中学校が就学前、小学校よりやや低くなっています。

図 保幼小連携で重点的に取り組むべき活動



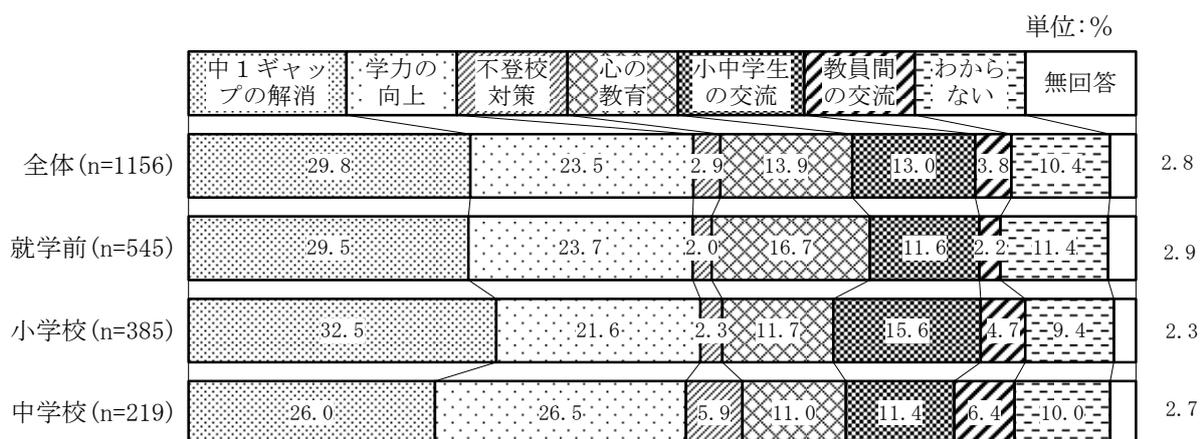
## ②小中一貫教育で重点的に取り組むべき活動

(2) 小中一貫教育で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(○は1つ)

全体では、「中1ギャップの解消」が29.8%と最も高く、次いで「学力の向上」が23.5%、「心の教育」が13.9%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「中1ギャップの解消」は小学校から中学校にかけてやや低くなっています。「心の教育」は就学前が小学校、中学校よりやや高くなっています。

図 小中一貫教育で重点的に取り組むべき活動



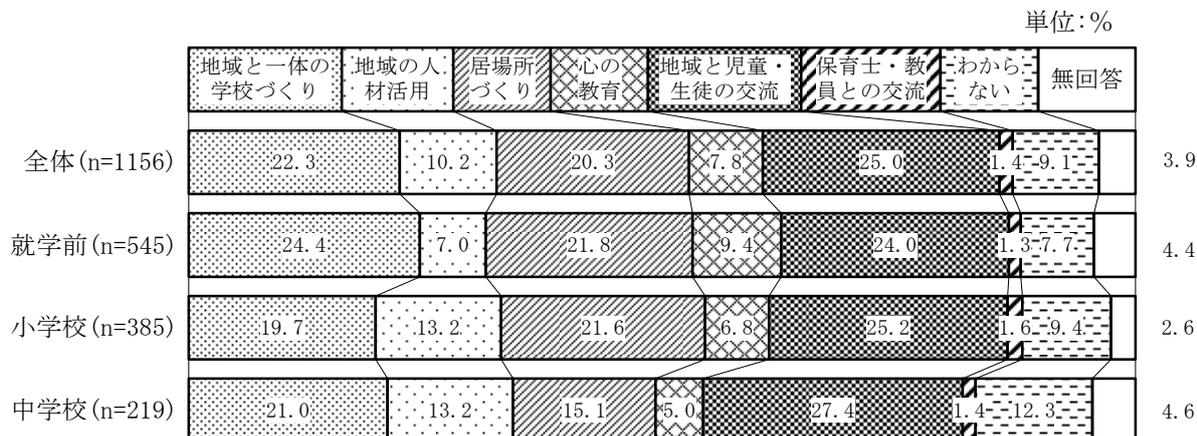
## ③地域との連携で重点的に取り組むべき活動

(3) 地域との連携で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(○は1つ)

全体では、「地域と児童・生徒の交流」が25.0%と最も高く、次いで「地域と一体の学校づくり」が22.3%、「居場所づくり」が20.3%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「地域の人材活用」は就学前が小学校、中学校よりやや低くなっています。「居場所づくり」は中学校が就学前、小学校よりやや低くなっています。

図 地域との連携で重点的に取り組むべき活動



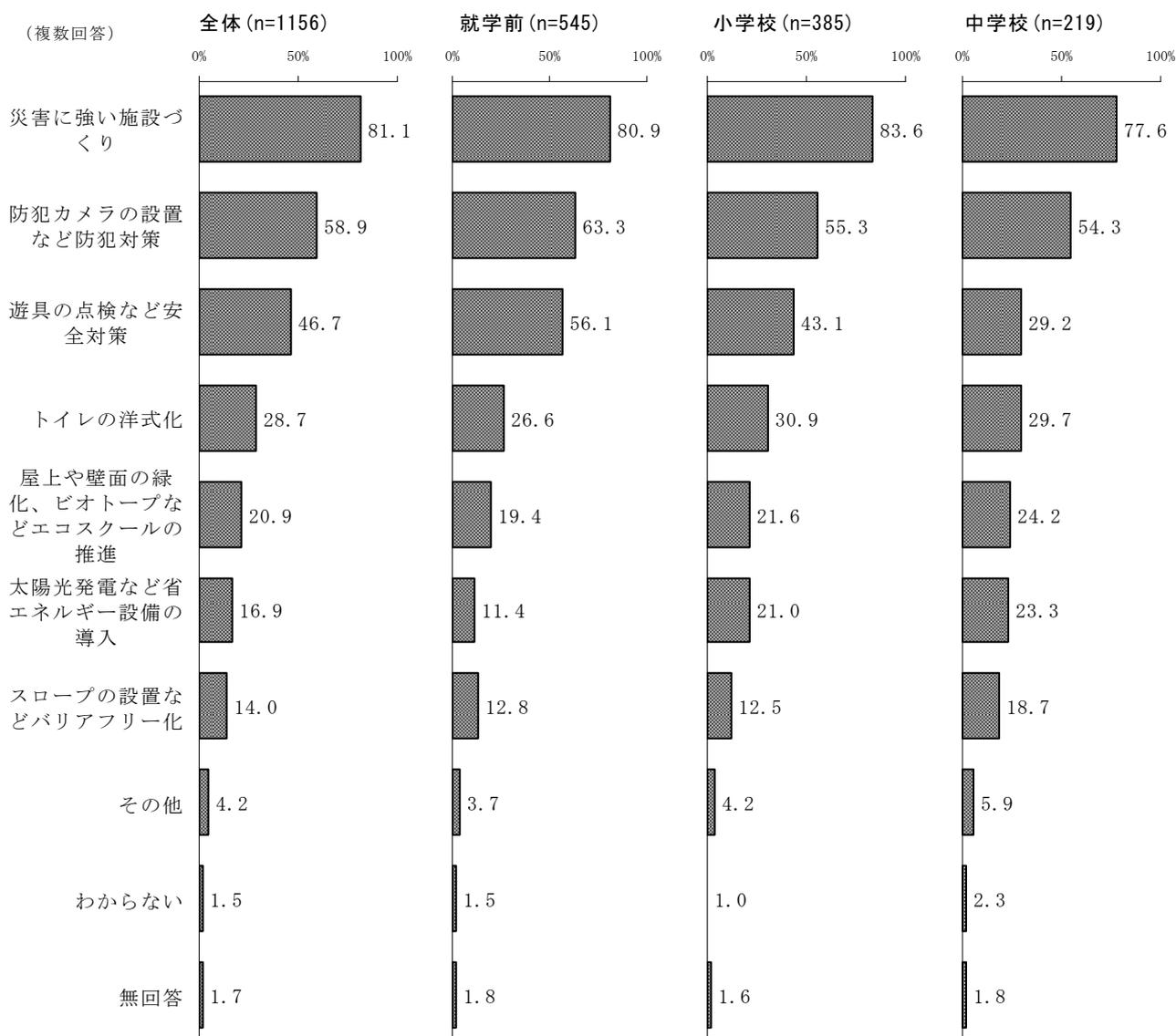
### (3) 学校施設の整備で優先的に行うべきこと

問 41 学校施設の整備について、今後どのようなことを優先的に行うべきだと考えますか。  
(〇は3つ)

全体では、「災害に強い施設づくり」が 81.1%と最も高く、次いで「防犯カメラの設置など防犯対策」が 58.9%、「遊具の点検など安全対策」が 46.7%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「防犯カメラの設置など防犯対策」は就学前が6割を超えています。「遊具の点検など安全対策」は就学先が上がるにつれて低くなっています。

図 学校施設の整備で優先的に行うべきこと



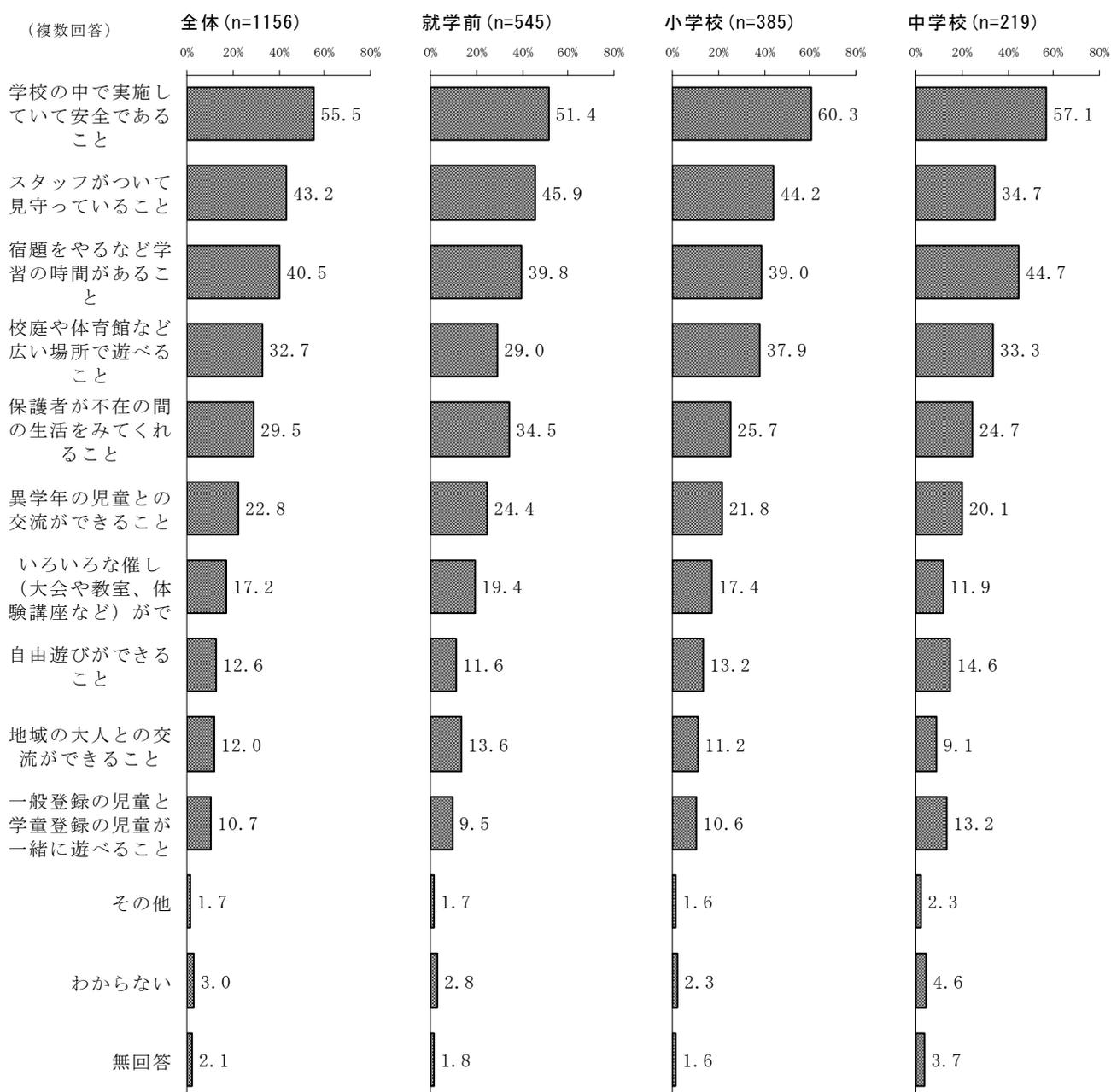
#### (4) 放課後子どもプランに求める特に重要な機能

問 42 北区の放課後子どもプランについてお尋ねします。放課後子どもプランに求める機能のうち特に重要と思うものは何ですか。(〇は3つ)

全体では、「学校の中で実施していて安全であること」が 55.5%と最も高く、次いで「スタッフがついて見守っていること」が 43.2%、「宿題をやるなど学習の時間があること」が 40.5%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「スタッフがついて見守っていること」は中学校が就学前、小学校よりやや低くなっています。「保護者が不在の間の生活をみてくれること」は就学前が小学校、中学校よりやや高くなっています。

図 放課後子どもプランに求める特に重要な機能



(5) 北区の子どもの教育に関する情報提供は十分か

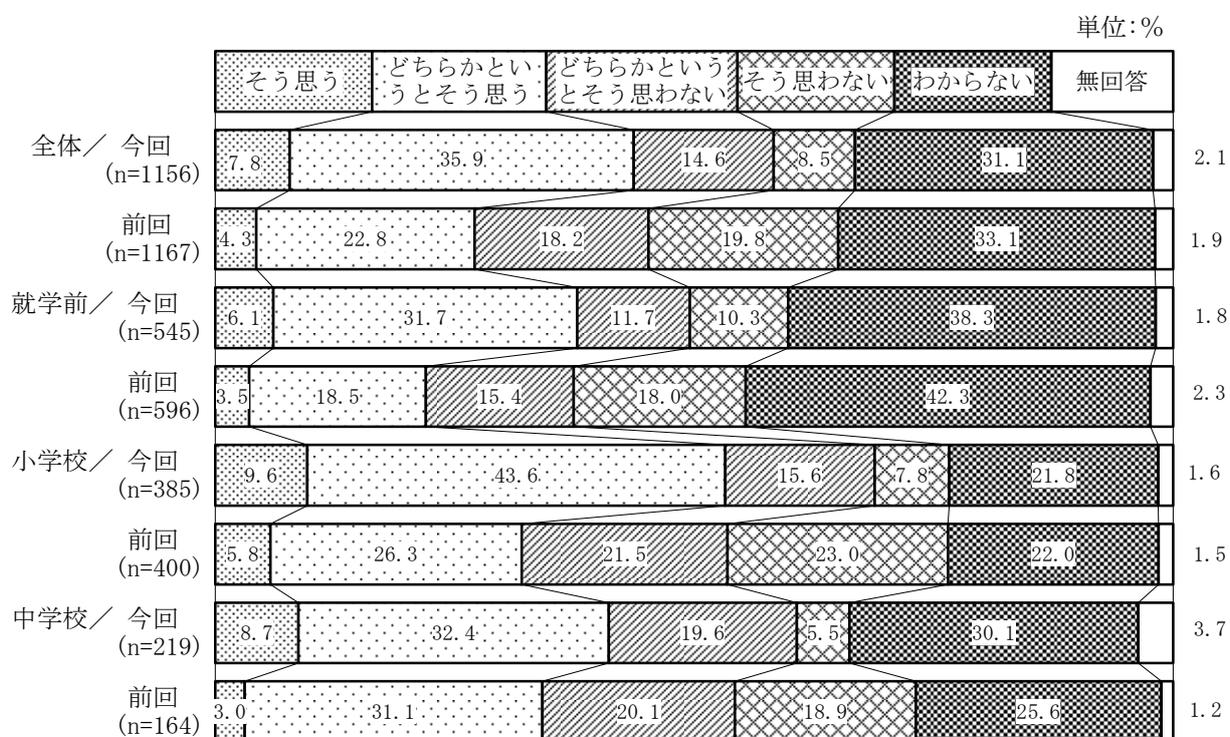
問 43 北区は、子どもの教育に関する情報の提供をよく行っていると思いますか。(〇は1つだけ)

全体では、「そう思う」が7.8%、「どちらかというと思う」が35.9%で、合わせて43.7%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では37.8%、小学校では53.2%、中学校では41.1%で、小学校が高くなっています。

前回調査と比較すると、どの就学先も、よく行っていると思う割合が高くなっています。

図 北区の子どもの教育に関する情報提供は十分か



## (6) 「教育先進都市」のイメージ

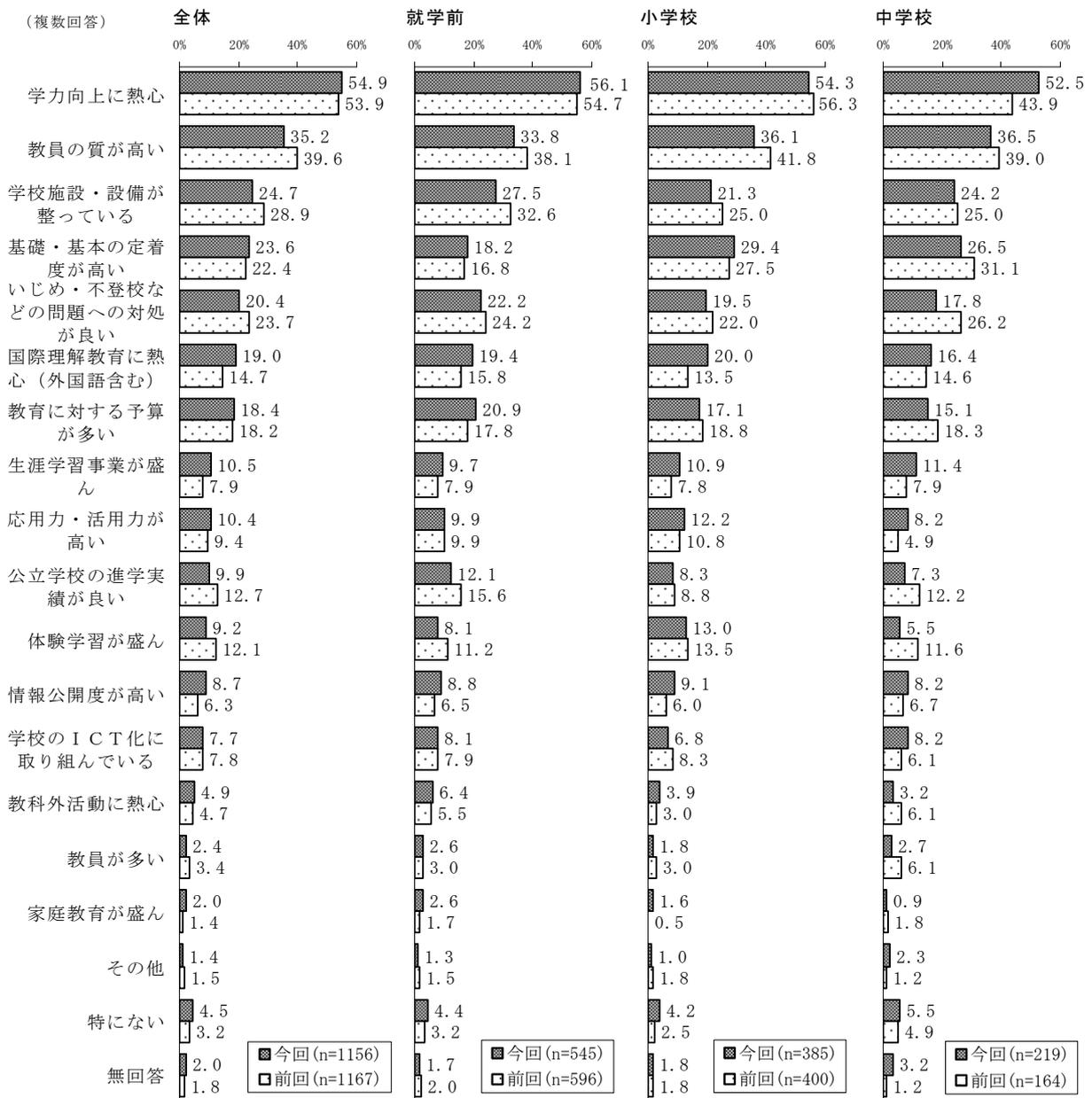
問 44 北区は「教育先進都市」を掲げていますが、「教育先進都市」と聞いて抱くイメージは何ですか。(〇は3つまで)

全体では、「学力向上に熱心」が54.9%と最も高く、次いで「教員の質が高い」が35.2%、「学校施設・設備が整っている」が24.7%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「基礎・基本の定着度が高い」は就学前が小学校、中学校より低くなっています。「体験学習が盛ん」は小学校が就学前、中学校よりやや高くなっています。

前回調査と比較すると、就学前では「学校施設・設備が整っている」がやや低くなっています。小学校では「教員の質が高い」がやや低く、「国際理解教育に熱心(外国語含む)」がやや高くなっています。中学校では「学力向上に熱心」がやや高く、「いじめ・不登校などの問題への対処が良い」「体験学習が盛ん」がやや低くなっています。

図 「教育先進都市」のイメージ



## (7) 今後、北区の教育行政に期待すること

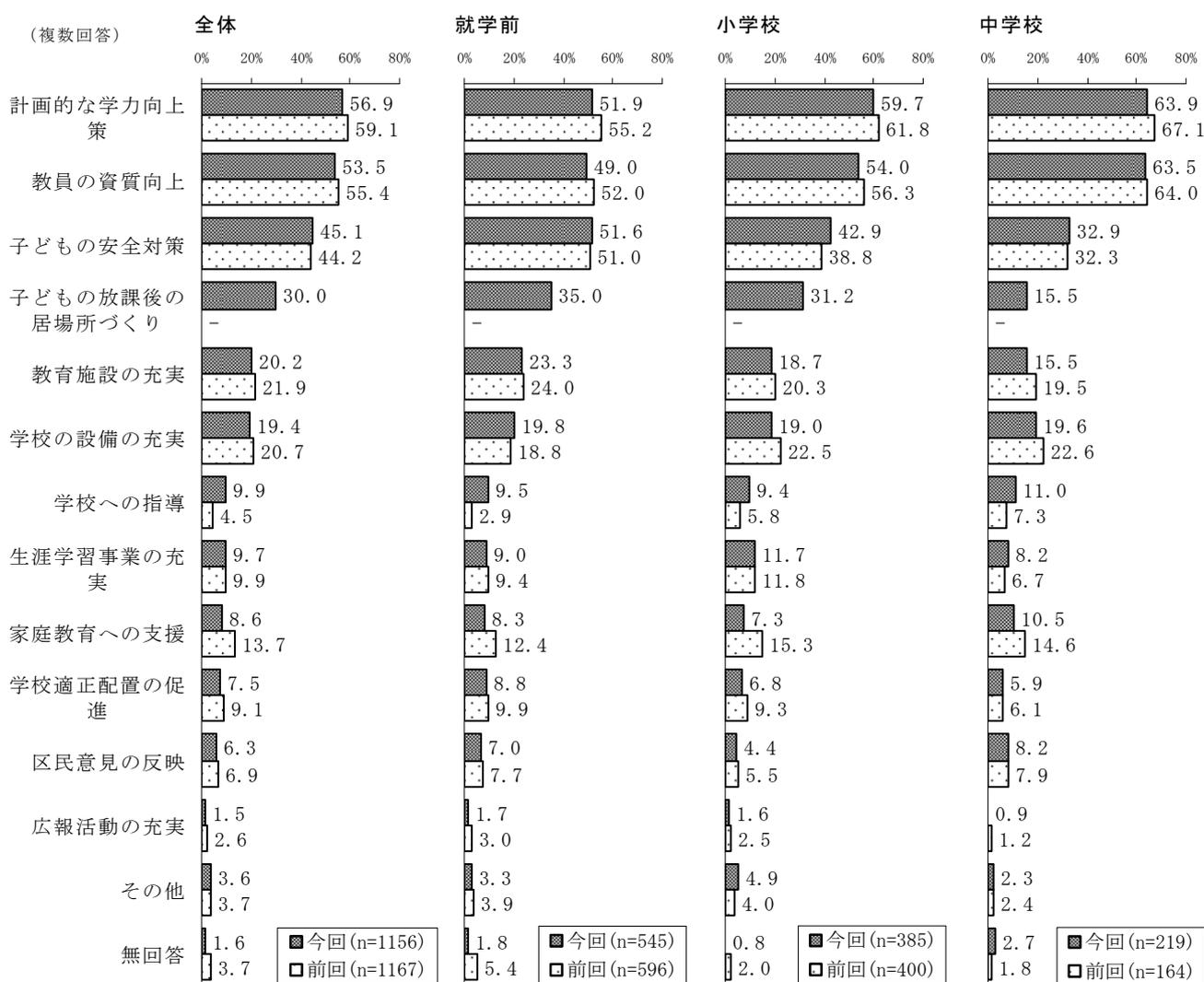
問 45 今後、北区の教育行政に期待することは何ですか。(〇は3つまで)

全体では、「計画的な学力向上策」が56.9%と最も高く、次いで「教員の資質向上」が53.5%、「子どもの安全対策」が45.1%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「計画的な学力向上策」は小学校と中学校で6割前後となっています。「教員の資質向上」は就学先が上がるにつれて高くなっています。一方、「子どもの安全対策」は就学先が上がるにつれて低くなっています。また、「子どもの放課後の居場所づくり」は中学校が就学前、小学校より低くなっています。

前回調査と比較すると、項目が一部異なるため単純に比較することはできませんが、全体では「学校への指導」がやや高く、「家庭教育への支援」がやや低くなっています。就学前では「学校への指導」がやや高くなっています。小学校では「家庭教育への支援」がやや低くなっています。

図 今後、北区の教育行政に期待すること



## 8 生涯学習について

### (1) 自分ができることを地域や学校で活かしたいか

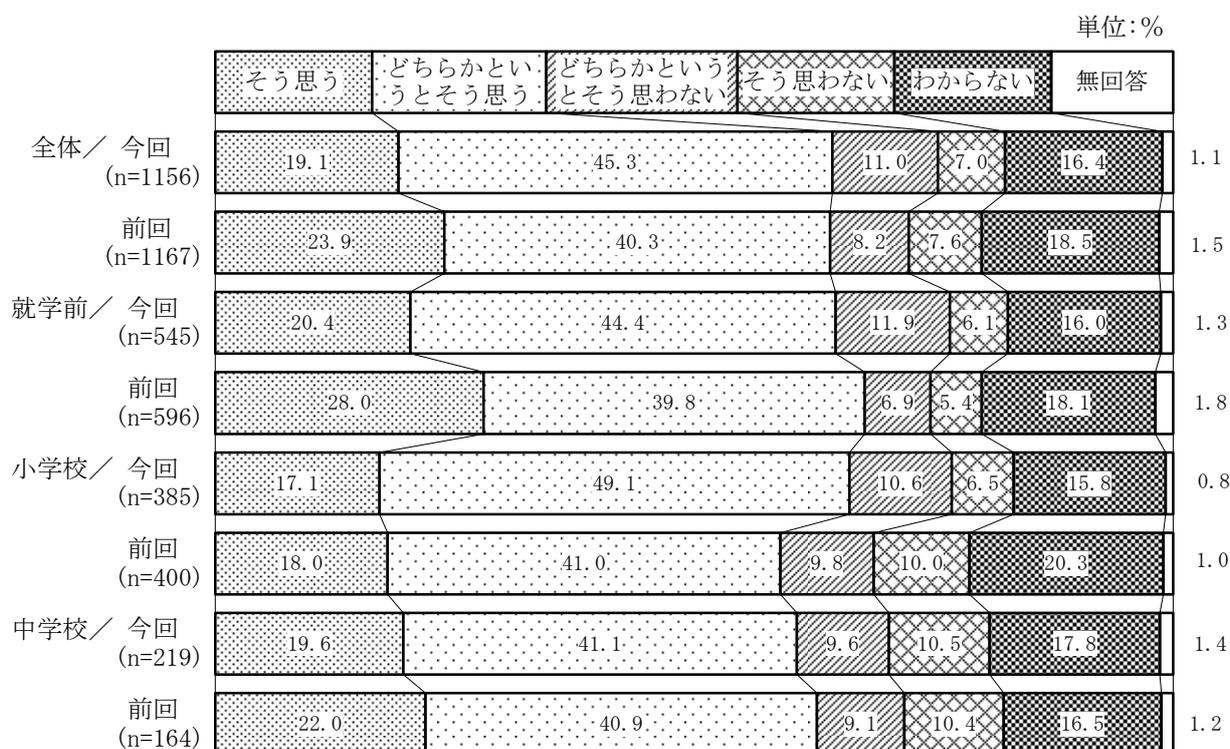
問 46 あなたは、自分ができることを地域や学校で活かしたいと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が 19.1%、「どちらかというと思う」が 45.3%で、合わせて 64.4%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では 64.8%、小学校では 66.2%、中学校では 60.7%となっています。

前回調査と比較すると、就学前では、活かしたいと思う割合が低くなっています。小学校では、活かしたいと思う割合が高くなっています。

図 自分ができることを地域や学校で活かしたいか



## (2) 生涯学習活動への参加状況

問 47 あなたは、現在何かの生涯学習活動に参加していますか。(○は1つだけ)

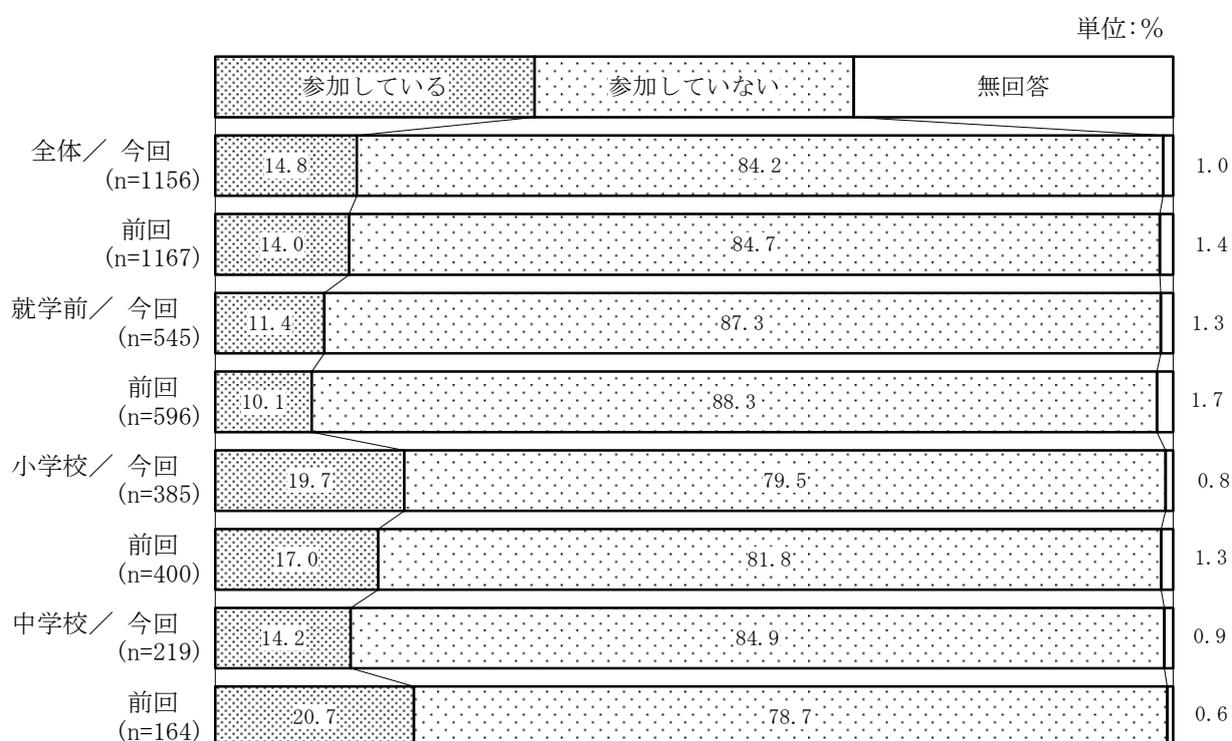
(例：「趣味の講座を受講している」「資格を身につけ、講座を開いている」「ボランティア活動に参加している」「独自に研究を進めている」)

全体では、「参加している」が14.8%、「参加していない」が84.2%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校、中学校とも「参加している」は2割未満となっています。

前回調査と比較すると、中学校では参加している割合が低くなっています。

図 生涯学習活動への参加状況



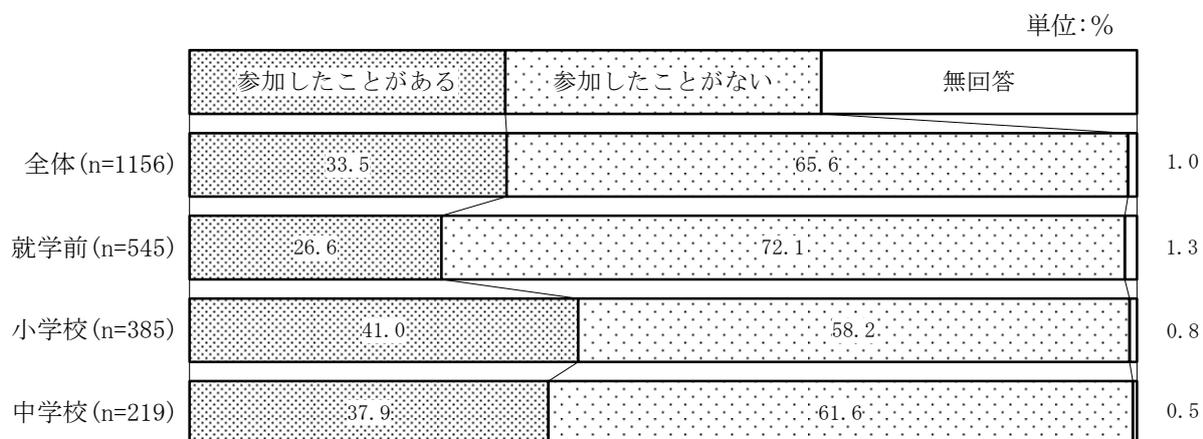
### (3) 文化センターの講座・活動への参加状況

問 48 あなたは、文化センターの講座・活動に参加したことがありますか。(○は1つだけ)  
 (例：区民講座、区民協働講座、子どもひろば、センター祭等)

全体では、「参加したことがある」が33.5%、「参加したことがない」が65.6%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「参加したことがある」は就学前が小学校、中学校より低くなっています。

図 文化センターの講座・活動への参加状況



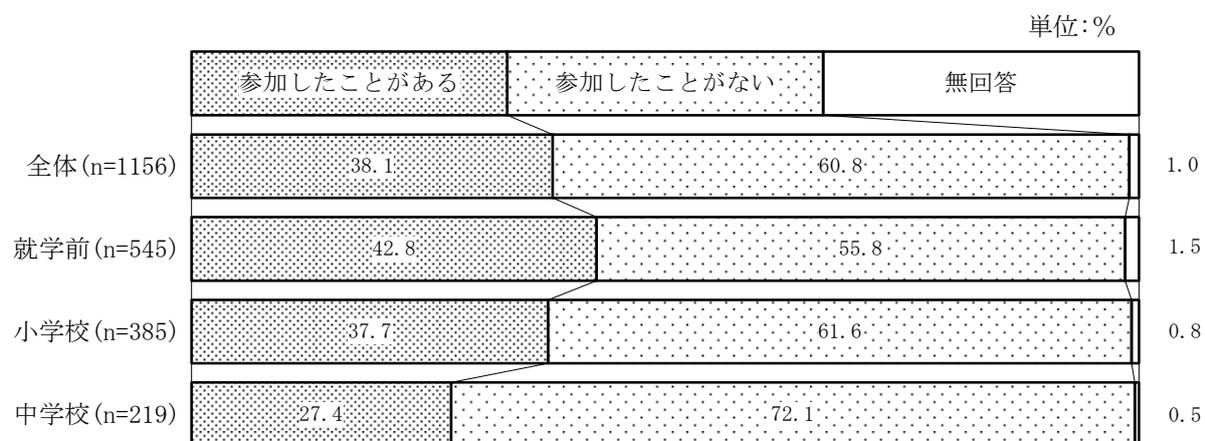
#### (4) 区立図書館の講座・活動への参加状況

問 49 あなたは、区立図書館の講座・活動に参加したことがありますか。(○は1つだけ)  
 (例：おはなし会、読書会、映画会、コンサート、各種講座等)

全体では、「参加したことがある」が38.1%、「参加したことがない」が60.8%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「参加したことがある」は就学先が上がるにつれて低くなっています。

図 区立図書館の講座・活動への参加状況



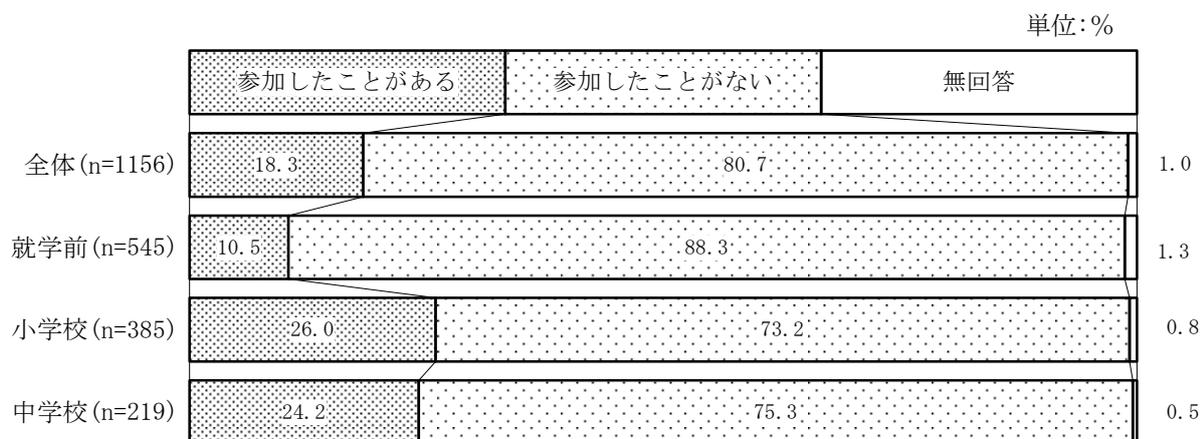
## (5) 飛鳥山博物館の講座・活動への参加状況

問 50 あなたは、飛鳥山博物館の講座・活動に参加したことがありますか。(○は1つだけ)  
 (例：企画展などの展示、子ども・親子向け事業、各種講座等)

全体では、「参加したことがある」が18.3%、「参加したことがない」が80.7%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「参加したことがある」は就学前が小学校、中学校より低くなっています。

図 飛鳥山博物館の講座・活動への参加状況



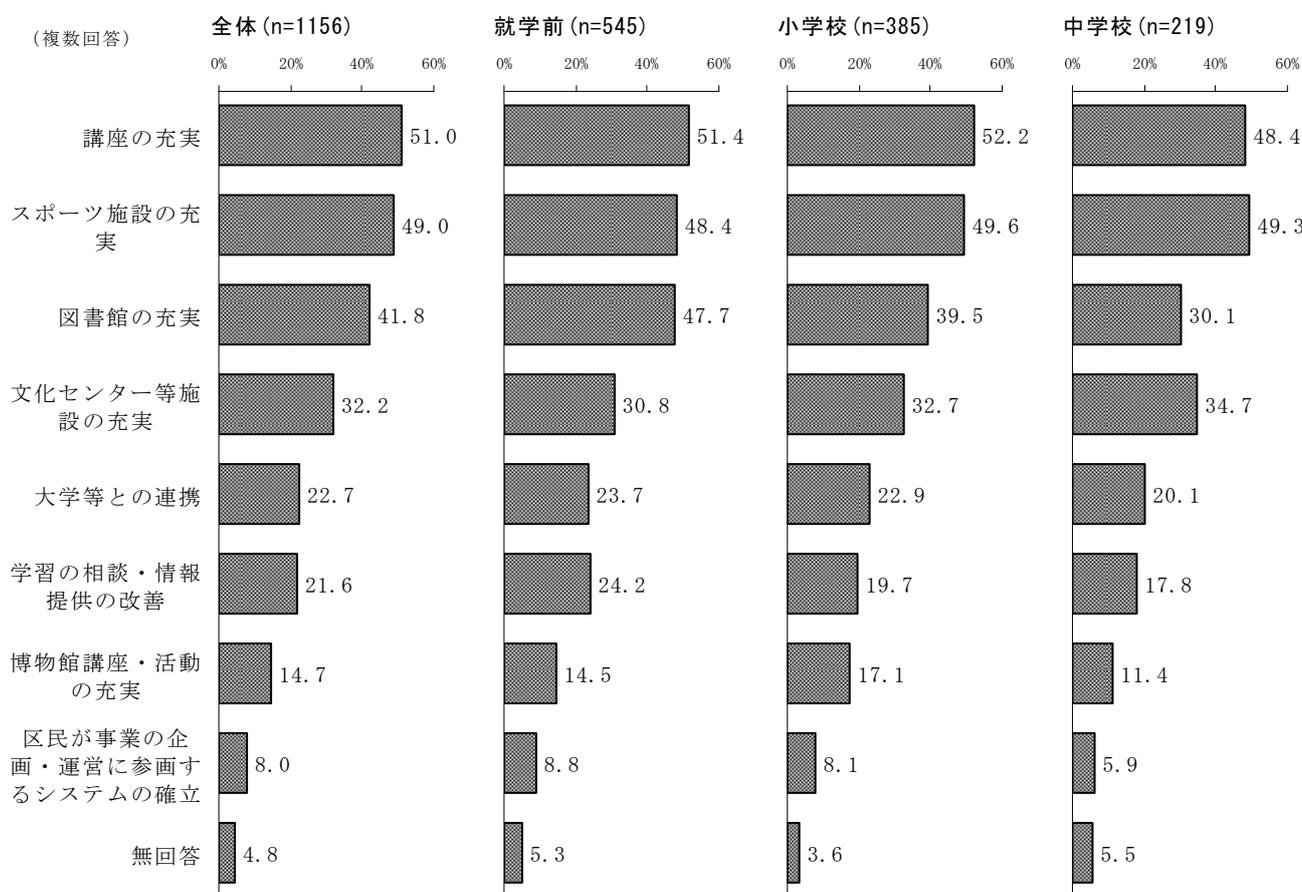
## (6) 生涯学習のために力を入れて欲しいこと

問 51 あなたが、生涯学習のために力を入れて欲しいと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「講座の充実」が51.0%と最も高く、次いで「スポーツ施設の充実」が49.0%、「図書館の充実」が41.8%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「図書館の充実」は就学先が上がるにつれて低くなっています。

図 生涯学習のために力を入れて欲しいこと



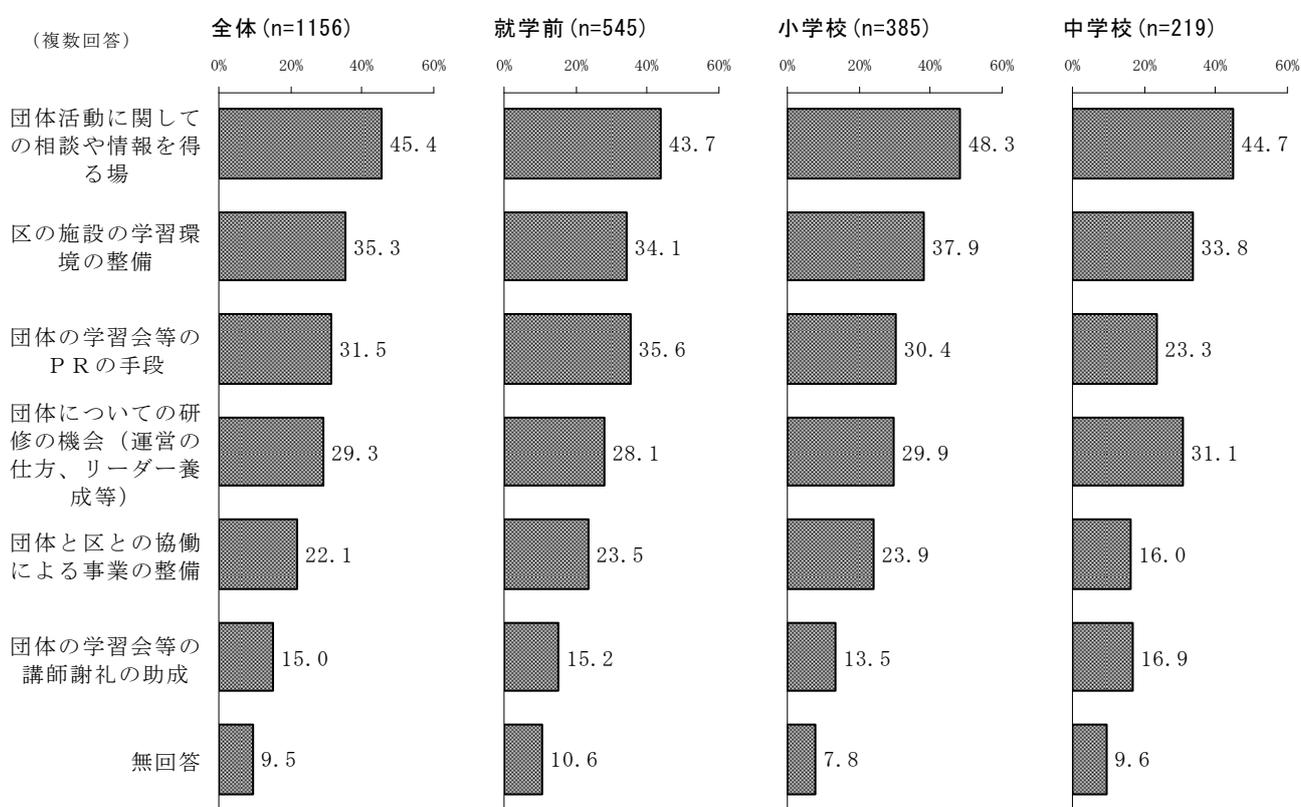
## (7) グループや団体の自主的な活動を盛んにするために必要な区の支援

問 52 あなたは、グループや団体の自主的な活動を盛んにするために、どのような区の支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「団体活動に関する相談や情報を得る場」が 45.4%と最も高く、次いで「区の施設の学習環境の整備」が 35.3%、「団体の学習会等のPRの手段」が 31.5%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「団体の学習会等のPRの手段」は就学先が上がるにつれて低くなっています。「団体と区との協働による事業の整備」は中学校が就学前、小学校よりやや低くなっています。

図 グループや団体の自主的な活動を盛んにするために必要な区の支援



## (8) ボランティア活動に参加できる頻度

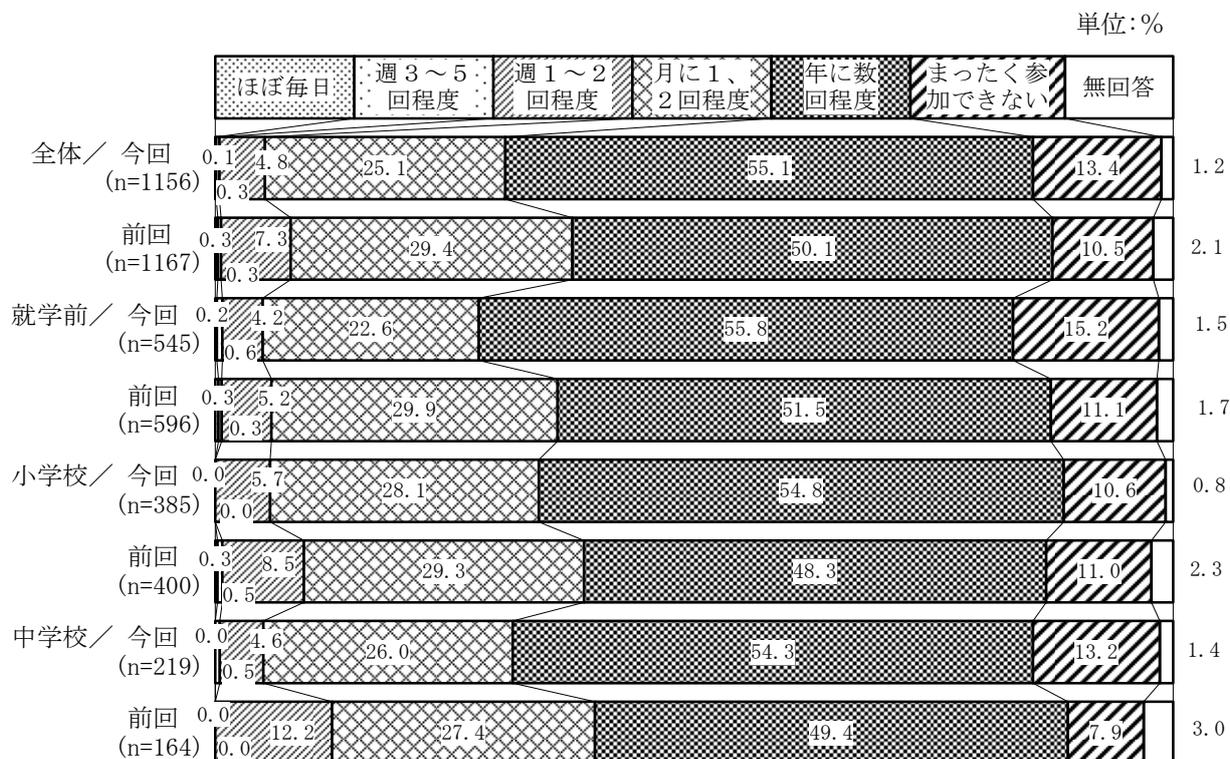
問 53 あなたは、ボランティア活動に参加するとしたら、どのくらい参加できますか。  
(○は1つだけ)

全体では、「年に数回程度」が55.1%と最も高く、次いで「月に1、2回程度」が25.1%となっています。一方、「まったく参加できない」は13.4%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校、中学校とも「年に数回程度」が半数以上を占めています。

前回調査と比較すると、全体では「年に数回程度」がやや高くなっています。就学前では「月に1、2回程度」がやや低くなっています。小学校では「年に数回程度」がやや高くなっています。中学校では「週1～2回程度」がやや低く、「まったく参加できない」がやや高くなっています。

図 ボランティア活動に参加できる頻度



## 9 自由意見について

有効回収数 1,156 票中 403 票に記述がありました（1 票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の和は 403 件より多くなっています）。

項目	件数
(1) 教育内容に関すること	174
①学力	62
②英語教育	12
③心の教育	20
④いじめ・不登校	19
⑤健康・体力	11
⑥就学前教育・保育	37
⑦個に応じた教育	13
(2) 学校づくり・教育環境に関すること	254
①教職員	79
②特色ある学校づくり、学校運営	58
③二学期制	16
④学区、学校の適正規模	34
⑤学校施設・設備等の環境	21
⑥放課後子どもプラン（学童クラブ含む）	46
(3) 家庭・地域の教育に関すること	81
①家庭との連携	27
②地域との連携	13
③放課後等の子どもの活動	24
④安全・安心な地域環境	17
(4) 生涯学習に関すること	30
①生涯学習活動	13
②子ども向けの講座・イベント等	6
③生涯学習関連施設・設備	11
(5) 教育行政に関すること	35
(6) その他	48
合計	622

## <主な回答内容>

以下、回答内容の中から一部を抜粋・調整し、掲載いたしました。

### (1) 教育内容に関すること

#### ①学力

- ・塾に行かなくても基礎学力がつくような学力をつける教育をして欲しい。
- ・学習の基礎を固める為の補習授業などを、放課後や、長期休みに実施してほしいです。
- ・以前住んでいたところの学校と比べると宿題がとても少なく、学力向上を目指しているように思えません。
- ・画一的な学習でそれぞれの学力、目標、個性を無視した学習、宿題を押しつけられることに強く疑問を感じます。個人の価値観、家庭の価値観がもっと反映されるべきだと思います。
- ・生徒間の学力差にもっと対応してほしい。習熟度別クラスは今以上に行うべきだと思う。競争意識はある程度必要。その方が学力は伸びると思う。最低限の学力を養い、落ちこぼれを作らないためにも必要。

#### ②英語教育

- ・英語教育に関して、今の制度では不足だと思います。小学生のうちからしっかりとやるべきです。
- ・英語の授業、Nativeの先生はどれくらいいて、週何回 or 月何回授業があるのでしょうか？ また、自分は英語が話せるので、ボランティア募集している場合、学校ごとに公開して欲しいです。

#### ③心の教育

- ・ルールやマナーは公共での教育が必要と考える。
- ・学年や性別、障がいの有無などをこえて、いろいろな子と共に関わる橋渡しをしていただきたいです。

#### ④いじめ・不登校

- ・来年小学校に入る子どもの母親です。今一番心配している事はいじめの問題です。学校、教員の対応や、対処法、相談する場などをもっと明確にしてほしいです。
- ・不登校になった時、スクールカウンセラーの方に大変お世話になり、学校に行けるようになった。親身になって相談に乗ってもらえた。良い制度と思う。
- ・北区内の小中学校で現在、いじめや不登校がどの程度の件数（割合）で存在しているのかなどの情報がわかりません。統計を出して開示してもよいのではと思います。

#### ⑤健康・体力

- ・なわとび大会や持久走大会など、年間を通して練習させてくれると良い。大会の前だけでは体力づくりにはならないと思います。
- ・給食は体の源になるものなので出来るだけ質の良い物、まだまだ少しでも出ている放射能汚染のないものを用意いただければうれしいです。
- ・中学校に陸上部がない学校があると聞いたので残念に思う。学校によってできるクラブに違いがあるのは良い事ではないと思う。

## ⑥就学前教育・保育

- ・公立幼稚園の3年保育・延長保育の導入を検討してほしい。働きたくても保育園に入らず働けない、パートでは保育園入園が困難、という問題が解消できる一つの手立てだと思っています。
- ・待機児童の解消をお願いしたい。
- ・公立の保育園でも読み書きなど幼稚園で教えるようなことを教えて欲しい。私立と公立で差がありすぎる。
- ・現在、子どもは保育園ですが、保育園でこども園の話を知ると大変不安になります。小さい子どもには、平等に食事や教育を受けてもらいたいです。保育の格差は絶対になくしてほしいです。

## ⑦個に応じた教育

- ・現在保育園の最終学年ですが、北区立子ども発達支援センターを利用しております。就学相談を受けましたが、両施設は連携されていないのでしょうか。同じ話をし、同じようなテストを受け、必要な事とはいえ、なぜ？と疑問に思いました。
- ・クラスに授業進捗の妨げになるような児童生徒がいる場合、そのお子さんのことを考えるのはわかりますが、その他の児童生徒への影響など、他に及ぼす影響をきちんと理解し、適切な対応をとってくださるようお願いいたします。
- ・積極的にいろいろな障害を持った方々との交流、理解を深めている様子はいかがですが、クラスメイトレベルで理解を持てる子どもが少ないように思います。身体の障害だけではなく学習障害や心の障害を持った方々に対してはどれだけ子どもたちが理解し受け入れているか…とても疑問に思うことが多々あります。地域の方々もそうですが…。大人も子どもも、目には映らない障害について受け入れ理解できる教育、場を設けてほしいと思います。そのためにも、特別支援学級の充実を願います。

## (2) 学校づくり・教育環境に関すること

### ①教職員

- ・先生の人数が足りない印象をうける。現場の先生方を支援していく仕組みがあるのでしょうか。
- ・学校の様々な取組を行っているためか、先生達が忙しそうで子どもと向き合う時間が少なくなっているように感じる。
- ・指導に問題がある教員は担任を持たせないなどの配慮が必要。学校が保護者に定期的アンケートを行うなどして実態を把握できる状況を作って欲しい。
- ・公開授業等、学校の様子を見る時、先生方にやはり余裕がないように感じられます。楽しそうに先生をしているように感じられない。大変な様子が目立ちます。いろいろな子供が増え、先生方も大変かと思しますので、働く状況も、時間的にも、ゆとりが先生方に必要なのかなと感じます。
- ・教師の育成(新人)に力を入れてほしい。ベテラン教師が常にアドバイスを与えられる環境が必要だと思います。
- ・学校の担任の先生の暴力的な発言、行動について、どこに相談してよいのか。教育委員会まで相談するまで大げさにはしなかったのですが、どのようにしたらよいのか悩むことがありました。

- ・教員の指導力について。大変良くやったださる先生もいらっしゃるし、疑問を感じる点が多い方もいらっしゃいます。バラつきが大きいと感じます。
- ・先生の授業がおもしろいことが何よりではないかと思えます。

## ②特色ある学校づくり、学校運営

- ・公立学校での取組をほとんど知らなかった。もっと情報公開すべき。
- ・土曜日の公開授業では、親子が何か一緒に学べる企画があると良いと思います。いつも見学ばかりより、親子で何かを一緒に考えて答えを出すという経験も良いと思います。
- ・小中一貫校は具体的なメリットが全く伝わっておらず、中学受験の判断材料になりません。もっと具体的に他にはない良さをPRしてください。
- ・学校ファミリーといいながら、区立幼稚園の運動会の日に学校ファミリーの小学校が土曜参観は、やめた方が良いと思います。学校ファミリーなんていいながら、兄弟がいる家のことを考えてないと、みんな大変そうでした。
- ・小中学校から頂く「不審者情報」のメールがあまりにあいまいすぎて、全く意味をなしていません。せめてもう少し発生地点を詳細に示してくれないと、情報として活用できません。

## ③二学期制

- ・二学期制は全く良い事がない。夏休み前に通知表が渡されれば夏休み中に苦手科目の復習もできるが、10月に渡されても何もできない。
- ・小中学校の二学期制について、効果があったのかどうか知りたい。

## ④学区、学校の適正規模

- ・小学校や中学校を本人や保護者の希望による選択制にして欲しいです。学校によって設備や小中一貫教育の実施に差があったりするのに、それを住所地で区切ってしまうのはおかしいと思います。
- ・近い範囲の中に小学校の数があすぎて、それぞれの小学校の人数が少なすぎる。1学年1クラスで6年間というのは問題だと思う。早急に改善策を出していただきたい。
- ・学校の適正配置が十分に検討されているか、途中の議論や決定理由が不透明で非常に不信感を持った。

## ⑤学校施設・設備等の環境

- ・洋式のトイレ洋式を増やしてほしい。
- ・校庭をアスファルト（ラバー？）でなく、芝にしてほしい。そのため（維持するため）のボランティアなどでもできる範囲でしていくので、ぜひご検討ください。
- ・学校図書について、区立図書館の団体貸出などの活用でも構わないので、もっと充実させてほしいと思います。
- ・9月の公開日に気づいたのですが、真夏日なのに教室のクーラーをつけられないらしい。汗だくの子供達を見て、校長先生のお許しが無くても暑い日は担任の考えで冷房を入れるようにしてほしい。私自身も具合が悪くなりました。

## ⑥放課後子どもプラン（学童クラブ含む）

- ・小学生の親として、子どもの通う学校にはいつ放課後プランが導入されるのか気になります。どの広報紙にも「順次導入」と書かれ、「いつまでに」が見当たりません。
- ・仕事をしているので、学童保育を小学校6年生までにしてけると良いと思います。

- ・女性も正社員やフルタイムで仕事を続ける事も多い今の時代に学童保育が18時までというのは納得できない。仕事の定時が18時までという会社が多い中、小学校に上がっていきなり一人で留守番をさせるのは子供も親も不安です。そして、現代の家庭事情を分かっているのに不満です。通勤時間が1時間かかる場合は普通なのに子供の事を考えているとは思えない。
- ・学童クラブで子どもがお世話になっています。毎日おやつを準備して頂いていますが、内容的にもう少し体に良いものを考えて頂きたいと思うときがあります（アメ、チョコレート、ドーナツなどかなり糖分が多いもの、添加物が多く出ています）。
- ・放課後子どもプランが導入され大変助かっています。夏休み期間など短時間でも仕事を抱えている家庭は、お昼休みの一時帰宅がネックになっています（フルタイムでないのに学童の利用も厳しい）。学童の子ども達は、お弁当持参となっていますが、今後はプラン登録児も同じ対応を取って頂ければ大変心強い子育て支援になると思います。

### （3）家庭・地域の教育に関すること

#### ①家庭との連携

- ・共働き家庭が増えているので、親だけでは手がまわらない部分を学校と地域でリードしていく仕組み作りが子どもたちを育てていくために必要だと思う。
- ・これから子どもたちが育っていく環境などについて不安や期待が入り混じっています。親として、良い距離感で学校と連携していきたいです。情報のやりとりが上手にできるとありがたいです。
- ・教員や行政に求めすぎることがないように、家庭での教育を強化できるよう、保護者に対しての教育が必要。

#### ②地域との連携

- ・学校と児童生徒、PTA、地域との信頼関係を構築できていることが基本になるかと思っています。
- ・地域とのかかわりと言うが、本当に地域とかわっているかと言えば、そう感じない。

#### ③放課後等の子どもの活動

- ・放課後、子ども達が安心して（子どもたちだけで）遊ばせる場所が、もっとあればいいなと思います。
- ・仕方のない事なのかも知れないが、とにかく子どもの遊ぶ場所がない。公園へ行っても、ボール遊び×、木登り×、等禁止事項が多すぎて、子どもがのびのび遊ぶことができず、結果、せっかく公園へ出かけても皆でベンチでDS。これでは子どもの体力がつかず、運動機能のレベルも下がるのは当然。公園の遊具にちょっとしたアスレチックのような高度な遊具があると嬉しい。
- ・地域のお祭りや老人ホーム等に子どもがもっとボランティアとして参加できる機会を作る事が思いやりを育てることになると思います。
- ・できれば高校生や中学生が放課後居られるような施設をもっと身近にいくつか考えてほしいと思います。

#### ④安全・安心な地域環境

- ・最近事件が多いので住みやすい町づくり。子どもが1人で行動をする事が多くなってい

るのでとても不安な思いがある。

- ・大人も子供も自転車（駐輪も含む）のマナーが悪いと思います。何か対策をお願いしたいです。地元住民と学校がもっと交流して、地域で子供を守る体制を強化してほしいです。
- ・9月・10月の夕やけチャイムが遅すぎる。真っ暗な中、子供たちが遊んでいて、とても危険。
- ・災害対策をきちんと立て、それを明確にして欲しいです。

#### （４）生涯学習に関すること

##### ①生涯学習活動

- ・文化センター、博物館、生涯学習課などの講座が平日開催で参加できず残念に思ったことがたびたびあった。改善願いたい。
- ・今年5月に終了してしまった北園クラブの活動はとても残念です。学校の教室や体育館、ふれあいセンターなどで無料の場所があれば、継続することが可能と思われます。ぜひ、また再開できる日がくればいいのと思います。

##### ②子ども向けの講座・イベント等

- ・子ども向けの講座について。小学校低学年向けのプログラムが少ないように思います。増やしてほしいです。
- ・幼児の参加できる、イベント、児童館の祭など充実しているという印象があります。

##### ③生涯学習関連施設・設備

- ・赤羽会館・図書館が古くて残念です。改装して明るく清潔な雰囲気になればもっと利用したいのに、と思います。
- ・同じ北区内でも地域によって設備の充実度の差が大きいと思う（図書館の蔵書数や閲覧席の数等、体育館やプールの設備、保育園の数）。北区内で充実させることが難しいなら、隣接の他区施設を他区民と同様に使えるように協力しあえるといいと思う。

#### （５）教育行政に関すること

- ・北区の教育に関する取り組みについて知らない事が多いと、このアンケートで気付かされました。広報がどのように行われているのでしょうか。
- ・年齢や年代に応じた教育先進都市であってほしい。北区が目指す具体的ビジョンをもっとPRしてほしい。
- ・昔と比べ教育行政に対する保護者の視線は厳しいものがあるかと思います。教育の方々も大変かとは思いますが、信じてまかせている親もたくさんいると思います。教育委員会は、現場の先生がしっかり指導できる状況をつくりあげられるようにすべきかと思います。
- ・予算の効果的な執行に努めてもらいたい。

#### （６）その他

- ・子が小学校に入学いたしました。小さい子をかかえてまだまだ学校のこともよく分かっていないだろうことを改めて思いました。あまりまわりに目を向けられずに生活している現状ですが、北区と共に子どもたちの健やかな成長を願います。

- ・子どもがまだ小さいですが、今後も北区で暮らす事を考えているので、教育に関しては様々な面で充実してほしいと思います。
- ・高齢者にばかりお金を使わず、もっと教育・子どもにお金を使うべき。
- ・北区は、近隣区よりもワンテンポ遅い。近隣区が行っていることがすぐに始まらず、なかなか浸透していかない。時間をかけすぎるのもどうかと思います。



## 資料編



# 「北区教育ビジョン2015」策定に関する 保護者アンケートのお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。保護者の皆様には日頃から北区の教育行政にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、北区教育委員会では、今年度から来年度にかけて、新しい時代に対応した「教育先進都市・北区」にふさわしい「北区教育ビジョン2015」の策定に取り組んでいるところです。

この調査は、北区在住で0歳から中学校3年生までのお子さんがある保護者の方2,000名（無作為抽出）を対象として、北区の教育についてどのように感じているかをおうかがいし、「北区教育ビジョン2015」策定にあたっての基礎資料とするために実施するものです。

お忙しいところお手数をおかけいたしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成25年11月 北区教育委員会

## 【ご記入にあたって】

- 1 この調査結果は、すべて統計的に処理しますので、個人のお名前が特定されることはありません。（アンケート用紙・返信用封筒にはお名前を書かないでください）
- 2 質問には、あてはまるものに○をつけてください。（質問によっては、○の数が複数になることもありますので、それぞれの質問の指示に従ってください）
- 3 答えに、「その他（ ）」を選んだときは、その内容を（ ）内にご記入ください。
- 4 すべてのご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、11月22日（金）までにご返送いただきますようお願いいたします。（返信用封筒には、切手を貼る必要はありません）

※このアンケートについてのご質問等は、下記までお問い合わせください。

### 【問い合わせ先】

北区教育委員会事務局 教育政策課

[電 話] 03-3908-9279（直通）

[受付時間] 9:00~17:00 ※土、日、祝日を除く

## 封筒の宛名のお子さんとあなたご自身についてお聞きします

問1 封筒の宛名のお子さんとあなたの関係を教えてください。(○は1つだけ)

- 1 父親                              2 母親                              3 1, 2以外の保護者

問2 封筒の宛名のお子さんの状況を教えてください。(○は1つだけ)

- 1 就学前(0歳)                      2 就学前(1, 2歳)                  3 就学前(3~5歳)  
4 小学校1年生                      5 小学校2年生                      6 小学校3年生  
7 小学校4年生                      8 小学校5年生                      9 小学校6年生  
10 中学校1年生                      11 中学校2年生                      12 中学校3年生  
13 その他(                              )

問3 封筒の宛名のお子さんが通っている学校・幼稚園・保育園について教えてください。(○は1つだけ)

- 1 区立                                  2 都立                                  3 国立  
4 私立                                  5 その他(                              )      6 どこにも通っていない

問4 封筒の宛名のお子さんのきょうだいの人数(宛名のお子さんを含めた人数)を教えてください。(○は1つだけ)

- 1 1人                                      2 2人                                      3 3人  
4 4人                                      5 5人                                      6 その他(                              )

問5 お住まいの地区を教えてください。(該当する地区の番号に1つだけ○をつけてください)

地区(○印)	該当する町丁名
1 浮間地区	浮間1~5丁目
2 赤羽西地区	赤羽北1~3丁目、桐ヶ丘1・2丁目、赤羽西1~6丁目、赤羽台1~4丁目、西が丘1~3丁目、上十条5丁目、十条仲原3・4丁目、中十条4丁目
3 赤羽東地区	赤羽1~3丁目、岩淵町、赤羽南1・2丁目、志茂1~5丁目、神谷2・3丁目、東十条5・6丁目
4 王子西地区	十条仲原1・2丁目、上十条1~4丁目、中十条1~3丁目、十条台1・2丁目、王子本町1~3丁目、岸町1・2丁目、滝野川4丁目
5 王子東地区	神谷1丁目、東十条1~4丁目、王子1~6丁目、豊島1~8丁目
6 滝野川西地区	滝野川1~3丁目、滝野川5~7丁目、西ヶ原1~4丁目、中里1~3丁目、上中里1丁目、田端1~6丁目
7 滝野川東地区	堀船1~4丁目、栄町、上中里2・3丁目、昭和町1~3丁目、東田端1・2丁目、田端新町1~3丁目

## 子どもの教育の担い手について

問6 子どもの基本的な生活習慣（早寝早起きなど）は、どこで身に付けるべきだと思いますか。（〇は1つだけ）

- 1 家庭      2 地域      3 学校・幼稚園・保育園      4 わからない

問7 子どもへのしつけ（あいさつする、お礼を言うなど）は、どこで行うべきだと思いますか。（〇は1つだけ）

- 1 家庭      2 地域      3 学校・幼稚園・保育園      4 わからない

問8 正しい食生活（好き嫌いしない、よく噛んで食べるなど）は、どこで身に付けるべきだと思いますか。（〇は1つだけ）

- 1 家庭      2 地域      3 学校・幼稚園・保育園      4 わからない

問9 他人を思いやるなどの豊かな心は、どこで身に付けるべきだと思いますか。（〇は1つだけ）

- 1 家庭      2 地域      3 学校・幼稚園・保育園      4 わからない

問10 忍耐力、我慢すること、あきらめない心は、どこで身に付けるべきだと思いますか。（〇は1つだけ）

- 1 家庭      2 地域      3 学校・幼稚園・保育園      4 わからない

## 就学前教育について

問11 家庭では何を子どもに身に付けさせるべきだと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 基本的な生活習慣
- 2 ルールやマナーなどを守る規範意識
- 3 食に関する正しい知識と望ましい食習慣
- 4 思いやりの心
- 5 忍耐力、我慢すること、あきらめない心
- 6 コミュニケーション（人間関係）能力
- 7 基礎的な学力（読み、書き、計算）
- 8 ボランティアに関わろうとする意欲・能力
- 9 伝統や文化、芸術を理解しようとする態度や意欲
- 10 体力向上と健康づくりに関わる態度や意欲

問 12 保育園では何を子どもに身に付けさせるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 基本的な生活習慣
- 2 ルールやマナーなどを守る規範意識
- 3 食に関する正しい知識と望ましい食習慣
- 4 思いやりの心
- 5 忍耐力、我慢すること、あきらめない心
- 6 コミュニケーション（人間関係）能力
- 7 基礎的な学力（読み、書き、計算）
- 8 ボランティアに関わろうとする意欲・能力
- 9 伝統や文化、芸術を理解しようとする態度や意欲
- 10 体力向上と健康づくりに関わる態度や意欲

問 13 幼稚園では何を子どもに身に付けさせるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 基本的な生活習慣
- 2 ルールやマナーなどを守る規範意識
- 3 食に関する正しい知識と望ましい食習慣
- 4 思いやりの心
- 5 忍耐力、我慢すること、あきらめない心
- 6 コミュニケーション（人間関係）能力
- 7 基礎的な学力（読み、書き、計算）
- 8 ボランティアに関わろうとする意欲・能力
- 9 伝統や文化、芸術を理解しようとする態度や意欲
- 10 体力向上と健康づくりに関わる態度や意欲

## 学校教育について

問 14 北区の公立学校は以下の項目についてもっと力を入れるべきだと思いますか。(それぞれの項目で○は1つ)

	とても 思う	少し 思う	あまり 思わな い	全く 思わな い	わか らな い
1 学力向上 (基礎的な知識の定着や問題解決能力の育成)					
2 体力向上 (体育・健康に関する指導の充実)					
3 心の教育 (道徳教育や人権教育を通じた豊かな心の育成)					
4 個性に応じた教育					
5 しつけや生活指導					
6 教員が子どもと向き合う時間の確保					

問 15 北区の公立学校は保護者への情報提供や地域の声を受け止める努力を積極的に行っていると  
 思いますか。(○は1つだけ)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1 そう思う         | 2 どちらかというそう思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない      |
| 5 わからない        |               |

問 16 あなたが北区の公立学校の教育に求めるものは何ですか。(○は3つまで)

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1 学習塾に依存しない確かな学力の向上 | 2 低位学力層の底上げ    |
| 3 特別支援教育の充実         | 4 創造力や探究心の育成   |
| 5 英語力の育成            | 6 国語力の育成       |
| 7 健康・安全教育の充実        | 8 心の教育の充実      |
| 9 保護者・地域の学校運営への参画   | 10 自然体験や社会奉仕活動 |
| 11 社会の変化に対応できる力の育成  | 12 食育の推進       |
| 13 いじめのない学校         | 14 部活動による健全育成  |

問 17 北区の公立学校では以下の教育に関する取り組みを行っています。それぞれの取り組みについて、知っている場合はその満足度を、知らない場合は「知らない」に○をつけてください。  
(それぞれの項目に○は1つ)

	知っている				知らない
	大変満足	やや満足	少し不満	大変不満	
1 区独自の学力パワーアップ事業／実力アップ土曜教室					
2 区独自の基礎・基本の定着度調査					
3 中学校区を単位とした小学校と中学校との連携による小中一貫教育					
4 保育園・幼稚園・小学校の連携					
5 実験・観察の支援のために小学校全校に配置した理科支援員					
6 お茶の水女子大学などとの連携による理科大好きプロジェクト／スーパーサイエンススクール					
7 思考力・判断力・表現力を育成する新聞大好きプロジェクト					
8 道徳授業地区公開講座や道徳推進教師研修などによる道徳教育の改善・充実					
9 特別支援教育のための各校への巡回講師の派遣					
10 就学支援シートに基づいた小学校入学時の支援の充実					
11 小学校の外国語活動や中学校英語の授業へのALT(外国人講師)配置					
12 自然の中で中学生が留学生と交流するイングリッシュ・サマーキャンプ那須					
13 北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人生徒の受け入れなどのホームステイ事業					
14 授業における電子黒板の活用などによる情報教育					
15 校内緑化やビオトープの整備などによる環境教育					
16 職場体験などによるキャリア教育					
17 学校評議員等による学校評価					
18 ホップ・ステップ・ジャンプ教室等の不登校対策事業					
19 いじめ相談ミニレター					
20 スクールカウンセラーの全校配置					
21 Q-U調査(※)の実施					
22 スクールソーシャルワーカーによる相談・支援事業					
23 二学期制の実施					

※Q-U調査：「児童も教師も心から笑える学級を育てたい」との理念をもとに作成されたクラスの問題点を表や図に表わして分析するためのアンケート調査。

問 18 子どもが「生きる力」(※)を身につけるために、学校教育において育てるべきだと思うものはどれですか。(○は3つまで)

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1 基礎基本(読み、書き、計算) | 2 学ぶ意欲や関心     |
| 3 知識・理解          | 4 思考・判断力      |
| 5 技能・表現力         | 6 学び方         |
| 7 健康や体力          | 8 課題発見や問題解決の力 |
| 9 心の教育           | 10 その他( )     |

※生きる力：変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力といった知・徳・体のバランスがとれた力。

問 19 封筒の宛名のお子さんが小・中学校に通っている方のみお答えください。

お子さんが通っている学校に関して、次の項目をどの程度評価できますか。(それぞれの項目で○は1つ)

	とても 良い	やや 良い	ふつう	やや 良くない	全く 良くない	わから ない
1 教員の指導力						
2 委員会・クラブ活動などの教科外教育の充実度						
3 情報公開						
4 地域・保護者との連携						
5 生活・進路指導						
6 設備の充実度						
7 通学時間						

問 20 封筒の宛名のお子さんが小・中学校に通っている方のみお答えください。

封筒の宛名のお子さんが通っている学校の教員について、次の項目をどう思いますか。(それぞれの項目で○は1つ)

	とても 思う	少し 思う	あまり 思わな い	全く 思わな い	わから ない
1 わかりやすい授業をする					
2 子どものことをよく理解してくれている					
3 子どもが悪いことをしたらきちんと叱る					
4 誰にでも平等に接している					
5 忙しそうだ					
6 保護者が気軽に話しかけられる					
7 信頼できる					

問21 封筒の宛名のお子さんが小・中学校に通っている方のみお答えください。

お子さんは、学校図書室をどのように利用していると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                 |           |             |
|-----------------|-----------|-------------|
| 1 本を借りている       | 2 読書している  | 3 調べ学習をしている |
| 4 勉強の場として利用している | 5 利用していない | 6 わからない     |

問22 封筒の宛名のお子さんが小学校5・6年生の方のみお答えください。

お子さんの小学校卒業後の進路は、どのように考えていますか。(○は1つだけ)

- 1 北区内の公立中学校への進学
- 2 私立中学校への進学
- 3 国立大学の附属中学校への進学
- 4 公立の中高一貫校への進学
- 5 まだ決めていない
- 6 その他 ( )

問23 問22で2, 3, 4と答えた方にお聞きします。

北区の公立中学校以外への進学を考えているのはなぜですか。(○は3つまで)

- 1 子どもが受験したいといっているから
- 2 子どもの友達が受験するから
- 3 自分(または配偶者)の出身校だから
- 4 学習塾の先生に薦められたから
- 5 公立中学校からではいい高校や大学に行けないから
- 6 高校受験をしなくてよいから
- 7 その学校の教育方針や校風が良いから
- 8 公立の中学校にはない個性的な教育が期待できるから
- 9 入りたい部活動があるから
- 10 公立中学校はいじめや非行の心配があるから
- 11 校舎や教室などの学校の設備が整っているから
- 12 男子校(女子校)に通わせたいから
- 13 子どもの学力にあっているから
- 14 制服のセンスが良いから
- 15 現在、小中一貫した私立学校に通っているから
- 16 その他 ( )

## 家庭教育・地域教育力について

問 24 家庭で子どもをきちんとしつけていると思いますか。(○は1つだけ)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う         | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない     |
| 5 わからない        |              |

問 25 子どもを注意してくれる地域の大人は多いと思いますか。(○は1つだけ)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う         | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない     |
| 5 わからない        |              |

問 26 社会のルールやマナーを守る子どもが多いと思いますか。(○は1つだけ)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う         | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない     |
| 5 わからない        |              |

問 27 子どもが参加できる地域の活動は十分だと思いますか。(○は1つだけ)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う         | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない     |
| 5 わからない        |              |

問 28 あなたからみて、封筒の宛名のお子さんの学力をどう思いますか。(○は1つだけ)

- |           |            |        |
|-----------|------------|--------|
| 1 十分だと思う  | 2 まあ十分だと思う | 3 普通程度 |
| 4 やや物足りない | 5 全く物足りない  |        |

問 29 ご家庭で封筒の宛名のお子さんに勉強を教えたり、宿題をみたり、学校のできごとを話し合ったりしていますか。(○は1つだけ)

- |           |            |            |
|-----------|------------|------------|
| 1 よくしている  | 2 ときどきしている | 3 あまりしていない |
| 4 全くしていない |            |            |

問 30 封筒の宛名のお子さんを学習塾へ行かせている方のみお答えください。

お子さんを学習塾へ行かせている目的はなんですか。(○は1つだけ)

- 1 進学のため                      2 補習のため                      3 子どもが希望するから  
4 その他 (                                      )

問 31 封筒の宛名のお子さんを学習塾へ行かせていない方のみお答えください。

お子さんを学習塾へ行かせない理由をお聞かせください。(○は1つだけ)

- 1 学校の学習で十分だから      2 子どもが希望しないから      3 経済的理由  
4 その他 (                                      )

問 32 封筒の宛名のお子さんは、学校の授業以外に1日平均でどのくらい勉強(学校の宿題、通信教育、学習塾、家庭教師等による学習時間)をしていますか。(○は1つだけ)

- 1 1日平均1時間以内                      2 1日平均1～2時間以内  
3 1日平均2～3時間以内                      4 1日平均3時間以上  
5 まったく勉強していない

## 教育全般について

問 33 一般的に言って、子どもたちの学力格差は広がっていると思いますか。(○は1つだけ)

- 1 そう思う                                      2 どちらかというと思う  
3 どちらかというと思わない                      4 そう思わない  
5 わからない

問 34 問 33 で 1, 2 と答えた方にお聞きします。

どの段階で学力格差が特に広がっていると思いますか。(○は1つだけ)

- 1 小学校1年生                      2 小学校2年生                      3 小学校3年生  
4 小学校4年生                      5 小学校5年生                      6 小学校6年生  
7 中学校1年生                      8 中学校2年生                      9 中学校3年生  
10 わからない

問 35 一般的に言って、周りの人の役に立とうとする子どもは多いと思いますか。(○は1つだけ)

- 1 そう思う                                      2 どちらかというと思う  
3 どちらかというと思わない                      4 そう思わない  
5 わからない

問 36 一般的に言って、子どもたちの体力は低下していると思いますか。(○は1つだけ)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う         | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない     |
| 5 わからない        |              |

問 37 一般的に言って、子どもは、学校の体育や部活動以外で日常的に体力向上や健康づくりをよくやっていると思いますか。(○は1つだけ)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う         | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない     |
| 5 わからない        |              |

問 38 一般的に言って、保護者は、地域の学校運営にもっと参画・連携するべきだと思いますか。(○は1つだけ)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う         | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない     |
| 5 わからない        |              |

## 教育行政について

問 39 北区教育委員会では以下の教育に関する取り組みを行っています。それぞれの取り組みについて、知っている場合はその満足度を、知らない場合は「知らない」に○をつけてください。  
(それぞれの項目に○は1つ)

	知っている				知らない
	大変満足	やや満足	少し不満	大変不満	
1 北区教育広報誌「くおん」					
2 学校連絡メール配信システム					
3 学校改築					
4 学校適正配置					
5 学校支援ボランティア					
6 北区ふるさと農家体験館事業					
7 北区スポーツ推進計画					
8 北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業					
9 放課後子どもプラン					
10 家庭教育事業					

問 40 北区では、通学区域の異なる保育園・幼稚園・小学校・中学校からつくられる近隣複数校のネットワークとして「学校ファミリー」を形成し、以下の教育施策を実施していますが、それぞれについて、どのように考えますか。

(1) 保幼小連携で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(○は1つ)

- |                  |            |             |
|------------------|------------|-------------|
| 1 小1プロブレム(※)への対応 | 2 学力の向上    | 3 不登校対策     |
| 4 心の教育           | 5 幼児・児童の交流 | 6 保育士と教員の交流 |
| 7 わからない          |            |             |

※小1プロブレム：小学校1年生の学級において、入学後の落ち着かない状態がいつまでも解消されず、教師の話をきかない、授業中に座ってられないなど、授業規律が成立しない状態へと拡大し、こうした状態が数ヶ月に渡って継続する状態。

(2) 小中一貫教育で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(○は1つ)

- |                |           |          |
|----------------|-----------|----------|
| 1 中1ギャップ(※)の解消 | 2 学力の向上   | 3 不登校対策  |
| 4 心の教育         | 5 小中学生の交流 | 6 教員間の交流 |
| 7 わからない        |           |          |

※中1ギャップ：中学1年生になった途端、学習内容や生活リズムの変化になじめずに不登校となったり、いじめが急増したりする現象。

(3) 地域との連携で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(〇は1つ)

- |               |               |              |
|---------------|---------------|--------------|
| 1 地域と一体の学校づくり | 2 地域の人材活用     | 3 居場所づくり     |
| 4 心の教育        | 5 地域と児童・生徒の交流 | 6 保育士・教員との交流 |
| 7 わからない       |               |              |

問 41 学校施設の整備について、今後どのようなことを優先的に行うべきだと考えますか。  
(〇は3つ)

- 1 トイレの洋式化
- 2 防犯カメラの設置など防犯対策
- 3 遊具の点検など安全対策
- 4 太陽光発電など省エネルギー設備の導入
- 5 屋上や壁面の緑化、ビオトープなどエコスクールの推進
- 6 スロープの設置などバリアフリー化
- 7 災害に強い施設づくり
- 8 わからない
- 9 その他 ( )

問 42 北区の放課後子どもプラン(※)についてお尋ねします。放課後子どもプランに求める機能のうち特に重要と思うものは何ですか。(〇は3つ)

- 1 学校の中で実施していて安全であること
- 2 スタッフがついて見守っていること
- 3 校庭や体育館など広い場所で遊べること
- 4 自由遊びができること
- 5 宿題をやるなど学習の時間があること
- 6 いろいろな催し(大会や教室、体験講座など)ができること
- 7 異学年の児童との交流ができること
- 8 一般登録の児童と学童登録の児童と一緒に遊べること
- 9 地域の大人との交流ができること
- 10 保護者が不在の間の生活をみてくれること
- 11 わからない
- 12 その他 ( )

※放課後子どもプラン：小学校を会場として、子どもたちが安心して健やかに過ごせる居場所としての「放課後子ども教室」と「学童クラブを」一体的に運営するもので、平日の放課後や土曜日、夏休みなどの長期休業中に実施しています。大勢の大人に見守られながら宿題などの学習活動、校庭・体育館・放課後ルームなどでの遊び、スポーツ・工作・実験・昔あそびなどの体験活動、異学年や地域の人々との交流活動などができます。北区では、現在5校で実施。順次、全小学校に導入していきます。

問 43 北区は、子どもの教育に関する情報の提供をよく行っていると思いますか。(○は1つだけ)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う         | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない     |
| 5 わからない        |              |

問 44 北区は「教育先進都市」を掲げていますが、「教育先進都市」と聞いて抱くイメージは何ですか。(○は3つまで)

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 1 学力向上に熱心           | 2 教員の質が高い              |
| 3 生涯学習事業が盛ん         | 4 家庭教育が盛ん              |
| 5 教育に対する予算が多い       | 6 教科外活動に熱心             |
| 7 学校のICT化に取り組んでいる   | 8 教員が多い                |
| 9 公立学校の進学実績が良い      | 10 いじめ・不登校などの問題への対処が良い |
| 11 学校施設・設備が整っている    | 12 応用力・活用力が高い          |
| 13 基礎・基本の定着度が高い     | 14 情報公開度が高い            |
| 15 国際理解教育に熱心(外国語含む) | 16 体験学習が盛ん             |
| 17 特にない             | 18 その他( )              |

問 45 今後、北区の教育行政に期待することは何ですか。(○は3つまで)

- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| 1 計画的な学力向上策 | 2 学校適正配置の促進       |
| 3 生涯学習事業の充実 | 4 子どもの安全対策        |
| 5 学校への指導    | 6 教員の資質向上         |
| 7 教育施設の充実   | 8 学校の設備の充実        |
| 9 区民意見の反映   | 10 広報活動の充実        |
| 11 家庭教育への支援 | 12 子どもの放課後の居場所づくり |
| 13 その他( )   |                   |

## 生涯学習について

問 46 あなたは、自分ができることを地域や学校で活かしたいと思いますか。(○は1つだけ)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う         | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない     |
| 5 わからない        |              |

問 47 あなたは、現在何かの生涯学習活動に参加していますか。(○は1つだけ)

(例:「趣味の講座を受講している」「資格を身につけ、講座を開いている」「ボランティア活動に参加している」「独自に研究を進めている」)

1 参加している

2 参加していない

問 48 あなたは、文化センターの講座・活動に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

(例: 区民講座、区民協働講座、子どもひろば、センター祭等)

1 参加したことがある

2 参加したことがない

問 49 あなたは、区立図書館の講座・活動に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

(例: おはなし会、読書会、映画会、コンサート、各種講座等)

1 参加したことがある

2 参加したことがない

問 50 あなたは、飛鳥山博物館の講座・活動に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

(例: 企画展などの展示、子ども・親子向け事業、各種講座等)

1 参加したことがある

2 参加したことがない

問 51 あなたが、生涯学習のために力を入れて欲しいと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 文化センター等施設の充実

2 講座の充実

3 学習の相談・情報提供の改善

4 区民が事業の企画・運営に参画するシステムの確立

5 大学等との連携

6 スポーツ施設の充実

7 図書館の充実

8 博物館講座・活動の充実

問 52 あなたは、グループや団体の自主的な活動を盛んにするために、どのような区の支援が必要だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1 団体についての研修の機会(運営の仕方、リーダー養成等)

2 団体活動に関する相談や情報を得る場

3 団体の学習会等のPRの手段

4 団体と区との協働による事業の整備

5 区の施設の学習環境の整備

6 団体の学習会等の講師謝礼の助成

問 53 あなたは、ボランティア活動に参加するとしたら、どのくらい参加できますか。

(○は1つだけ)

- |            |           |              |
|------------|-----------|--------------|
| 1 ほぼ毎日     | 2 週3～5回程度 | 3 週1～2回程度    |
| 4 月に1、2回程度 | 5 年に数回程度  | 6 まったく参加できない |

最後に、北区の教育に関してご意見などがあれば記入してください。

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ、11月22日(金)までにご返送いただきますようお願いいたします。なお、返信用封筒には、名前等の記入や切手を貼る必要はありません。

「北区教育ビジョン 2015」策定に関する  
アンケート調査報告書

刊行物登録番号 25-1-117

発行年月 平成26年2月

発行 北区教育委員会

〒114-8508 北区王子本町1丁目15番22号

電話 03-3908-9279

調査協力 株式会社 社会構想研究所

